

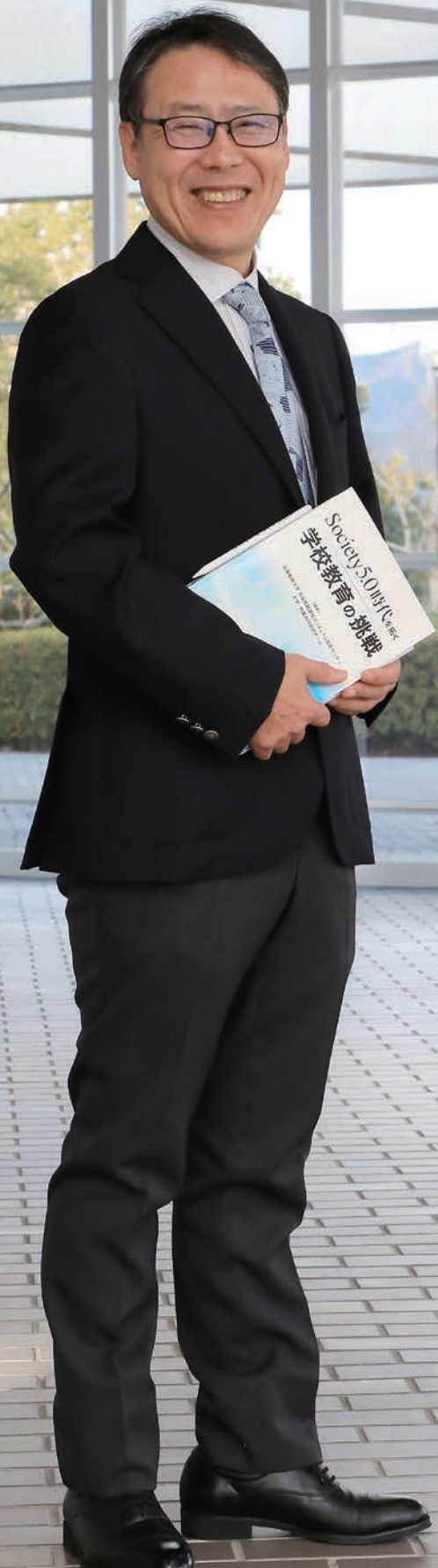


2027 兵庫教育大学 大学院案内

Graduate School,
Hyogo University of Teacher Education

学校教育研究科
修士課程
専門職学位課程(教職大学院)

すべては未来の子どもたちのために



兵庫教育大学は、大学院における教員の養成・研修を中核とする新しいタイプの教育大学として、1978年に創設されました。以来、日本の教師教育をリードするトップランナーとして、学校現場の課題やニーズ、教育政策の変化に応じて、大学院の専攻・コースを刷新し、カリキュラムを改善してきました。そのような本学大学院は他の教育系大学院にはない、次のような特色を持っています。

- 理論と実践の往還・融合を重視した教育・研究(教育実践学)を行い、教師としての専門性と研究力の向上を図っています。
- 文部科学大臣指定の「教員養成フラッグシップ大学」として、Society5.0時代の教員養成・研修の研究開発に先導的に取り組んでいます。
- 教育長、校長などの管理職から、研究主任、生徒指導主事、特別支援教育コーディネーターなどのミドルリーダー、新任教員やスクールカウンセラーまで、学校教育の多様な専門職の養成を展開しています。
- 共通科目は、オンデマンド等を活用した授業が多く、時間や場所にとらわれずに柔軟に学ぶことができます。専門科目は、少人数制の授業、演習等を伴う実践的な授業が多く、対話的に学びを深めることができます。
- 日本全国どこからでも、職場を離れずにオンラインで学べる「フレックスクラス」をほぼすべてのコースに設置し、現職教員等の多様な学びのニーズに応えています。
- 現職教員の大学院生と、これから教員や心理専門職になろうとする大学院生との多様な学びの交流があります。
- 就職支援が充実しており、修了生は教員や心理専門職として着実にキャリアを実現しています。
- 教育実践学の専門性を究める本学博士課程への進学への道が開かれています。博士課程修了生の多くは、全国の教員養成系大学・学部等の研究者となって活躍しています。

本学大学院に入学されて、ご自分の可能性を最大限に伸ばし、キャリアアップと豊かな人生を実現してください。

国立大学法人兵庫教育大学長

森山 潤

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 豊かな人間性と確かな実践力を持った新任教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

兵庫教育大学大学院で豊かな学びを

3専攻17コース

全国最大規模の教員養成系大学院

本学大学院学校教育研究科は、修士課程(2専攻:定員145名)と専門職学位課程(1専攻:定員155名)で構成し、それぞれの教育課程の目的に沿って学校現場を重視した教育・研究(教育実践学)を行い、以下のような人材を養成しています。

開学から40年以上が経ち、1万人を超える修了生が全国の学校現場等で活躍しています。

修士課程

人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	→ p.21
	幼年教育・発達支援コース	→ p.23
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	→ p.25
	臨床心理学コース	→ p.27
	芸術表現系教育コース	→ p.29
	生活・健康・情報系教育コース	→ p.31
特別支援教育専攻	障害科学コース	→ p.35
	発達障害支援実践コース	→ p.37

養成する人材

- “子どもとのかかわり”から教育を捉え、多様な観点から協働的に問題解決ができる教員
- 幼年教育の理論と実践に基づき、子どもと共に希望ある未来をつくる子育て支援コーディネーター
- 教育現場における子どもの発達や教員の悩みを、総合的に支援できる心理専門職
- 障害のある児童に対し、専門的・総合的な支援を行える特別支援教育スーパーバイザー

専門職学位課程(教職大学院)

教育実践高度化専攻	学校経営コース	→ p.45
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	→ p.47
	言語系コース(国語・英語)	→ p.49
	社会系コース	→ p.51
	理数系コース(数学・理科)	→ p.53
	小学校教員養成特別コース	→ p.55
	グローバル教育リーダーコース	→ p.57
	教育政策リーダーコース	→ p.59
	授業実践課題探究コース	→ p.61

養成する人材

- 高度な経営力を備え、新しい学校と教育行政をつくるトップリーダー
- 授業実践や生徒指導において、学校現場で指導的役割を果たし得るミドルリーダー
- より実践的な指導力・展開力を備え、新しい学校づくりの有力な一員となり得る新人教員

CONTENTS

学長メッセージ	→ p.1
兵庫教育大学の ビジョン・ミッション	→ p.1
修了生が語る!大学院の魅力	→ p.3
神戸キャンパス	→ p.5
兵庫教育大学大学院の 特色ある取り組み ▶ 教育プログラム ▶ フレックスクラス	→ p.7
取得できる資格	→ p.13
各コース紹介 修士課程 専門職学位課程 (教職大学院)	→ p.15 → p.39
修学支援 ▶ 入学科・授業料 ▶ 奨学金制度等	→ p.63
修了後の進路・就職	→ p.65
データで見る 大学院生のキャンパスライフ	→ p.67
学びをサポートする 充実の環境 ▶ 加東キャンパス ▶ 学生寄宿舍 ▶ アクセス	→ p.68

研究に教育現場での経験に海外研修 やりたいこと全てを実現できた 忙しくも充実の2年間でした

言語系教科マネジメントコース(英語)※ 2025年3月修了 村上 奈菜葉さん

※2027年度から、コース名が言語系コース(国語・英語)に変更となります

兵教大 → 兵教大大学院 → 公立小学校教諭

兵教大に入学した理由

「一日も早く教壇に立ちたい」という思いと、「大学院で専門性をさらに高めたい」という思いの間で揺れている時、ゼミの指導教員である近藤暁子先生から「せっかく研究したいテーマがあるのだから、一緒にさらに探究していこう」と声をかけていただきました。その言葉が大きな後押しとなり、進学を決意しました。進学するからには、自信を持って教壇に立てるだけの力量を身に付けること、学部時代にコロナ禍の影響で参加できなかった海外研修プログラムに挑戦すること、そしてスクールサポーターとして子どもたちと関わり続けること—この3つを2年間で実現することを目標に掲げ、進学しました。

ココが良かった!

私の代の英語コースは5人と少人数であったからこそ、教授との距離が近く、一人一人の研究に丁寧に向き合っていた環境が整っていました。自分の間とじっくり向き合いながら、関心のあるテーマに妥協することなく挑戦できたことは、大きな財産です。また、同期には現職教員も在籍しており、理論だけでなく実践の視点から意見を交わすことができました。現場での経験を

もとにした考えに触れるたびに、自分にはない視点に気付かされ、学びがより一層深まりました。さらに、夏季休業期間中にはいくつかの海外研修にも参加しました。1年次にはフィンランド、2年次には台湾とラトビアを訪問し、教育現場の視察や、教育学を専攻する学生との交流を行いました。国や文化が異なっても、教育に対して真摯な思いを持つ同世代の学生と出会えたことは、かけがえのない経験です。

実感!自分の成長

大学院では、1年次に4週間、2年次に6週間の実習に取り組み、自身の研究を実践の中で検証しました。私の研

究は、小学校外国語において動画を活用し、授業内外を連携させたスピーキング学習の効果を探るものです。子ども一人一人が繰り返し発話できる環境を整えることで、意欲面と技能面の双方にどのような変化が生まれるのかを追究してきました。実習前と比べ、子どもたちの発話意欲と英文の定着度はいずれも向上しました。自ら英語を使おうとする姿が増え、研究の成果を実感することができました。また、授業のない期間には加東市内の小学校でスクールサポーターとして活動し、2年間を通して継続的に子どもたちと関わり続けました。研究と実践を行き来する中で、目指す教員像もより明確になりました。

進学を考えている人へのメッセージ

学部卒業後、就職か進学かで悩む人は多いと思います。私自身も迷いましたが、大学院で過ごした2年間があったからこそ、さまざまな学校現場を体験し、海外で学ぶ機会にも恵まれました。そこで得た経験や出会いは、今の自分を支える大きな財産となっています。長い人生の中の2年間です。挑戦してみたいことや深めたいテーマがあるなら、その思いに正直に、一歩踏み出してみるのもよい選択だと思います。



Profile

兵庫教育大学在学中に教員採用試験に合格し、2023年3月に大学を卒業後、採用を延期する特別制度を活用して4月に同大学院に入学。研究の傍ら、スクールサポーターとして加東市内の小学校で活動したほか、海外研修プログラムにも参加。25年3月に修了し兵庫県太子町の小学校に着任、2年生の担任を務めた。

仲間や教員陣に刺激を受けつつ 自らの問いとじっくり向き合う ぜいたくで貴重な時間でした

教育コミュニケーションコース 2025年3月修了 松崎 康祐さん

兵教大 → 公立小学校教諭 → 兵教大大学院 → 公立小学校教諭

兵教大に入学した理由

長年勤めた初任校が授業研究に熱心で、通常業務の傍ら、道徳や算数の授業づくりに取り組んできました。どの教員でも同じ結果が得られるようにと研究を進めるうち、「教員が入れ替わっても授業は成立するけれども、その人が授業する意味や価値がどこにあるのだろう」と疑問を抱き、教員の代替不可能性に興味を持つようになりました。そんな時、現職派遣制度で兵教大大学院に進学した職場の先輩から「大学院でそれを研究するのもいいんじゃないか」と後押しされ、学校に申請しました。教員陣の研究テーマの中からその分野を学べそうな先生を探すところから始め、教育哲学を専門とする大関達也先生が所属されている教育コミュニケーションコースを志望しました。

ココが良かった！

期待通り、自分の考えたい問いとじっくり向き合う時間や環境を確保できたことです。一方、予想外に良かった点は、同じコースの仲間と過ごした時間が充実していたことです。院では一人で黙々と研究を進めるイメージを抱いていましたが、同級生には同じ

立場の現職教員だけでなくストレート院生もいて、研究室などでよくディスカッションしました。特に、研究が行き詰まった時には、自分とは異なる視点からの意見に刺激をもらうことで、内容をより深めることができました。また、コースには教育哲学だけでなく、心理学や歴史学、社会学など多種多様な研究分野の先生が在籍されているので、自分の進捗状況の発表に対して違う角度から指摘を受けることもあり、研究の幅がさらに広がりました。

実感！自分の成長

もともと知らない人と話すのがそんなに好きではな

く、身構えるタイプでした。でも、大学院には本当に多種多様な人がいるので人と関わることが面白いと感じ、気付けば自分から積極的に話すようになっていました。研究を通じて、教員だけでなく子どもも代替不可能で一人一人が大事な存在だと再認識しました。言葉にすると当たり前のことのようにですが、復職してからより実感を伴うようになり、児童と対話し互いに理解を深めようとする時間が増えました。以前と比べて自ら大変なことをしているとも思いますが、きっとそこに価値があるのだろうと信じて日々を過ごしています。

進学を考えている人へのメッセージ

日々、教育の実践を積み重ねる中で感じる「これって本当にいいのかな」という疑問について一度立ち止まって考えたい人には、大学院進学は本当にお勧めです。貴重な2年間を過ごせましたし、研究を通じて疑問に対する道筋が見えました。同時に新たな研究課題も見つかったので、今後も研究を続けていきたいと考えています。



Profile

恩師の影響で中学生になる頃には小学校教員を志し、大学を卒業後、西脇市内の小学校教員に。12年目の2023年4月、県教育委員会の現職派遣制度を利用して兵庫教育大学大学院に入学し、希望通り大関達也ゼミに所属。25年3月に修了後は復職し、4年生の担任を務めた。

現職教員が兵庫教育大学大学院で学ぶ方法

公立の幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校等の教員、教育委員会や教育センター等で教育行政に携わる指導主事などが、教員の身分を有したまま学び、学位を取得することができます。詳しくは、所属する都道府県または市町村の教育委員会へご相談ください。

- 1 都道府県等教育委員会からの派遣により学ぶ
全国の都道府県等教育委員会から派遣された現職教員が学んでいます(2025年10月1日現在122人)。
- 2 大学院修学休業制度を利用して学ぶ
在職期間が3年以上ある教員が対象で、最長3年間休職できます(2025年10月1日現在13人)。

- 3 自己啓発等休業制度で学ぶ
地方公務員または国家公務員として2年以上の在職期間がある者が対象で、原則2年間休職できます。
- 4 働きながらフレックスクラスで学ぶ
全専攻で開講しています。

神戸から、学校教育と臨床心理の最前線へアクセス

兵庫教育大学神戸キャンパスは、2025年4月、さらなる教育研究環境の充実を目指し、JR・地下鉄「新長田」駅前の新長田キャンパスプラザへと移転・拡充しました。従来の2倍以上のフロア面積を確保し、最新の教育設備と地域に開かれた臨床心理相談機能を備えた「教育のイノベーション拠点」として、新たな一歩を踏み出しました。

神戸キャンパスの魅力



1 抜群のアクセシビリティ

神戸キャンパスのある新長田キャンパスプラザは、JR神戸線と神戸市営地下鉄の2社3路線が乗り入れる「新長田駅」から徒歩約7分の至近距離にあります。JR「大阪」駅から「新長田」駅までは約30分、JR「京都」駅からは約1時間、またJR三宮、明石、西神エリアからのアクセスも飛躍的に向上しました。

2 充実の学修環境

旧神戸キャンパスの2倍以上となる約3,700㎡（6階～8階）の広々としたフロアには、学生同士の対話や協働を促す院生研究室やオープンスペースがあります。最新のICT教室 & STEAM LabなどSociety 5.0時代に対応したEdTechや、STEAM教育を実践的に学べる最新設備も完備しています。※Floor Guide p.69参照

3 現代の多様な学びに適応した授業方法

対面授業とオンライン授業（同期・非同期）を自由に選択できる「ハイフレックス方式」や「オンデマンド方式」を導入。リアルとデジタルを融合させた柔軟な学修環境により、多忙な教員や社会人の継続的な学びを強力にバックアップします。

4 臨床心理相談機能の拡充

地域に開かれた「臨床心理相談室」を大幅にリニューアルし、子どもの不登校や発達支援から大人のストレスの相談まで、最新の知見に基づいた相談体制と大学院生の高度な実習環境を両立しています。



2027年度から、教育方法・生徒指導マネジメントコースと小学校教員養成特別コース（3年制コース）の神戸キャンパス移転に伴い、教育実習総合センターと教職キャリア開発センターの分室等を設置し、教職大学院の実習や教員就職支援などを強力にサポートします。

晴れやかな気持ちで過ごせる充実のキャンパスです

臨床心理学コース 2026年3月修了

高田穂香さん

最寄りのJR「新長田」駅から新キャンパスまでは地下道が続くため、雨にも風にも負けずに通えました。新キャンパスは学内が明るく、日々晴れやかな気持ちで過ごしていました。また、臨床心理相談室の面接室やプレイルームといった専門設備が格段に拡充され、より実践的で高度な実習環境が整っている点も大きな特徴です。街には子どもから高齢者まで多くの人が行き交い、温かい活気に包まれています。旧キャンパスの華やかな散歩道もすてきでしたが、新キャンパスでの情緒豊かな散歩もお気に入り、学びの後のいいセルフケアになっていました。



学生の声

2027年度から新たに2コースが 神戸キャンパスへシフト

大幅に拡充した神戸キャンパスにおいて、臨床心理学コースに加え、教育方法・生徒指導マネジメントコースと小学校教員養成特別コース(3年制コース)を加東キャンパスから神戸キャンパスへと移転し、開講します。

教育方法・生徒指導マネジメントコース

「教育方法」と「生徒指導」の両分野において「教師個人の力量」と「学校全体の力量」を高めるための学びを提供しており、現職教員、ストレート院生のいずれもが、各自の大学院進学のために応じた力量形成が可能になっています。

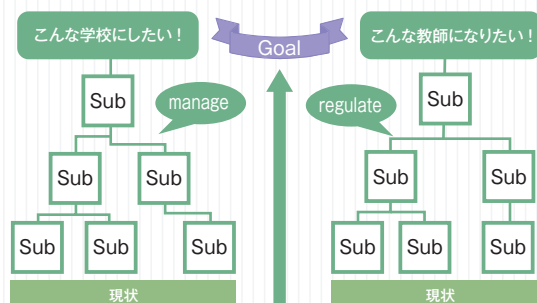
カリキュラムの3本の柱で学ぶ 「学校現場のマネジメント力」

1. 一人一人に最適化された学び
2. 研究力、実践力を高める学び
3. 問題解決を支える専門性を身に付ける学び



マネジメント力とは

最終目的(Goal)を定め、それを実現するための道筋(Path)と下位目標(Sub-goal)を設定し、その達成のために関わる様々な要素を調整(regulate)・管理(manage)できる力量



詳細はp.47・48を参照

小学校教員養成特別コース(3年制コース)

小学校教諭免許状を所持していない者に対して、大学院で一から、確かな教育実践力を持った小学校教員を養成するコースです。小学校教諭免許状を全く所持していなくても、教職大学院で一から小学校教諭免許状を取得できます。

3年間かけて、**学部の教職課程 + 教職大学院の教育課程**を履修

修了時には **教職修士(専門職)の学位 + 小学校教諭専修免許状**を取得

コースワークの特徴

- ▶「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で構成された多様な授業科目
- ▶大学と学校現場が一体となって行う長期にわたる教育実習
- ▶少人数ゼミを通したきめ細かな指導

詳細はp.55・56を参照

神戸キャンパス開講コース一覧(2027年度~)

専攻	コース名
人間発達教育専攻	臨床心理学コース
教育実践高度化専攻	教育方法・生徒指導マネジメントコース 小学校教員養成特別コース(3年制コースのみ)※

※小学校教員養成特別コースの2年制コースは加東キャンパスでの開講になります(2028年度から神戸キャンパスでの開講)

各コースのフレックスクラス所属学生については、対面で授業、課題研究や研究指導を行う必要がある場合は神戸キャンパスで実施しますが、学生と教員が相談の上、加東キャンパスで実施する場合があります。

修得単位数の目安(教職大学院の場合)

	小学校ユニット受講者	中学校ユニット受講者 (小学校教員養成特別コース2年制コース)	現職ユニット受講者 (実習免除が適用された場合)
教職大学院修了要件単位数	46	46	36~42
各ユニット科目単位数	34	32~38(教科により異なります)	13
計	80	78~84	49~55

申請方法(8月選抜・11月選抜のみ)

本学大学院出願時に、「小中連携教育プログラム受講申請書」を出願書類とともに提出してください。

入学後の申請はできないため、必ず出願時に併せて提出してください。詳しくは、大学院学生募集要項をご覧ください。

【参考】専修免許状の取得について

各自がすでに所持している1種教員免許状を、専修免許状に上進することができます。

例

言語系コース(国語・英語)学生が
小学校ユニットを受講した場合

入学前に取得済みの教員免許：中学校1種(国語)、高等学校1種(国語)



教職大学院修了時：中学校専修(国語)、高等学校専修(国語) + 小学校2種

大学院修了者の初任給

大学院修了者は、大学卒業者より2万円程度初任給が高くなります。生涯賃金を考えると、大学院を修了するメリットは給与面でもあるといえます。

【参考】兵庫県教員の初任給

神戸市内の県立高等学校勤務者の場合

(大学院修了者) **30万9,398円** (大学卒業者) **28万9,315円**

※金額は2026年度募集案内から

博士課程への進学を見据え
よりアカデミックなスキル修得へ

研究力向上特別プログラム

プログラムの概要

よりアカデミックな研究手法や研究成果の発表のスキル等に関心が強い学生を対象に、研究に関する基盤的な力量を形成することを目的としたプログラムです。基本的な研究手法を修得し、学生の研究テーマに応じたアカデミック性の高い追加のゼミ指導を受けることで、担当教員の指導のもと、独自の研究成果を上げ、学会発表を行うことを目

指します。原則として、大学院での学びを自分だけの学びではなく、周囲を巻き込む影響力のある研究へと広げる、また、周囲に自身の研究成果を広げ発信していくという本学の教職大学院の目指す方向性をより強化するプログラムですが、場合によっては、研究者としての道への可能性をも開くものでもあります。

受講申請できる人 ▶ 教育実践高度化専攻に所属する学生

履修方法等

入学後、研究指導を希望する教員とのマッチングにより受講者を決定します。※受講者数等の状況により、研究指導の教員は希望に添えない場合があります。受講者は、下記授業科目を履修の上、1件以上の学会発表を行います。

区分	指導教員	授業科目名	単位数	必修・選択の別	授業の方法	履修年次	備考
特別研究科目 ※特別研究科目(4単位)は、修了要件に含まれることではありません	教育実践高度化専攻に所属し、本学博士課程である連合学校教育学研究所の担当資格を有する教員	特別研究	4	必修	演習	1~2年次	研究テーマは各担当教員が設定。発表を行う学会は指導教員と相談の上、決定。 ※特別研究科目内では、必要に応じて質的・量的研究の内容を取り扱いながら指導を行います

専門性を磨き
教員としての幅を広げる

豊富で多様な教育プログラム

大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得

理数系教員養成特別プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系コース(数学・理科)(昼間クラス)」を志願する人

プログラムの特徴

- ▶大学院に在学しながら数学または理科の教員免許状を取得
- ▶教員免許状を持っていない人も対象
- ▶大学院の教育課程と学部の教職課程を併せて履修
- ▶長期履修学生制度(3年間)を活用(授業料は大学院2年分のみ)
- ▶理科の実験指導のための授業科目が充実
- ▶大学院の科目に併せて体系的な学校現場での実習を実施
- ▶受講者のためのアドバイザー教員を配置
- ▶受講者専用の部屋(プログラム支援室)を自然、生活・健康棟に整備
- ▶修了者のほとんどが現職教員として活躍中

3年間で大学院の教育課程と学部の教職課程を履修し、数学または理科の教員免許状を取得して中学校や高等学校の教諭を目指すプログラムです。学部と大学院の科目を両方履修することで、理数系教員としての教職・教職に関する高度な専門知識を修得します。また、これらの学部・大学院の科目に加え、本学学部の実地教育と大学院専門職学位課程における学校現場での実習によって、実践力のある教員を養成します。

本来、専門職学位課程(教職大学院)は教員免許状を持っている人が対象ですが、本プログラムの受講生の場合は学部段階で教職課程を全く履修しなかった人(教員免許状を持っていない人)も教職大学院に入学することができます。長期履修学生制度を活用して3年間で大学院を修了し、学費は大学院2年分の授業料を3年間に分割して納入します。学部の教職課程を履修する費用はかかりません。そして、大学院修了時には中学校教諭・高等学校教諭専修免許状の「数学」「理科」のいずれかを取得できます。

本プログラムの受講生は、専門職学位課程の理数系コース(数学・理科)(昼間クラス)志願者に限ります。また、同コースの「数学」または「理科」の分野のうち、プログラムで志願する免許と同じ分野を志願する必要があります。詳細は大学院学生募集要項等をご覧ください。

受講希望者は、8月選抜または11月選抜の大学院の入試とともに、本プログラムの選考試験も受験してください。※出願時に申請

3年で本学と海外の大学の2つの学位を取得

ダブルディグリープログラム

対象 修士課程を志願する人(8月選抜のみ)

※臨床心理学コース・発達障害支援実践コース・各コースフレックスクラスを除く

教師教育の分野における教育研究を国際的にリードするグローバル人材の養成を目的に、3年間で本学大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]と韓国または台湾の協定大学の大学院修士課程[在学期間:1年6カ月]の教育課程を履修するものです。修了時には本学と協定大学の双方の学位を取得できます。※出願時に申請

協定大学

- ▶大邱教育大学校(韓国)
- ▶京仁教育大学校(韓国)
- ▶屏東大学(台湾)
- ▶台北教育大学(台湾)
- ▶高雄師範大学(台湾)

特別支援教育の知識・技能を修得

特別支援教育プログラム (神戸キャンパス・フレックスクラスのみ)

対象 フレックスクラスの学生

神戸キャンパスのフレックスクラスにおいて、特別支援教育領域(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の授業科目を開講し、特別支援教育に対する十分な知識・技能を修得できるよう支援します。3年以上の教職経験がある人は、授業科目の履修状況に応じて特別支援学校教諭(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)の各領域の1種または2種の教員免許状を取得することが可能です。

大学院在学中に海外の大学に留学できる!

言語系コース海外留学プログラム

対象 専門職学位課程の「言語系コース(国語・英語)(昼間クラス)」に所属する学生

言語系コース(昼間クラス)の学生に、修学期間を延長することなく、6カ月程度の海外留学の機会を提供するプログラムです。現職教員にとっては、在職のまま留学できる貴重なチャンスになります。留学先は、本学の海外交流協定大学とします。授業料相互不徴収の覚書を結んだ大学では、留学先への授業料がかかりません。本プログラムによる学修の成果は、「海外教育特別研究(仮称)」の単位として扱われます。

健康教育を実践できるスペシャリストを目指す

健康教育実践プログラム

対象 修士課程の「学校心理・学校健康教育・発達支援コース」または「生活・健康・情報系教育コース」に所属する学生

児童生徒の健康課題は、飲酒、喫煙、薬物乱用、問題ある性行動などの危険行動、心の健康問題、食習慣の乱れ、運動不足、睡眠不足、インターネットの過剰使用、アレルギー性疾患など複雑化、多様化しており、学校には、健康に関わる社会的要因を踏まえ家庭・地域、専門機関等と連携した健康教育が求められています。本プログラムは、そのような健康教育の開発、実施、評価等の実践力の向上を目指します。健康教育の基礎的内容に関する2科目から2単位以上、専門的内容に関する8科目から8単位以上履修することにより、履修証書を取得できます。

大学院で小(中)学校の教員免許状を追加で取得

小中連携教育プログラム

詳細はp.7を参照 ※出願時に申請

兵庫教育大学では、各専攻・コースの正規カリキュラムに加え、現代的な教育課題やニーズに対応した多彩な教育プログラム等を開設しています。各専攻・コースで自身の専門性を高めるとともに、教育プログラム等で教員としての多様な能力の向上や教員としての幅を広げてください。

理科の実験・観察指導のスペシャリストを養成

コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系コース(理科)」に所属する学生

実験や観察を中心とした科目群を履修することで、児童生徒に理科の面白さを伝えることができる知識と技能を修得し、地域の初等・中等教育の場で指導的な役割を担う理科教員の養成を目的としています。

専門職学位課程(教職大学院)の理数系コースで開設する授業科目から所定の単位を修得の上、CST養成プログラム運営室が認定した演習やセミナー等に出席することにより、履修証書を取得できます。

理数系教員養成特別プログラムまたは小学校理科専科プログラムとの重複受講が可能です。

臨床心理学の最新の知見により心理支援実践力を養う

心理支援実践プログラム

対象 修士課程の「臨床心理学コース(フレックスクラス)」に所属する学生

現場の課題解決を目標とするフレックスクラスでは、医療・保健、教育、福祉、産業・労働、司法の各領域における心理支援実践力を包括的に養うために、在学期間を通して心理支援実践事例研究(ケースカンファレンス)を行います。それに加えて、臨床心理士・公認心理師資格に係る高度な専門科目によって心理支援の最前線について学びます。本プログラムの修了証書は、心理支援実践事例研究の単位と両資格に係る所定の単位の履修により取得できます。

※本プログラムでは臨床心理士・公認心理師の受験資格を取得できません

理科専科教員としての実践力の向上を目指す

小学校理科専科プログラム

対象 専門職学位課程の「理数系コース(理科)(昼間クラス)」に所属する現職教員等の学生

小学校の理科教育に必要な教科内容・教科教育についての理解を深めるとともに、実験・観察の技能、指導のスキルなどを修得し、理科専科教員としての実践力の向上を目指します。

理数系コースで開設する所定の授業科目(理科教材開発実習A・B、小学校理科専科特別演習)の単位を修得することにより、履修証書を取得できます。

コア・サイエンス・ティーチャー(CST)養成プログラムとの重複受講が可能です。

就労支援技術を修めた心理的支援の専門家を養成

厚生労働省認可 職場適応援助者養成研修

対象 就労支援領域での心理的支援を行うことを希望する修士課程の「臨床心理学コース(昼間クラス)」に所属する学生(10人程度)

今日高まっている精神障害、発達障害のある方々への社会移行や就労支援のニーズに応えるため、臨床心理学コースでは厚生労働省認可の職場適応援助者養成研修を大学院として国内で初めて開設しました。職場適応援助者とは障害者の職場適応を行うための専門人材を指し、本研修ではインクルーシブな社会(産業)環境構築に寄与する心理的支援の専門家を養成・輩出することを目的としています。

障害の中でも特に精神障害、発達障害のある方々を対象とした就労支援・職場定着支援や企業実習、それらに関する認知行動療法をベースにした心理的支援技術の研修を実施します。また、障害科学コースともタイアップし、各障害特性に関する基礎的な知識や就労上の課題などについて、より専門性の高い講義を受講できます。公認心理師養成課程を修了後、受講者が臨床活動を行う地域にある独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の障害者職業センターに登録することで、「訪問型職場適応援助者(通称ジョブコーチ)」として活動できるようになります。

現場の子育て支援課題に対応する力を養う

子育て支援コーディネーター 養成プログラム

対象 修士課程の「幼年教育・発達支援コース」に所属する学生

今日、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育所では子育て支援機能の充実が図られており、地域においてもさまざまな子育て支援事業が展開されています。そのため、保護者支援や地域連携などの子育て支援の専門性が強く求められています。本プログラムでは、修士課程の幼年教育・発達支援コースの学生を対象に、多様化する子育て支援の課題に対応するための専門性を身に付けた人材を養成します。本学の子育て支援ルームや附属幼稚園、地域の子育て支援施設での演習を含む所定の科目の単位を修得することにより、「子育て支援コーディネーター」の認定証が授与されます。

博士課程への進学を見据えたよりアカデミックなスキルを修得

研究力向上特別プログラム

詳細はp.8を参照

フレックスクラスの4つのメリット

1 学校現場を離れずに学べる
日本全国どこからでもOK ※詳しくは下表参照

2 指導教員等と相談しながら、
柔軟な指導が受けられる ※オンラインに加え、神戸キャンパスでの対面授業も選択できるハイフレックス方式を導入

3 教職を続ける基盤となる理論や実践、
研究方法を身に付けることができる

4 さまざまな課題を持ち、研究を進める仲間や
大学教員と意見を交わしながら、
学びをより深めることができる

授業等の実施方法

▶オンライン

基本的に、授業はオンライン、オンデマンドまたはハイフレックスのいずれかで実施します。課題研究、研究指導やゼミもオンラインで実施しますが、一部コースでは希望により対面での実施も可能です。なお、授業科目によっては、

スクーリングや、対面による集中講義等として実施するものがあります。対面で実施する場合は、原則神戸キャンパスへ通学することになりますが、実技や実験、実習などを伴う授業科目は加東キャンパスで開講することもあります。

専攻	コース	注意事項等
人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	「教育コミュニケーション実践論」は原則対面とします。「課題研究」はテーマによっては対面が必要となります。
	幼年教育・発達支援コース	
	学校心理・学校健康教育・発達支援コース	
	臨床心理学コース	臨床心理士・公認心理師試験受験資格には対応していません。
	芸術表現系教育コース(美術)	
	生活・健康・情報系教育コース	研究テーマによっては、対面での実験実習があります。
特別支援教育専攻	障害科学コース	課題研究、研究指導やゼミ等で一部対面での演習等があります。昼間クラスと開講科目や修了要件が異なります。
教育実践高度化専攻	学校経営コース	
	教育方法・生徒指導マネジメントコース	
	言語系コース(国語・英語)	ゼミ指導は、神戸キャンパスの授業時間帯のほか、週末の昼間など学生の都合によって柔軟に対応するようにしています。
	社会系コース	
	理数系コース(数学・理科)	
	教育政策リーダーコース	学生の居住地もしくはその近県に教員が赴く「出張講義」や、神戸キャンパス等で行う「集中演習」、全国4都市のいずれかで行う演習「教育政策トップリーダーセミナー」等により、対面での学修も提供しています。
	グローバル教育リーダーコース	冬季休業中に昼間クラスと合同で、海外でのフィールドワーク(5日間程度)を実施します。
授業実践課題探究コース	半年に1回、学生・教員全員による対面での「実践の語り合い(合同ゼミ)」を実施します。	

▶通学+オンライン

オンラインを併用しながら、対面により授業や課題研究、研究指導やゼミを実施します。授業科目によっては、集中講義として実施するものがあります。

人間発達教育専攻	芸術表現系教育コース(音楽)	実技や演習を伴う科目があるため、神戸キャンパスで週1回程度の対面授業と休業期間中に加東キャンパスで行う集中講義(1科目のみ)を実施します。
----------	----------------	---

教員免許状を大学院で一から取得したい人へ 教員免許状を持っていなくても、これから教員を目指せます!!

大学(学部)で教職課程を受講しておらず、これから教員免許を取得して教員を目指す人に対して、長期在学や長期履修学

生制度により、教職大学院で3年間かけて教員免許の取得が可能なコース(プログラム)を設置しています。

小学校教員を目指す人

小学校教員養成特別コース(3年制コース) ※長期在学コース

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(小学校1種対応)を履修し、修了時には小学校教諭専修免許状の所要資格が得られます。詳細はp.55を参照。また、小中連携教育プログラム

を受講することで、併せて中学校2種免許(国・社・数・英のいずれかの教科)の所要資格を得ることも可能です。

ここに注目!!

3年制コースではありますが、2年次までに小学校1種免許相当の単位修得が可能なため、2年次から各自治体等が実施する教員採用試験を受験することができます(大学院在学中に2回教員採用試験を受験する機会があります)。

2年次に教員採用試験に合格した場合、多くの自治体等で実施されている**大学院在学者・進学者に対する特例制度**(採用の延期など)の適用を受けることができます。

大学院在学者・進学者に対する特例制度とは…

教員採用試験合格者のうち、大学院に在学・進学する人に対して、採用候補者名簿登載期間の延長・採用の延期などの特例的措置を各自自治体を実施するものです。大学院在学者は1年程度採用の延

期等ができます。教員採用試験を実施している都道府県・市等は68ありますが、そのうち63の自治体で大学院在学者・進学者に対してこの制度を適用しています。(2022年度実施分)

中学校・高等学校の数学または理科の教員を目指す人

理数系コース(数学・理科)(理数系教員養成特別プログラム) ※長期履修学生制度を活用した3年履修

3年間かけて教職大学院の教育課程と学部の教職課程(中学校・高等学校1種対応)を履修します。修了時には、中学校・高等学校教諭専修免許状(数学または理科)の所要資格が得られます。詳細は

p.9を参照。なお、理数系教員養成特別プログラムを受講する人は、小中連携教育プログラムを受講することはできません。

Q&A

Q.1 長期在学制度とはどういうものですか。

A.1 長期在学制度が適用される小学校教員養成特別コース(3年制コース)は3年間の教育課程が編成されており、コース入学者全員が3年間在学します。そのため、3年分の授業料が必要になります。ただし、小学校教員養成特別コースの学生は、2年次に小学校1種免許相当の単位が修得可能なため、2年次に教員採用試験を受験することが可能です。

Q.2 長期履修学生制度とはどういうものですか。

A.2 理数系コース(数学・理科)の入学者で、理数系教員養成特別プログラムの受講を希望する人について適用されます。2年の標準修業年限を1年延長し、理数系教員養成特別プログラムを受講します。2年分の授業料で3年間修学

することができます。

Q.3 小学校教員養成特別コースへの入学を希望していますが、出身大学(学部)では卒業論文が課されていなかったため、教職大学院の「教育実践研究報告書」が作成できるか不安です。

A.3 小学校教員養成特別コースは、レポート作成法、教育実践研究法、アクション・リサーチなど「教育実践研究報告書」の作成に必要な基礎的な知識や技能を修得する科目が開設されています。また、指導教員から個別の指導も受けられるので、卒業論文作成の経験がない人も安心してください。

教員になった者に対する 奨学金の返還免除制度

対象者

大学院在籍時に第一種奨学金の貸与を受けた学生で、教員採用試験に合格し、在籍している大学院の分類ごとに定められた条件を満たす人
→詳細はp.63を参照

取得できる資格

教員免許状 専修免許状を取得できます。(注)1、2、4

課程	専攻	コース	取得できる教員免許状の種類	
修士課程	人間発達教育専攻	教育コミュニケーションコース	幼小中※1 高※2	
		臨床心理学コース		
		幼年教育・発達支援コース	幼小	
		学校心理・学校健康教育・発達支援コース	幼小中※1 高※2 養 栄	
		芸術表現系教育コース	(音楽)	小中(音楽) 高(音楽)
			(美術)	小中(美術) 高(美術、工芸)
		生活・健康・情報系教育コース	(保健体育)	小中(保健体育) 高(保健体育) 栄※3
			(技術)	中(技術) 高(工業)
			(家庭)	小中(家庭) 高(家庭) 栄※3
			(情報)	幼小中※1 高※2
	特別支援教育専攻	障害科学コース	昼間クラス	特別支援学校教諭専修免許状(5領域※4)※3 特別支援学校教諭1種・2種免許状(5領域※4)※3(注)3
			フレックスクラス	特別支援学校教諭専修免許状(5領域※4)(注)5 特別支援学校教諭1種・2種免許状(3領域※5)(注)6
		発達障害支援実践コース	特別支援学校教諭専修免許状 (視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者) 障害科学コースの授業科目を受講することで、特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得できます(知的障害者、肢体不自由者、病弱者)(注)3	
専門職学位課程	教育実践高度化専攻	学校経営コース	幼小中※1 高※2	
		教育方法・生徒指導マネジメントコース		
		小学校教員養成特別コース(3年制コース・2年制コース)		
		グローバル教育リーダーコース		
		教育政策リーダーコース		
		授業実践課題探究コース		
		言語系コース(国語・英語)	小中※1 高※2	
		社会系コース		
理数系コース(数学・理科)				

幼…幼稚園教諭専修免許状 小…小学校教諭専修免許状 中…中学校教諭専修免許状 高…高等学校教諭専修免許状 養…養護教諭専修免許状 栄…栄養教諭専修免許状

- ※1…国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教の免許教科を示します。
 ※2…国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、農業、工業、商業、水産、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教、情報、福祉の免許教科を示します。
 ※3…免許状の取得には、修了に必要な単位に加え、一部他コースの授業科目の単位を修得する必要があります。
 ※4…視覚障害者、聴覚障害者、知的障害者、肢体不自由者、病弱者を示します。
 ※5…知的障害者、肢体不自由者、病弱者を示します。

- (注)1. 授業科目は、特別支援学校教諭1種・2種免許状の対応科目を除き、全て専修免許状の取得に対応しています。1種・2種免許状の取得には使用できません。
 2. 専修免許状を取得するためには、取得を希望する専修免許状に対応した1種免許状を所有していなければなりません(小学校教員養成特別コース(3年制コース)については、入学時に小学校教諭の免許状を所有していなくても、小学校教諭専修免許状を取得することが可能です)。
 3. 特別支援学校教諭1種・2種免許状を取得するためには、幼・小・中・高いいずれかの普通免許状を本学大学院に入学するまでに所有していなければなりません。なお、教育実習(特別支援学校)は、特別支援教育専攻に所属する学生のみ履修が可能です。そのため、特別支援教育専攻以外の学生で取得を希望する方は、次のようになります。
 ①3年以上教員として勤務経験がある方については、教育実習を除く所定の単位を修得することで取得が可能です。
 ②3年以上教員として勤務経験のない方については、修了時には取得できませんが、教育実習を除く所定の単位を修得し、修了後に勤務経験年数を満たせば取得可能です。
 4. 他の専攻・コースの授業科目の単位を修得することで、所属コースでは対応していない免許状を取得することが可能ですが、所定科目の履修機会を保障するものではありません。
 5. 特別支援学校教諭1種免許状を取得後、特別支援学校での教職経験3年以上を満たせば取得可能です。
 6. 都道府県教育委員会によって単位の修得方法が異なります。事前に教員免許状を申請予定の都道府県教育委員会へ確認してください。

その他の資格 心理系の資格等の受験資格も取得できます。

取得できる受験資格	対象コース等	概要
公認心理師		<p>2017年9月15日に施行された公認心理師法に基づく国家資格です。保健医療・福祉・教育その他の分野において、心理に関する支援を要する人やその関係者に対し、心理状態の観察・分析、相談・支援・援助などを心理学に関する専門的知識と技術をもって行います。また、心の健康に関する知識の普及を図るための教育や情報提供も行います。公認心理師試験の受験資格を得るためには、学部で所定の科目を修めている必要があります(大学学部における要件充足の有無については、ご自身で在学または出身大学にご確認ください)。</p> <p style="text-align: right;">厚生労働省 公認心理師 検索</p>
臨床心理士	臨床心理学コース (昼間クラス)	<p>(公財)日本臨床心理士資格認定協会が認定する資格で、有資格者は「心のケアの専門家」として、教育、医療、福祉、司法、産業などの活動領域で活躍しています。臨床心理学コースは、臨床心理士の受験資格を得られるコースとして同協会から1種指定大学院として指定を受けています。</p> <p style="text-align: right;">日本臨床心理士資格認定協会 検索</p>
訪問型職場適応援助者 (ジョブコーチ)		<p>職場適応援助者とは、障害者の職場適応を行うための専門人材を指します。本学ではインクルーシブな社会(産業)環境構築に寄与する心理的支援の専門家を輩出することを目的としています。公認心理師養成課程を修了後、臨床活動を行う地域にある独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構の障害者職業センターに登録することで、訪問型職場適応援助者(通称ジョブコーチ)として活動することができるようになります。</p> <p style="text-align: right;">厚生労働省 職場適応援助者養成研修 検索</p>
学校心理士	原則、 教育コミュニケーションコース、 幼年教育・発達支援コース、 学校心理・学校健康教育・発達支援コース、 障害科学コース(昼間クラス)のみ	<p>本学での条件を満たした人は、学校心理士資格を学校心理学大学院類型で申請できます。なお、資格認定には指定された科目の履修に加え、筆記試験とケースレポートの審査に合格する必要があります。</p> <p style="text-align: right;">学校心理士認定運営機構 検索</p>
カウンセリング 心理士	学校心理・学校健康教育・ 発達支援コース 教育方法・生徒指導 マネジメントコース	<p>日本カウンセリング学会がカウンセリングについての一定の学識と技能を有する会員に付与するものです。</p> <p style="text-align: right;">日本カウンセリング学会 検索</p>
臨床発達心理士	学校心理・学校健康教育・ 発達支援コース 特別支援教育専攻 (昼間クラスのみ)	<p>(一社)臨床発達心理士認定運営機構が認定する資格です。発達の観点から障害、社会適応などの問題を査定し、子どもから大人まで生涯にわたり人間の多様な育ちを支援します。</p> <p style="text-align: right;">臨床発達心理士認定運営機構 検索</p>

※単位、科目など所定の要件を満たすことが必要ですが、複数の資格取得を目指す場合など、所定科目の履修機会を得られない場合があります
 ※詳細は各協会等のウェブページまたは本学ウェブサイトの各対象コースの「取得できる教員免許状と資格」ページでご確認ください

教育にとって
本質的なものを探究する

修士課程

授与される学位…修士(学校教育学)

多様化する学校教育の
諸課題と向き合い究明する

人間発達教育専攻

こんな人を募集します!

教育コミュニケーションコース 	教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学、歴史学、社会学、心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究します。	広く教育を問いたい人
幼児教育・発達支援コース 	幼年期の教育、心理、保育内容、福祉、子育て支援について教育・研究を行い、総合的な教育・発達支援を進めていく専門性を高めます。	幼児教育・保育に関心のある人 子育て支援に関心のある人
学校心理・学校健康教育・発達支援コース	子どもの成長や発達ならびに健康を総合的に支援・教育できる教員や専門家を育成します。	学校・教育関係者 保健・福祉領域関係者
臨床心理学コース	生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。	臨床心理士を目指す人 公認心理師を目指す人 対人援助職・心理職関係者
芸術表現系教育コース	音楽と美術の芸術教育に関わる諸事象について、理論と実践の両側面から探究し、論理的・創造的な実践力を備えた人材を育成します。	芸術系教員 芸術関係者 教員志望者
生活・健康・情報系教育コース 	生活、健康、情報ならびに関連する教科に関わる高度な知識と技能を学び、応用的な実践や社会実装ができる人材を育成します。	生活・健康・情報関係者 家庭・技術・情報・保健体育教員 教員志望者

障害のある幼児・児童・生徒等への
専門的・総合的な支援力・実践力を高める

特別支援教育専攻

障害科学コース	多様な教育的ニーズのある児童生徒に対応できる総合的な専門性に裏付けられた支援力(実践、連携、研究)を育成します。	特別支援学校教員 特別支援学級担任 教員志望者
発達障害支援実践コース	学校(通常学級、通級指導教室、校内における特別支援教育体制)や地域における発達障害支援のための実践力を育成します。	学校教育関係者 教員志望者

…昼間クラス …フレックスクラス(オンラインを積極的に活用して、勤務しながら学ぶことができるクラス(一部の授業等は対面あるいはオンライン同期型で実施)) …神戸キャンパスで履修するコース

修了に必要な単位

		合計単位数	最低修得単位数
共通科目	2単位以上	26単位	32単位 ※
専門科目	16単位以上		
探究力を養成する課題研究	各自の研究課題に応じ、担当教員の指導のもとに8単位		

※合計単位数26単位と最低修得単位数32単位との差6単位は、共通科目、専門科目(修士課程においては、自身が所属するコース以外で開設する科目を含む)および交流科目のうちから修得するものとします。なお、外国人留学生については、外国人留学生専門科目からも修得できるものとします

学びのプロセス

課題研究(修士論文作成)の流れ

1年次	5月まで	指導教員(ゼミ)を決定
	5月以降	研究テーマを設定し、順次、先行研究・文献の調査、実践研究、学会等での研究
2年次	6月	中間発表(研究の動機と目的、研究方法、章立て、参考文献)
	11月	論文題目の最終決定
	12月中旬	提出締切
	2月初旬	修士論文口述試験



学校心理・学校健康教育・発達支援コース
2026年3月修了
／公立小学校教諭

来会芳子さん

教員の「働きがい」を高める心理的アプローチ —仕事の工夫と自己への思いやりに着目した研究—

教育現場で経験を重ねる中で、教員という仕事に対する誇りや魅力を感じてきました。その一方で、多忙さや責任の重さなども同時に積み重なり、教員を取り巻く環境の厳しさを痛感する場面も少なくありませんでした。そうした問題意識のもとに、大学院では指導教員やゼミ、コースの仲

間との対話を重ねながら研究のテーマを練り上げていきました。そして、教員のメンタルヘルス対策を新たな視点から捉える研究に取り組みました。

研究は2本立てで行いました。研究1は現職教員へのアンケート調査による実態把握です。多くの先生方が快く協力してくださったおかげで、新しい気付きや視点を見いだすことができたと感じています。続く研究2における研修プログラムの実施では、初めての経験で不安もありましたが、指導教員やゼミの仲間に支えられ、非常に学びの多い経験となりました。

さらに、研究はもちろんのこと、大学院での専門的な学びは、課題を論理的に整理する力だけでなく、教員としての実践的なスキルや自信を大きく高めてくれました。「スキルアップや探究に挑戦したい」と考えている皆さんに、ぜひ飛び込んでほしい学びのコミュニティです。

来会さんの2年間の学び

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	オリエンテーション 指導教員決定	研究テーマの選定 先行研究の整理 情報収集(文献調査・学会参加等)			中間発表会	研究デザインの検討	アンケート作成(先行研究を基にゼミで検討)		研究調査協力の依頼・説明	調査の実施(研究1)			
		研究仮説の設定			研修プログラムの検討(文献調査)								
2年次	介入研修の説明(研究2)	中間発表会	分析・結果の整理(研究1)	事前調査の実施(研究2)	事後調査の実施(研究2)		分析・効果検証(研究2)	論文提出	論文審査				
	研修プログラムの検討(ゼミで検討)		介入研修の実施(研究2)		論文作成								



発達障害支援実践コース
2026年3月修了
／公立小学校教諭

荻内智子さん

意思の表出に困難がある児童に対する提案・交渉型アプローチによる支援の効果 —自尊感情の向上を目指して—

学校現場では、発達障害のうち多動性や衝動性といった行動面の特性は目立ちやすく、教師が比較的早く気付くことができます。一方で、不安が強く表出が少ないおとなしい児童は困難を抱えていても周囲から気付かれにくく、必要な支援につながらないまま学級生活を送っている場合が

あります。こうした状況が続くと、失敗経験が蓄積し、自尊感情の低下や集団不適応、不登校といった二次的な問題へ発展する可能性が指摘されています。私は、このような「見えにくい困難」に光を当て、児童の特性理解を深める視点や、教師が適切な支援につなげるための実践的アプローチを明らかにすることを目的に研究を進めました。

大学院での2年間は、先生方や院生仲間との議論を通して研究の質を高める貴重な時間でした。研究に行き詰まった時には、先生方から進むべき方向を示す助言を頂き、大きな支えとなりました。また、院生同士で教育への思いや悩みを共有し、互いに励まし合いながら研究を深めていく経験は、かけがえのない私の財産となりました。

この大学院で得た学びとつながりを胸に、今後も学校現場で研鑽を重ね、全ての子どもたちが安心して学び、成長できる環境づくりに貢献していきたいと考えています。

荻内さんの2年間の学び

年次	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	指導教員決定	研究課題の選定 情報収集(文献、学会参加、フィールドワーク、自主ゼミ等)							テーマ発表会	研究手続き検討・研究計画作成 情報収集(文献・フィールドワーク)			
	実習校での実践研究・研究結果の分析・考察 情報収集(文献・フィールドワーク)		中間発表会	研究タイトル決定 課題実習リフレクション		論文作成	論文提出	論文審査	修士論文発表会				

学生の時間割を公開！



教育コミュニケーションコース
2年
／公立中学校教諭
佐伯拓磨さん

現場の「問い」を、学問の「視座」へ。

教員として充実した日々を過ごす中で、変化の激しいこれからの社会や教育の在り方に対し、現場経験だけでは答えが出せない「問い」を抱くようになりました。そこで一度立ち止まり、俯瞰的な視座を獲得するために本学での学びを決意しました。本コースでは、哲学や社会学、心理学といった学問領域から教育事象を捉え直し、研究を深めています。さらに、特別支援教育の講義も受講することで、より多面的なアプローチが可能になりました。立場の異なる院生たちとの議論は、毎日に新鮮な気付きをもたらしてくれます。学びたいと思った時が新たな一歩目であり、多様な選択肢から自らの問いを探究できる環境が、ここにはあります。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	教育の歴史と教育理論の展開			子どもの発達と学校の関わり	
	2		教育コミュニケーション論	障害児病理	教育文化の歴史	
	3				コーディネート概論	
	4					課題研究
	5					
後期	1					
	2		教育コミュニケーション実践論		教えと学びの哲学	
	3		障害児教育基礎技能		人間理解の心理学	
	4					課題研究
	5					

集中講義：特別支援教育総論、かかわりの発達心理学



幼年教育・発達支援コース
3年
／幼稚園教諭
富吉省吾さん

学びの可能性を広げてくれた大学院に感謝

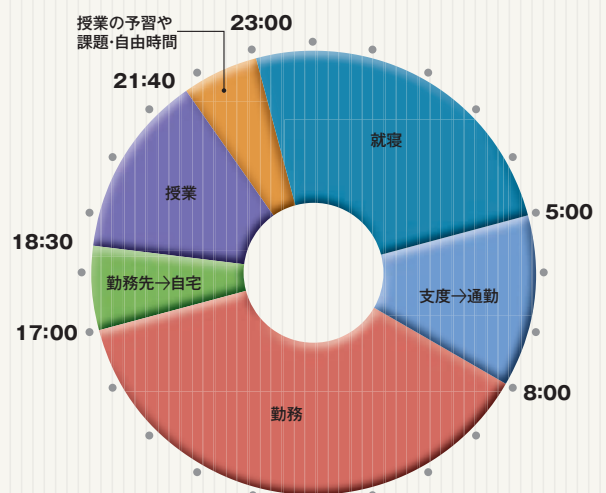
兵教大にはオンラインを活用したフレックスクラスや3年にわたり教育課程を履修できる長期履修制度があることを知り、働きながら大学院で学べるめどが付いたため受験しました。時間のやりくりが大変な時もありますが、長期履修制度のおかげで無理なく学ぶことができています。大学院での学びは人生の財産となるような貴重な学びになります。私自身、保育現場や自身の課題について悩むことがあり、大学院での学びはそれらの課題に対応するための知識や考え方、新たな視点を与えてくれました。また、ICTの操作が分からなくても、丁寧にサポートしてくださるので安心して授業を受けることができています。今後も大学院での充実した学びをもとに自己研鑽に努めていきたいと思います。

1年次の授業スケジュール(2024年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	6	子どもの生活と福祉	食育の考え方と進め方		子どもの発達と学校の関わり	
	7	課題研究				
後期	6	子どもの生活と心理	子ども理解と学級経営の心理学	グローバル社会の子ども学		
	7				課題研究	

集中講義：子育て支援演習、学校における防災教育と心のケア

授業がある日の1日





学校心理・学校健康教育・
発達支援コース2年
／中学校教諭

上村めぐみさん

学ぶことの楽しさ

前期はコースの科目の他に、興味のある特別支援などの授業を多く入れました。後期は自分の研究テーマが固まりつつあったので、そのための時間を取りたくて、授業については特に興味のあるものに絞りました。もともと現場での実践が学問的にどうなのか気になり本コースを選んだので、どの授業も学校での生徒への対応につながっている部分があり、とても興味を持って受けることができています。また、前期の2つの心理統計の授業では、専門が数学ではありながら統計について深く学ぶのは今回が初めてだったので、難しく感じながらも少しずつ理解できる部分も増えてきました。今まで知らなかった世界が広がる感じがして、学ぶことの楽しさを実感しています。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1		学校保健研究	子どもの発達と学校の関わり		
	2	食育の考え方と進め方	教育コミュニケーション論	発達アセスメントと支援	心理統計研究法演習	
	3	心理教育アセスメント	特別支援教育論		コーディネート概論	
	4	心理統計研究法	健康教育論			課題研究
	5					
後期	1					
	2					
	3		障害児教育基礎技能		特別支援教育史	
	4		子どものリスクと安全教育		情動・社会性発達論	課題研究
	5					

集中講義：子どものメンタルヘルス、キャリアカウンセリング特論、子どもの理解と学級経営の心理学 ほか



臨床心理学コース(フレックス)
2026年3月修了
／スクールカウンセラー

松本咲子さん

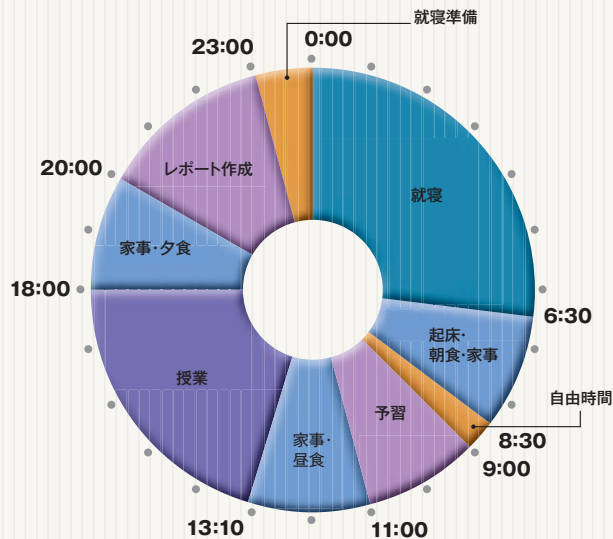
学びの原動力

教員退職後にスクールカウンセラーの職に就き、「自分は心理ではなく教育の視点で考えている」と感じていた時に本コースの開設を知りました。時間を見つけて配信された動画を自宅で見聴し、レポートをまとめるという流れで学びを進めていきました。時には孤独と不安を感じることもありましたが、先生方の丁寧な対応とクラスの皆さんとの情報共有を励みに乗り越えることができました。特にTeams上で顔を合わせて事例検討を行う授業では、先生方やクラスの皆さんから多くのことを学びました。職種は違っても「相手のために今の状況をなんとかしたい」という気持ちは同じで、「そのために心理についてもっと学びたい」という意欲に溢れていました。大変有意義な2年間でした。

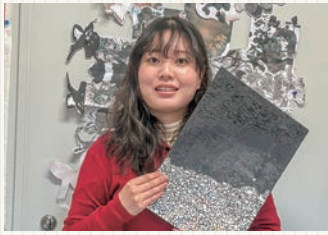
1年次の授業スケジュール(2024年度) ※一部を除き集中講義

前期	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践
	産業・労働分野に関する理論と支援の展開
	学校精神保健実践演習
後期	子どもの発達と学校の関わり(前期木曜6限)
	行動分析学特論
	教育分野に関する理論と支援の展開
	保健医療分野に関する理論と支援の展開(後期金曜7限)
通年	発達障害実践演習
	学校における防災教育と心のケア
	心理支援実践事例研究
	課題研究

授業がある日の1日



学生の時間割を公開！



芸術表現系教育コース(美術)
2年

加嶋ハル香さん

制作を通して見つめ直した、これまでの実践

修士論文の作成とのバランスを考えながら履修しました。中でも、工芸、彫塑、絵画などの実践科目は、小学校教員として現場に立っていた際には体験できなかったような専門的で本格的な制作活動に取り組むことができ、表現の幅が大きく広がりました。また、制作を通して得た学びは、再び学校現場に戻った際に、図画工作の授業へどのように取り入れられるかを考えるきっかけになりました。本学での学びは、これまでの実践を新たな視点で見つめ直す貴重な時間になっています。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1				
	2		造形表現の知識と技能I(絵画)		
	3	造形表現の知識と技能IV(工芸)	造形表現の知識と技能I(絵画)		
	4	造形表現の知識と技能IV(工芸)	図画工作・美術科学習論	造形表現の知識と技能II(彫塑)	課題研究
	5		アート・コミュニケーション演習	造形表現の知識と技能II(彫塑)	
後期	1	学校における防災教育と心のケア			
	2	造形活動の基礎IV(工芸)	造形活動の基礎III(デザイン)	美術批評と「鑑賞」教育	造形活動の基礎I(絵画)
	3	造形活動の基礎II(彫塑)			
	4			美術史学の基礎と批評	課題研究
	5				



生活・健康・情報系教育コース
2026年3月修了
／公立小学校教諭

上野裕邦さん

多くの支えの中で深めた学び

講義後には課題への取り組みや内容を振り返る機会が設けられており、学びや考えをアウトプットすることで理解や思考を深めることができました。無理のない時間割のもとで、計画的に学修に取り組める環境が整っていた点も大きな魅力です。保健体育の授業を考える講義では、「体育はなぜ必要なのか」「授業の成功とは何か」といった根源的な問いに向き合い、現職学生やストレート院生との議論を通して多様な視点に触れることができました。さらに、学生控室や食堂での教員や他コースの学生との交流を通して学びが広がり、日常的な対話からも多くの示唆を得ながら、2年間にわたり充実した研究生生活を送ることができました。

1年次の授業スケジュール(2024年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1					
	2		スポーツ心理学	身体運動科学		
	3	地域スポーツの運営と課題			コーディネート概論	
	4				視覚生理・病理	課題研究
	5					
後期	1	学校における防災教育と心のケア	病弱児指導論			
	2			運動指導の基礎と応用	子ども理解と学級経営の心理学	聴覚障害児指導法
	3	保健体育科授業研究	保健体育科教育論	課題研究		スポーツ文化論
	4		障害児保健研究			課題研究
	5					



障害科学コース
2026年3月修了

坂元海星さん

ゼロから身に付けた専門性

学部時代の介護等体験をきっかけに「特別支援学校で働きたい!」と強く志し、進学しました。本コースでは、特別支援教育に関わる基礎的内容から専門知識まで幅広く学修でき、特別支援教育の知識が乏しかった私にとってぴったりのコースでした。時間割は、特別支援学校教諭1種免許状(5領域)と専修免許状の取得を目指した組み合わせになりました。多くの授業でストレート院生やさまざまな校種の現職教員学生とのディスカッションの機会があり、今までになかった新たな知見を深め、視野を広げることができました。また、空いた時間には特別支援学校でボランティア活動を行い、学んだ知識を生かす実践力を身に付ける時間をつくることができました。

1年次の授業スケジュール(2024年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1	特別支援教育研究	肢体不自由児指導論	子どもの発達と学校の関わり	聴覚障害児心理学研究
	2	特別支援教育方法演習	視覚障害児心理学研究		聴覚障害児教育基礎技能
	3	特別支援心理学研究方法演習		コーディネート概論	課題研究
	4	発達障害研究		視覚生理・病理	
	5				
後期	1	病弱児指導論		発達神経医学	
	2	視覚障害児教育論	聴覚・音声検査法	行動障害支援論	聴覚障害児指導法
	3				課題研究
	4	障害児保健研究		視覚障害児指導法	
	5	特別支援教育事例研究			

集中講義：特別支援教育における学校臨床心理学演習、特別支援教育実践論、視覚障害児心理学特論ほか



発達障害支援実践コース
2年

／公立小学校教諭

青田真以子さん

仲間とのつながりと学びの深まり

通級指導教室で生かせる知識を学ぶために進学しました。特別支援教諭の免許は持っているため、特別支援教育士と臨床発達心理士の受験資格のための授業と、通級に関する領域の授業を履修しました。入学当初はうまくやっていけるのか不安もありましたが、授業の中で同期の仲間たちや先生方との対話を通して自分の視野を広げることができています。通級指導に関わる実践的な知識だけでなく、学校現場を俯瞰するという経験は、大学院で学ぶことができたからこそだと思います。小学校の現場を離れ、今まで「当たり前」だと思っていたことを見直すことが私自身の大きな学びにつながっています。たくさんの人とのつながりを大切にしながら学びを深めていきたいです。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	1			子どもの発達と学校の関わり	言語・コミュニケーション指導法演習
	2			特別支援教育リーダーのための創発的コミュニケーション	発達障害支援基礎実習
	3	特別支援教育論文購読と研究方法	ゼミ		発達障害支援基礎実習
	4	発達障害支援アセスメント演習	発達障害研究		学習障害児指導法演習
	5	発達障害支援アセスメント演習			課題研究
後期	1				
	2			行動支援法演習	家族支援心理学 発達障害支援基礎実習
	3			発達障害支援ケース実習	課題研究 発達障害支援基礎実習
	4	発達障害支援ケース実習	言語病理学	発達障害支援ケース実習	特別支援教育と教員間コミュニケーション
	5	発達障害支援ケース実習		子どもの発達支援(7限時)	課題研究

集中講義：個別の指導計画演習、特別支援教育と通常学級の授業づくり・学級経営

教育コミュニケーションコース



コースウェブサイト

“かかわり”から教育を見つめ直す

今 社会のあらゆる領域でコミュニケーションの重要性が叫ばれています。とりわけ、教育においては、その諸問題がコミュニケーションの問題という観点から語られる傾向にあります。しかし、そこでコミュニケーションのハウツーのみを覚えても限界があります。教育は人と人とのかかわり、人と社会とのかかわりの中で成立するものです。それゆえ、教育の本質的な課題に取り組むためには、まず“かかわり”、すなわち関係性という点について深く考察することが不可欠です。

このコースでは、教育という営みを成立させているさまざまな要因について、哲学・歴史学・社会学・心理学の観点から、多元的かつ総合的に研究を行います。それらを通して、これまでの教育観や教育システムを問い直し、より良い教育コミュニケーションのモデルを探究します。



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 大学入試対策の心理学化—【過去→現在→未来】の一貫性を必須とする自己分析が大学入試対策の技術とされていく歴史的地層を『螢雪時代』から探る—
- ▶ 分断社会における多文化教育—北アイルランドの統合教育と共有教育を事例に—
- ▶ 清末における江西省出身の留日学生についての研究
- ▶ 「共に生きる力」を育む学校に関する研究—「社会モデル」アプローチにより照射される教育目標に着目して—
- ▶ 朝鮮学校における母国語教育に対する認識に関する研究—教育者と学習者のアイデンティティに着目して—
- ▶ 小規模校という学校環境における教員の教職アイデンティティの形成
- ▶ 自己調整学習の観点からみた学習過程の多様性と学習者の個人差の検討—問題解決を主眼とする高校生の探究活動において考慮すべき要因として—
- ▶ 幼稚園で展開される「ひとり遊び」についての考察—観察を通して見える遊び姿の多様性に注目して—
- ▶ 経済連携協定に基づく外国人介護職員と日本人介護職員の職務継続意向について—職務面および生活面における満足度との関連から—
- ▶ 柱体の体積の「実体化」が児童の「関係操作」に及ぼす影響—小学校6年生の算数の授業実践を通して—
- ▶ 小学校教員が挫折経験を乗り越える過程の探求—ライフストーリーを描いたTEM図を手がかりに—
- ▶ 博学連携の視点から問い直す水族館の存在意義に関する研究—みなとやま水族館が目指す環境教育を手がかりに—
- ▶ 「わからないこと」に対する教師と子どもの協同的探究—ワイトゲンシュタインの言語ゲーム論を手がかりとして—
- ▶ 授業場面における教師の代替可能性に関する考察—メルロ=ポンティの「現象的身体」を手がかりにして—
- ▶ 民主主義を担う学校の道徳教育に関する研究—シャンタル・ムフの闘技民主主義の理論を手がかりに—

担当教員

(2026年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 須田康之 ※1</p>	教育社会学	教えと学びの社会学	ようこそ教育コミュニケーションコースへ。子どもがよりよく学ぶ要件を探り、その機会を保证するために、実際にどのように学んでいるのかを共に探究しましょう。
 <p>教授 吉國秀人</p>	心理学、 教育心理学、 教授学習過程	教えと学びの心理学	学校の授業場面とのつながりを大切に、実験的構想を駆使し、教授学習過程への理解を深めていきたいです。
 <p>教授 大関達也</p>	教育哲学、 解釈学、 教養論	教えと学びの哲学	文化的背景の異なる他者と共生する社会を築くために、対話による教養教育の可能性を探究します。
 <p>准教授 平野 亮</p>	教育学、 教育史、 教育思想	教育文化の歴史	過去を探り、現在(私たち)の自明性を問い直す歴史のアプローチから、(教育)について考察します。
 <p>講師 石川遥至</p>	感情心理学、 臨床心理学、 パーソナリティ心理学	人間理解の心理学	日常の思考や行動を成り立たせる心の働きを探り、(自分自身を含む)人間という存在について考えていきましょう。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定



教育コミュニケーションコースをイメージして描かれた絵

Voice

問いを受け止め、 育ててくれる学びの場

教育コミュニケーションコース2年

田代礼子さん



現在、ビジネス、医療、教育など、グローバルな対人支援の現場で働く成人を対象に、異文化コンピテンスを育む教育・研修に携わっています。大学院での研究テーマは異文化感受性発達理論です。一見すると学校教育とは異なる領域に見えるかもしれませんが、本コースには、そうした関心や実践経験も丁寧に受け止め、「教育」を人と人との(かかわり)から問い直す懐の深さがあります。

多様な背景を持つ仲間との対話に加え、先生方が社会学、心理学、哲学、歴史学の視点から寄り添いながら指導して下さることで、自分自身の問いを安心して深めることができました。ここは「よりよい学びのための学びの場」です。自分なりの問いを大切に育てたい方に、ぜひ加わってほしいコースです。

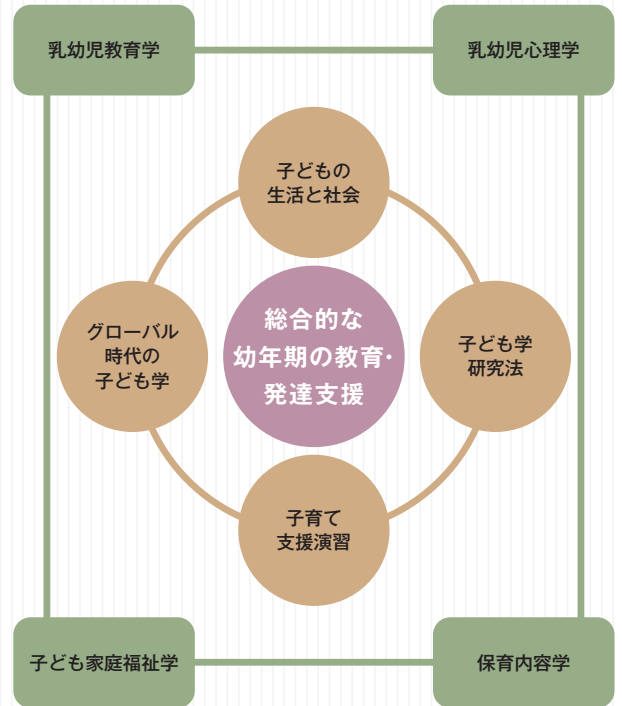
幼年教育・発達支援コース



コースウェブサイト

子どもとともに希望ある未来をつくる

幼年期は、遊びや生活の中の具体的な体験を通して生きる力の基礎を培う重要な時期です。幼年教育・発達支援コースでは、「乳幼児教育学」「子ども家庭福祉学」「乳幼児心理学」「保育内容学」の4つの領域を基盤とし、生涯にわたる人間形成の基礎を培う幼年期の教育について、家庭や小学校との関連性を視野に入れながら、教育・研究を積み重ねてきました。さらに、子どもをめぐる現代的な諸問題に対応するため、領域横断科目として「子どもの生活と社会」「グローバル時代の子ども学」「子育て支援演習」「子ども学研究法」の4つを設定しています。以上のようなカリキュラム構成により、現代にふさわしい幼年期の教育・発達支援の理論と実践の構築を目指しています。さらに、本学の子育て支援ルームや地域の子育て支援施設での実践を通して、地域での子育て支援のリーダーを養成する「子育て支援コーディネーター養成プログラム」を開講しています。「子どもの生活」にまなざしを向け、共に希望ある未来を切り拓いていきましょう。



コース開設の
教育プログラム

現場の子育て支援課題に対応する力を養う

▶ **子育て支援コーディネーター養成プログラム** p.10を参照

過去の修士論文テーマの例

- ▶ 1歳児のシンボル形成過程に関する事例研究—家庭での観察に基づいて—
- ▶ 幼児への歯科治療における心理的配慮の検討—歯科医療従事者及び患児保護者の必要性の認識に着目して—
- ▶ 保育者の支援的ユーモアと保育の質の関連
- ▶ 子育て支援における「わらべうた」の有効性—保護者の敏感性と子どもの感性に着目して—
- ▶ 子どもの食物アレルギー対応と親の心境の諸相—都市部に暮らす共働き家庭の実態から—
- ▶ DCD傾向のある子どもの運動発達と運動有能感の関係
- ▶ 3~5歳児の遊びへの参加とコンフリクトを通しての学び—正統的周辺参加論に基づく事例分析—
- ▶ 幼児教育・保育における新たな楽器の提案—MIDIパッド・DTMソフトの有効性—
- ▶ 乳児の運動行為と環境の痕跡との関連
- ▶ フィンランドの多文化保育実践に関する研究—言語支援に着目して—
- ▶ 幼年期の育児における母親と父親のソーシャルサポートに関する研究
- ▶ 在留外国人と母国に暮らす子女の子育て—ベトナム女性の実践から—
- ▶ 石井十次の施設養育に対する意識の検討—岡山孤児院新報の主婦関連記載部分に着目して—
- ▶ 特異的言語発達障害(SLI) 幼児に対する体験絵本を用いた支援についての研究—事例分析による検討—
- ▶ 3歳児の主体としての育ちと保育者の関わり—エピソード記述に基づく検討—

担当教員

(2026年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 石野秀明</p>	発達心理学	子どもの生活と心理	子どもの発達には、多くの問いに満ちています。皆さんと議論しながら考えていきたいと思っています。
 <p>准教授 飯野祐樹</p>	保育学、 幼児教育学	子どもの生活と教育、 グローバル社会の子ども学	専門は幼児教育学です。「保育の質評価」を基幹とし、カリキュラムや保育記録の国際比較を行っています。
 <p>准教授 茶谷智之</p>	子ども家庭福祉、 子育て支援	子どもの生活と福祉、 子どもの生活と社会	子育てで家庭が抱える困難と向き合いながら、子どもがよりよく生きられる「環境」について共に考えていきましょう。
 <p>准教授 水落洋志</p>	保育内容学、 幼児教育学	子どもの生活と健康、 子ども学研究法	未来を担う子どもたちのために、理論と実践を融合する力を共に高め合いましょう。
 <p>講師 藤尾かの子</p>	保育内容学、 音楽教育学	子どもの生活と表現、 子どもの生活と社会	幼年期の音楽表現を専門としています。理論と実践の往還により、子どもに豊かな感性や表現力を育むための方法を探究していきましょう。



子育て支援ルーム「かとうGENKI」

Voice

学び直しから広がる 保育の可能性

幼年教育・発達支援コース3年

岸本佳代さん



入学前は、経験を大切に子どもと関わり保育を進めてきました。しかし、日々の実践を振り返る中で子どもと保護者の変化を感じ、より根拠に基づいた保育を実践したいと考え、大学院での学び直しを決めました。仕事との両立に不安はあったものの、オンライン授業により時間を有効に使い、無理なく学ぶことができています。

ゼミでは、学術論文を初めて読みました。自らの保育を観察・記録し、そこでの気づきを理論に基づいて分析、検討しています。研究の難しさに直面することもあります。先生方の温かなご指導や、学生との意見交換を通して新たな視点に触れ、学ぶことの楽しさを実感しています。学びが実践に返ることもフレックスクラスの魅力です。

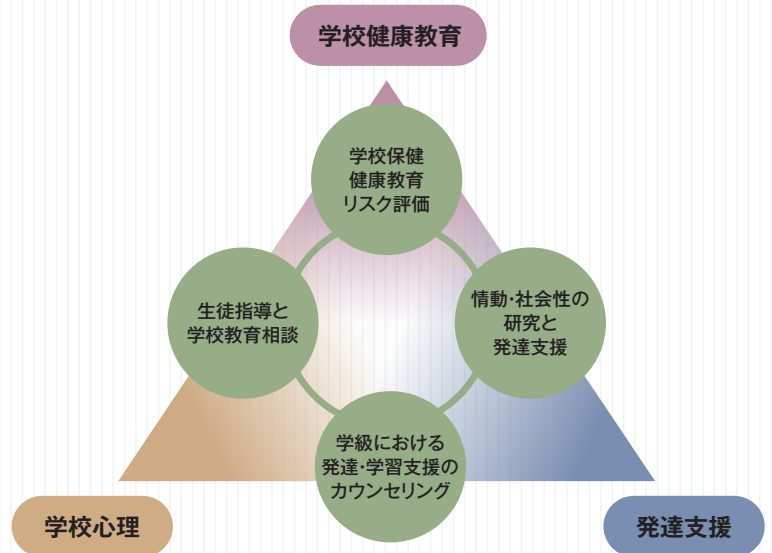
学校心理・学校健康教育・発達支援コース



コースウェブサイト

こころとからだの発達支援と教育を究める

学 校心理・学校健康教育・発達支援コースは、「学校心理」「発達支援」ならびに、「学校健康教育」の3つの領域にまたがるコースです。その中で①生徒指導と学校教育相談、②学級における発達・学習支援のカウンセリング、③情動・社会性の研究と発達支援、④学校保健と健康教育、健康に関連するリスク評価を4つの柱として、児童生徒に対する心理教育的対応、予防的介入を含めた発達支援、学校健康・安全教育、リスク評価、校内連携など、学校内外の専門家や諸機関との協働ができる知識と実践力を養います。



授業をクローズアップ!

子どもへの支援を考え実践する

学校臨床心理学演習
担当：藤原和政教授



子どもへの支援について、子ども個人、学級集団などの環境をアセスメントする視点や、個人と環境の相互作用を理解するための理論を学びます。その上で、いじめや不登校などに対するアプローチをグループで考え実践することを通して、よりよい支援の在り方について検討します。

ディスカッションを重視

子どもの発達支援
担当：細谷里香准教授

子どもの発達と環境との関わりについての基礎的知識を踏まえた上で、保育・教育現場における子どもの発達支援に関する理論と実践例を学びます。支援する者として新たな気づきを得られるよう、異なる背景を持つ受講者同士のディスカッションを重視しています。



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 愛着に課題のある児童の学級適応感に関する研究
- ▶ 中国の経済状況が困難な地域で暮らす子どもに対するレジリエンス育成プログラムの効果
- ▶ 中学生のひきこもり親和性に関する研究
- ▶ 小学生におけるインターネット依存傾向とQOL及び睡眠習慣との関連
- ▶ 児童生徒の学校健康診断及びその結果に対する認識と活用
- ▶ 児童生徒の生活習慣改善の意思、取組、動機、方策などの実態及び認知的スキルとの関連性
- ▶ 他者受容をテーマとした絵本の読み聞かせによる心理的効果に関する研究
- ▶ 子どもの学業失敗場面における教師の知能観・失敗観と言葉かけとの関連
- ▶ 児童期における居場所感と自尊感情及び学校適応感との関連

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 岡本 希</p>	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 <p>教授 藤原和政</p>	学校心理学、 教育心理学	生徒指導と教育相談、 学校臨床心理学演習	子どもの学校適応の促進を目的とした援助について、心理・社会面学習面に注目した研究に取り組んでいます。
 <p>准教授 細谷里香</p>	発達心理学	子どもの発達支援、 発達・学習支援特論	認知・社会的発達と他者との相互作用に関心があります。発達や学習について多角的に研究したいと思います。
 <p>准教授 鳥取伸彬</p>	運動生理学、 健康教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	子どもの健康に関する生活・環境・教育について、身体活動に焦点を当てて研究を行います。
 <p>准教授 高木 亮</p>	教育心理学、 学校メンタルヘルス、 学校改善	子どものメンタルヘルス、教職員の ストレスマネジメント	健康と幸福を主な関心として、教育の現場で具体的な支援につながる研究を目指していきます。
 <p>講師 清水真由子</p>	発達心理学	発達アセスメントと支援、 情動・社会性発達論	仲間関係の中で育まれる子どもたちの向社会性に着目し、教育や支援につながる研究を目指しています。

学校心理・学校健康教育・発達支援コースで得られる受験資格

所定の条件を満たすことで受験が可能になります。

- ▶ 学校心理士
- ▶ カウンセリング心理士
- ▶ 臨床発達心理士

コース開設の
教育プログラム

健康教育を実践できる
スペシャリストを目指す!

▶ 健康教育実践プログラム

p.9を参照

Voice

学びを通して
自分を知る

学校心理・学校健康教育・発達支援コース
2026年3月修了
永井里奈さん



教員という仕事が自分に向いているのか、子どもに寄り添えているのか。子どもの気持ちを深く理解し、自分にできることを見つけたいと考え、学校心理学を学び直すことを決意しました。

本コースでは、学校心理に加えて発達支援や学校健康教育の視点も学ぶことができ、教員としての役割と自分自身を多角的に見つめ直す貴重な時間となりました。研究に打ち込む中で、これまでの指導や支援を振り返るとともに、自身の思いや強みを再認識し、現場に戻った際に取り組みたいことを見つけることができたと感じています。

今後の教員人生を支える心強い仲間と学びを得て、楽しく実りある学生生活を送ることができました。

臨床心理学コース



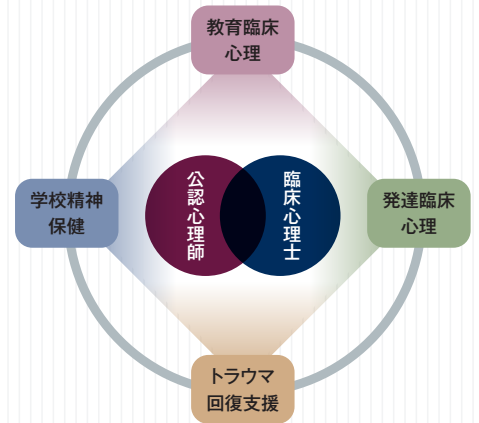
コースウェブサイト

地域で、学校で、職場で悩める人たちと共に考え、支援する人材を養成する

臨 床心理学コースでは、生涯発達のさまざまな段階における心の問題にアプローチする専門家を養成します。

心理職には、①面接や心理テストなどを用いた心理査定技術、②臨床心理面接援助技法を適用した的確な対応・処置能力、③地域の心の健康活動にかかわる人的援助システムのコーディネーティングやコンサルテーション能力、④心理臨床実践に関する継続的な研究と社会への還元が求められます。これらに精通するための基礎的な知識と技術を身に付けることを目指しています。そこで、教育臨床心理、発達臨床心理、学校精神保健、トラウマ回復支援法の4つの柱(分野)を設定し、その4つが協働して立体的なアプローチを行っています。教員の専門領域は、力動的アプローチ、行動論的アプローチ、トラウマ支援など多様で、幅広い方法論を学べます。

【昼間クラス(資格取得クラス)】



昼間クラス(資格取得クラス)は、神戸キャンパスで授業を行います。

2024年度からフレックスクラス(心理支援実践力養成クラス)を開設しました。

フレックスクラスは、教育現場ならびに対人援助現場の課題解決型のクラスです。勤務を継続しつつ、ICTやオンラインを活用して、自宅等から全ての授業を受講できます。本クラスでは、以下の実践力の養成を目指しています。

- ▶ 個々の事例の課題を見立てる(アセスメントする)力
- ▶ 個々の事例の介入ポイント・支援計画を明確化する力
- ▶ 事例の解決のために他職種連携・地域連携する力

※講義科目は基本的にオンデマンド配信し、演習科目の一部は同期型オンライン授業です

対象

- ▶ 小・中・高等学校の教員で、子どもの不登校や発達の問題、保護者対応に悩んでいる方
- ▶ 対人援助職の方で、今の職場で臨床心理学の知識と技能を生かしたい方
- ▶ 心理職関連の資格を既に持っている方で、心理支援の実践力を高めたい方

※フレックスクラス(心理支援実践力養成クラス)では、公認心理師および臨床心理士の受験資格は取得できませんが、両資格に係る高度な専門科目を履修でき、所定の単位を修得し、修了した者には、本学独自の「心理支援実践プログラム」修了証書を授与します



2025年度から厚生労働省認可職場適応援助者養成研修を昼間クラス生対象に開設しました。詳しくはp.10へ

※対象人数を10人に限定しています。応募・受講方法の詳細については入学時にコースから案内します

Voice

誰かの心に届く学びを目指して



臨床心理学コース(昼間)
2026年3月修了
高田穂香さん

多角的な視点から学びを得ると同時に、それを実際に使えるよう考える力を身に付ける2年間になりました。幅広い分野で活躍されている先生方のお話や実践の機会、一緒に考えてくれる仲間との対話を通して、その時その場所で何が起きているのか、内と外から思いを巡らせることができました。今後も自分と世界と向き合い、考え続けていきたいです。その積み重ねが、少しでも誰かの心を明るくすることにつながればと願っています。

心理支援実践力を磨く学び



臨床心理学コース(フレックス)
2026年3月修了
松本咲子さん

教員退職後、スクールカウンセラーとして勤務する中、心理支援について力不足を感じていた時に、仕事をしながら自宅で学ぶことができる本コースフレックスクラスの開設を知りました。心理支援実践事例研究では、オンライン上で多職種のメンバーと事例について意見交換をする中で、自分にはなかった視点に気づき、いい刺激を受けました。課題研究では各先生方の専門分野から深く学ぶことができ、まさに自分が求めていた学びがここにあります。

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
教授 海野千畝子	子ども虐待対応臨床、 統合的心理療法、 動物介在療法	被害者の心のケア、 臨床心理基礎実習、 司法犯罪分野の理論と支援の 展開	現場に役立つ介入について研究しています。臨床技 法には、解離に焦点を当てた心理療法を実践してい ます。
教授 宇治雅代	精神医学、 臨床行動科学、 精神分析的な心理療法	保健医療分野に関する理論と 支援の展開	精神療法に重きを置く精神科臨床と心理社会的視点 からの研究を行う中で、常に好奇心と探究心を持ち続 けたいと考えています。
教授 遠藤裕乃	臨床心理学、 精神力動的な心理療法	臨床心理面接特論I-II	精神力動的な心理療法に家族療法、短期療法の技法を 取り入れ、実効性のある心理支援モデルを探索してい ます。
教授 佐田久真貴	臨床心理学、 応用行動分析学	教育分野に関する理論と支援 の展開、 発達障害心理臨床における応 用行動分析学特論	臨床技術の研鑽と、さまざまな専門家との協力を大切 にし、子どもたちとその周囲の人々への支援に取り組 んでいます。
教授 伊藤大輔	認知行動療法、 ストレス科学	臨床心理学特論、 心の健康教育に関する理論と 実践	実証的根拠に基づいた心理学的支援(被害者支援 や復職支援、ストレスマネジメント等)を検討して います。
教授 池田浩之	障害者就労支援、 認知行動療法、 発達障害	産業・労働分野の理論と実践、 福祉分野の理論と実践	認知行動療法を通じた、精神障害や発達障害のある 方々への就労支援を専門としています。
准教授 上田勝久	臨床心理学、 精神分析的な心理療法	教育相談論、 保健医療分野の理論と支援 (精神保健学特論)	力動的、精神分析的な実践知を、さまざまな現場で柔 軟に活用していく方法について模索しています。
准教授 大塚真男	臨床心理学、 精神神経科学	保健医療分野に関する理論と 支援の展開(児童青年精神病 理学)	精神疾患や発達障害の認知機能(感情認知、心の理 論、感覚統合、記憶、遂行機能等)に注目した心理学的 介入および査定の有効性について研究しています。
准教授 永山智之	心理臨床学、 力動的な心理療法、 思春期・青年期の人格発達	臨床心理実習、 教育分野に関する理論と支援 の展開	①箱庭や描画、グループの現代的活用法②心理療 法でのミクロな変化を捉える理論・技法を研究して います。
准教授 池田龍也	臨床心理学、 異常心理学	臨床心理統計研究法	解離やトラウマの発生や影響について、主に定量的に 研究しています。
講師 空間美智子	臨床心理学、 行動分析学	福祉分野に関する理論と支援 の展開、 発達障害心理臨床における応 用行動分析学特論	発達障害児のアセスメントと支援、保護者や教員との 連携について研究しています。

過去の修士論文テーマの例

- ▶ マインドフルネス傾向とPTSD症状の関連—トラウマ関連の否定的認知や回避行動を媒介して—
- ▶ 初任心理職者のリアリティ・ショックに組織社会化が及ぼす影響の検討
- ▶ 年代別にみるキャリアビジョンとワークエンゲイジメント及び職業性ストレスの研究
- ▶ 発達障害のある子どもを育てる母親のPTGにおけるコーピングとソーシャルサポートの役割
- ▶ PBS(ポジティブ行動支援)を活用した校内支援体制構築が教師の支援行動に及ぼす効果
- ▶ 眼球運動が脅威刺激に対する注意に与える影響
- ▶ 青年期におけるグループ箱庭心理教育プログラムの試み—対人恐怖心性に着目して—
- ▶ ライフストーリーワーク実施者の内的体験過程に関する質的研究

芸術表現系教育コース



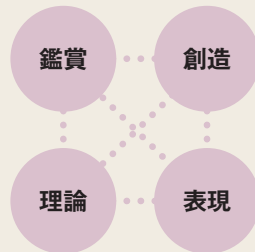
コースウェブサイト

芸術への理解と技能を深め新たなステージへ

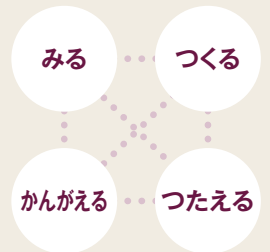
芸 術表現系教育コースは、音楽と美術における芸術教育とこれに関わる諸事象を研究領域とし、表現や鑑賞の能力に関する総合的理解を基盤として、芸術教育に関する理論と実践の融合を目指し現代社会の抱える諸問題に対処するための教育研究を行っています。音楽分野は声楽、器楽、音楽科教育学等を柱に、美術分野は絵画、彫刻、デザイン、工芸、美術史学、美術科教育学等を柱に、それぞれ理論と実技の両面における創造的かつ実践的な研究に取り組みます。芸術棟には、視聴覚室、ML教室、合奏練習室、ピアノ練習個室、音響設備の整った講堂および絵画、彫塑、デザイン、工芸、窯芸、版画等の充実した実習室を完備しているほか、アート・ラボ、教材作成や授業研究のための演習室や院生研究室もあり、高度な演奏・制作・研究活動が可能です。



音 楽は、現代社会において見過ごされてきた感性の回復を目的とし「理論、創造、鑑賞、表現」という4つの視点に基づいて実践的な音楽教育の確立を目指しています。



美 術は、理論と制作の両面における創造的かつ実践的な美術教育の確立を目指し「かんがえる、つくる、みる、つたえる」という4つの作業を相互に関係付けながら新しい教育方法を探っています。



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 小学校音楽科における創意工夫を活かした表現活動に関する研究—発達の最近接領域を手がかりとして—
- ▶ ICTを活用した音楽創作活動に関する研究—DAWのピアノロールを視点とした楽典の基礎学習—
- ▶ 思いや意図を持った歌唱表現を育むための指導法—言語活動に着目して—
- ▶ 小学校音楽科における人形浄瑠璃の教材化に関する研究—オリジナル演目を用いた表現活動を目指して—
- ▶ 日本と海外のピアノ指導に関する比較研究—ピアノグレード試験を視点として—
- ▶ 児童の美術造形学習における身体関与の価値への視点に関する研究:「身体化された認知」の射程へ
- ▶ 《ぼやけた画像》をめぐる認識と想像力について—考察—「見ること」に関する教育実践とその理論—
- ▶ 高村光太郎の彫刻と詩の関係について
- ▶ メディア・リテラシー教育におけるポスターデザイン学習の可能性
- ▶ 中学校美術における皮革教材の可能性について

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
音楽	 教授 野本立人	声楽、合唱	音楽表現の知識と技能Ⅰ(声楽)、音楽表現の創意Ⅰ(声楽)、音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	声楽曲および合唱曲の演奏と解釈。発声技法の実践的研究。また、合唱指導法についても研究しています。
	 教授 河内 勇	器楽(クラリネット)、吹奏楽指揮法、合奏指導法	音楽表現の知識と技能Ⅲ(器楽)、音楽表現の創意Ⅲ(器楽)、音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	専門はクラリネット。高度な専門性を生かした個人指導から初級者のための集団指導まで幅広く研究しています。
	 准教授 岡本信一	音楽科教育学、教育方法学、カリキュラムデザイン	音楽科の教材開発と実践研究、音楽科カリキュラム研究	音楽に対する子どもの認知過程を視点としたカリキュラム開発や授業研究を、学際的・実践的に行っています。
	 准教授 井上朋子	ピアノ、音楽教育学、芸術教育学	音楽表現の知識と技能Ⅱ(鍵盤)、音楽教育の創意Ⅱ(鍵盤)、アート・コミュニケーション演習	ピアノやピアノを含む室内楽の演奏法と指導法、ならびに領域・教科を横断した総合的な表現教育の可能性について研究しています。
美術	 教授 河邊昭子	音楽科教育学	音楽科授業の指導計画と教材研究の演習	音楽科の授業構成論を踏まえ、実践的知識と実践的思考を伴う教材開発力の育成を目指します。
	 教授 喜多村明里 ※2	美術美術史学、イタリヤ美術文化史	美術史学の基礎と批評、美術批評と「鑑賞」教育	美術作品をめぐる感性と知性の融合と拡張、真の芸術体験と鑑賞批評の教育について、真剣に考えよう。
	 教授 大西 久	絵画(素描、水彩、油彩画など)	造形活動の基礎Ⅰ(絵画)、造形表現の知識と技能Ⅰ(絵画)	絵画における「描く」「見る」「考える」の意義と関係について、多様な視点と柔軟な思考で探究しよう。
	 教授 浅海真弓	工芸(陶芸、立体造形など)	造形活動の基礎Ⅳ(工芸)、造形表現の知識と技能Ⅳ(工芸)	工芸の実技と理論を担当。陶芸を中心に、工芸の素材・技法を用いた造形表現の可能性を探究しています。
	 教授 前芝武史	彫塑・デッサン、美術解剖学	造形活動の基礎Ⅱ(彫塑)、造形表現の知識と技能Ⅱ(彫塑)	彫塑教育論(特別支援教育含む)を研究しています。事象の本質を掘り下げた教育を行いたいと思います。
	 教授 垣内敬造 ※1	デザイン(デザイン理論、デザイン史)	造形活動の基礎Ⅲ(デザイン)、造形表現の知識と技能Ⅲ(デザイン)	歴史や理論からデザインの概念を捉え直し、現場での実践に結び付けてデザインを体得します。

Voice

音楽にあふれた毎日



芸術表現系教育コース(音楽) 2年
大阪和子さん

長い教員生活にピリオドを打ち、「もう一度、音楽を学び直したい」という気持ちで大学院に挑戦しました。学生としての毎日は本当に新鮮で、音楽の理論だけでなく、ピアノや声楽、ソルフェージュや器楽(管楽器、弦楽器、和楽器)、美術コースの方々と交流できるアートコミュニケーションなど、想像以上に音楽や芸術にあふれた毎日をご過ごすことができます。私の人生に、こんな貴重な2年間があることを幸せに感じています。

学び方は十人十色



芸術表現系教育コース(美術) 2年
大藪将善さん

子どもたちと関わる中で、漠然と「教育ってこの先どうなるん?」と考えるようになりました。当然そんな答えはどこにも載っていないわけですが、大学院で学び、語る中で、自分の捉える教育の在り方が次第にはっきりとしてきました。教えてもらうばかりでなく、自ら学ぼうとした時に、この場所が最適な場所へと変わりました。美術のような答えのない問いに対して、これからも試行錯誤を楽しみながら過ごしたいと思っています。

生活・健康・情報系教育コース



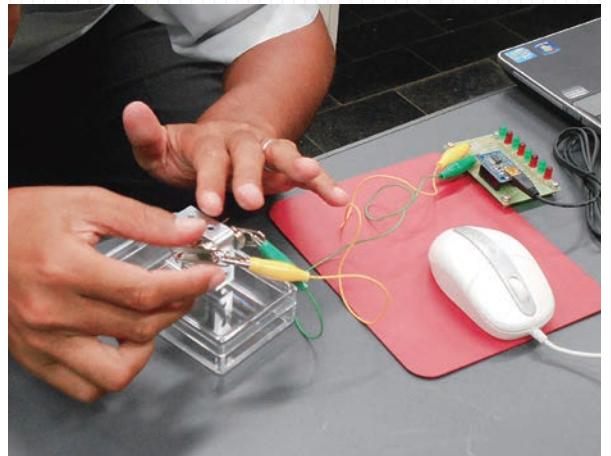
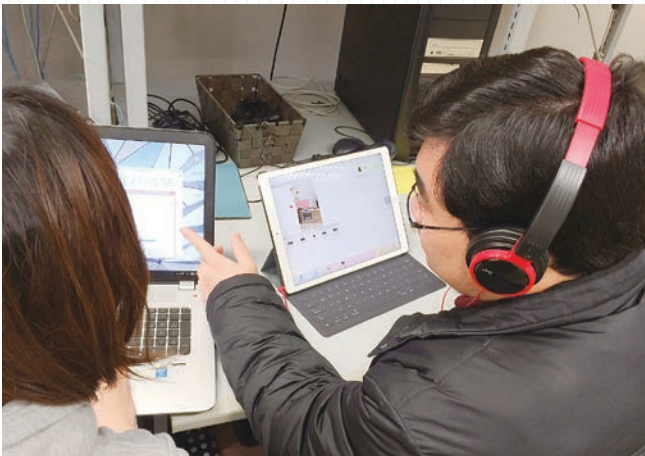
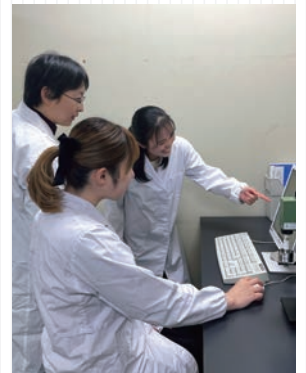
コースウェブサイト

Imagination & Creation for Life — 想像から創造へ

生活環境の変化に対応するためには、「健康で豊かな生活を営む力」や「主体的に問題解決する能力」が求められています。このコースでは、これらの力を培うために必要な高度な知識と技能を身に付けるとともに、授業の内容と方法を開発・実践・省察することに取り組みます。

そして、保健体育、技術・家庭、工業、情報に関わる専門的な教科内容を学び、各教科の教育や授業の実践を深化させることを目指します。また、教科の枠を超えたスポーツ文化、食育、健康、環境、情報（ICT活用）、ものづくり等の複合領域についても教育・研究に取り組みます。健康教育について重点的に学びたい方のために、学校心理・学校健康教育・発達支援コースと連携した「健康教育実践プログラム」も開設しています。

合言葉は、“Imagination & Creation for Life”。想像したことは創造できる。幅広い研究を通して豊かなライフスタイルの実現を目指します。



コース開設の教育プログラム

健康教育を実践できるスペシャリストを目指す!

▶ 健康教育実践プログラム

p.9を参照

健康教育に関する基礎的内容から1科目以上、専門的内容から4科目以上を履修します。

区分	授業科目	単位数	必修	授業方法
健康教育に関する基礎的内容	健康教育論	2	2	講義・演習
	ライフスタイルと健康	2		講義・演習
健康教育に関する専門的内容	衛生学・公衆衛生学研究	2	8	講義
	学校保健研究	2		講義
	子どものリスクと安全教育	2		講義・演習
	子どものメンタルヘルス	2		講義・演習
	教職員のストレスマネジメント	2		講義・演習
	からだと心の健康	2		講義
	食育の考え方と進め方	2		講義・演習
	運動指導の基礎と応用	2		演習
	合計		10	

Voice

したいことを全部して 教員になる準備ができた 2年間

生活・健康・情報系教育コース

2026年3月修了

赤木優菜さん



他大学で幼・初等教育を4年間学び、本学大学院に進学しました。家庭分野の先生方が複数所属されるぜいたくな環境で、家庭科の魅力や面白さを探究でき、修論執筆ではアットホームな雰囲気の中、丁寧かつ熱心にご指導いただきました。

経験豊富な現職教員学生と一緒に学ぶ授業やゼミの時間は、大学を卒業してすぐに進学した私にとって、教壇に立つイメージを膨らませることができるありがたい機会であり、教育現場での実践につながる引き出しを増やせたように思います。DHPプログラムでの台湾・韓国学生との交流や、海外での学会発表も印象深い経験です。今後は、本学での学びを生かし、教員として子どもたちに学ぶ楽しさを伝えていきたいです。

Voice

人とのつながりの中で 深まる学び

生活・健康・情報系教育コース2年

若山菜々峰さん



大学院には自分の関心を掘り下げて研究できる環境が整っており、人とのつながりの大切さも日々実感しています。授業や研究において行き詰まった際には、気軽に相談できる仲間や、手を差し伸べてくださる先生方、先輩方の存在が大きな支えとなっています。

また、現職教員学生との出会いは、この一年を特に充実したものにしてくれました。経験豊富な方々との関わりを通して、自分の視野がさらに広がったように感じました。

キャンパスでは学年や分野を超えた交流もあり、多様な立場の人との出会いやつながりの中で学びが、教育者としての視野や成長につながっていくと思います。

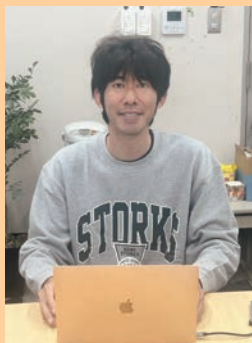
Voice

自身の思考を整理して 磨ける場所

生活・健康・情報系教育コース

2026年3月修了

土井健司さん



情報教育における知識や方法を身に付けて、自分に足りない部分を埋める場所が大学院だと思っていました。けれど実際は、大学院はこれまで自分の思考と向き合い、ゆっくり整理しながら新しい余白をつくる場所でした。その余白があるからこそ、学びや議論を通して自身の思考を磨くことができたと感じています。

仲間やゼミの教授と議論する中で、自身の経験を振り返り、「そういう見方もあるのか」と気付くことが何度もありました。大学院は急いで答えを出す場所ではなく、考える時間を大切にできる場所です。

それは、子どもたちにとっても同じ。学校がそのような場所になるよう、大学院で得た学びを基にこれからも研鑽を重ねていきたいです。

担当教員

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 上原 禎弘	身体教育学、 体育科教育学	保健体育科授業研究	学習成果(態度、技能)を高める教員の言語的相互作用を中心に研究を進めています。
 教授 森田 啓之	体育・スポーツ原論、 身体教育学	スポーツ文化論、 地域スポーツの運営と課題	学校体育(授業や部活動)の在り方、また社会体育(地域スポーツクラブ)との関係について研究しています。
 准教授 中須 賢巧	健康・スポーツ科学、 身体教育学	保健体育科教育論、 スポーツ心理学	専門は体育心理学、体育科教育学。特に体育授業における動機づけ雰囲気に関心があり、研究を進めています。
 准教授 吉本 隆哉	バイオメカニクス、 運動生理学、 トレーニング科学	身体運動科学、 運動指導の基礎と応用	スポーツパフォーマンスを向上させるための科学的なアプローチについて、体力と技術の要素から研究を進めています。
 教授 岡本 希	衛生学・公衆衛生学、 学校保健	衛生学・公衆衛生学研究、 学校保健研究	児童生徒が適切な時期に適正な生活習慣を身に付けるための教育について調査研究を行います。
 准教授 鳥取 伸彬	運動生理学、 健康教育	健康教育論、 子どものリスクと安全教育	子どもの健康に関連する生活・環境・教育について、身体活動に焦点を当てて研究を行います。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

過去の修士論文テーマの例

- ▶陸上競技中長距離選手の競技力に下腿筋の力学的特性が与える影響
- ▶中学校剣道における間合いを重視した攻防学習の有効性に関する研究—1年の男女共習授業を対象として—
- ▶これからの学校における新たなプカツの提案—一部活動の地域移行を踏まえて—
- ▶体育における教師及びクラスメイトの行動、自己開示、楽しさの関係—内発的動機づけの認知タイプと学年に着目して—
- ▶学校の食育推進の評価に関する実践的研究—栄養教諭の関わりに着目して—
- ▶包括的性教育の視点をふまえた高等学校家庭科の授業構想
- ▶高等学校通信制課程家庭科における添削指導問題の基本構造及び作成手順の開発と評価
- ▶中学校家庭科における食品ロスを題材とした授業の検討
- ▶自立活動におけるプランニングを対象としたASD児向けデジタル教材の検討
- ▶システム工学の考え方に基づく中学校技術科における最適化思考の構造化
- ▶中学校理科「電流とその利用」のための科学的な概念形成を支援するアニメーション教材の開発

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 小山英樹 ※2	電子工学	電気・電子工学とものづくりの技術、計測・制御システム教材研究	LEDやトランジスタなどの電子部品の特徴を生かした、シンプルで使いやすい教材の開発を進めています。
 教授 森廣浩一郎	科学教育・教育学、 教育学	教育情報コミュニケーション、 総合学習情報論	学びを支援するシステムの構築やそれを用いた教育実践について、さまざまな学校種・教科等で考えてみませんか。
 教授 小川修史	教育学、 Assistive Technology、 特別支援教育	教育情報工学、 教育の情報化とICT活用	障害者のQOLを高めるICT活用や、そのための教員研修について研究しています。一緒に研究しませんか。
 准教授 掛川淳一	教育学、 学習支援システム	情報工学とプログラミングの技術、 情報化教育環境開発論	知識工学・認知科学的なアプローチに基づく学習／教育支援システムについて、一緒に検討していきましょう。
 准教授 緒方思源	感性工学、 ソフトコンピューティング	教育情報ネットワーク活用論、 教育情報コミュニケーション	データ科学・AIを用いて感性・芸術の世界で価値を創造できる人材の育成に役立つ感性工学とAI芸術の研究を進めています。
 講師 山下義史	技術教育、 情報教育、 教育学	技術教育授業研究	技術教育と情報教育について、学習者の認知的実態を分析し、授業デザインする研究をしています。一緒に研究しませんか。
 准教授 澤山郁夫	教育学、 情報教育	情報社会と生活、 教育の情報化とICT活用	e-Learningやアプリ開発を通して、問題解決や行動変容のための方法論を研究しています。無気力・無関心に陥らない新しい「学びの仕組み」を一緒に考えましょう。
 教授 永田智子	家庭科教育学、 教育学	家庭科授業論、 教育の情報化とICT	小中高の家庭科教育、特に授業づくりについて研究しています。授業におけるICT活用についても研究しています。
 教授 永田夏来	家族社会学	ライフスタイルと家族関係	家族社会学を専門としています。若者の結婚や妊娠・出産、ライフスタイルを切り口に、現代社会について考えてみませんか。
 准教授 小林裕子	家庭科教育学、 被服学	家庭科授業研究	家庭科教育上の課題解決を目指す授業や教材の開発、持続可能な衣生活に関する研究を進めています。
 准教授 鈴木千春	家庭科教育学、 住居学	住生活の科学と文化	学校現場のニーズに基づく家庭科の教材について研究しています。住生活や住環境を中心に安全教育・防災教育にも取り組んでいます。
 准教授 森井沙衣子 ※1	調理科学、 食生活科学	食生活の科学と文化、 ライフスタイルと健康	調理により食べ物に起こる現象を科学的に分析し、そのメカニズムや原因を明らかにするための基礎研究や、それらを食生活に応用する研究に取り組んでいます。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

障害科学コース



コースウェブサイト

総合的な専門性に裏付けられた支援力

特別支援教育の対象となる障害には、視覚障害、聴覚障害、肢体不自由、病弱、知的障害、発達障害(LD、ADHD、ASD等)、重複障害等があり、これらは多様な教育的ニーズとして捉えることができます。今日では、多様な教育的ニーズのある児童生徒が同じ場で共に学ぶことを追求するとともに、個別の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するための「連続性のある多様な学びの場」が求められます。

それに応えるために本コースでは、「実践する力」「連携する力」「研究する力」の3つの力の養成を目指しています。この「実践力・連携力・研究力」は、次の3つの専門性で構成されます。

- ①多様な障害の特性に関する理解
- ②障害児・者、保護者、学校・学級等への支援
- ③地域における支援システムの構築

これらについて、教育学、心理学、生理・病理、指導法、福祉・コーディネートといった多様な学問領域からのアプローチを学ぶことにより総合的に3つの専門性を高めていきます。

■総合的な専門性の概念図



フレックスクラスを開設しています

フレックスクラスでは、勤務を継続しつつ、オンラインを活用し、自宅等から授業を受けることができます。昼間クラスとは開講授業科目や研究指導等の方法が異なります。詳細については、本学ウェブサイトの「障害科学コース(フレックスクラス)」または大学院説明会(オンライン等)で確認してください。

過去の修士論文テーマの例

- ▶ 中学校自閉症・情緒障害特別支援学級における進路指導の現状と課題
- ▶ 重度重複障害児の教科指導に携わる教員が抱える困難に関する研究
- ▶ 小学校低学年児童に対する小集団運動プログラムの有効性についての検討
- ▶ 心身症・精神疾患のある児童生徒の困難に応じた教育支援の課題—病弱特別支援学校の実践報告の検討を通して—
- ▶ きょうだいの周囲との関わり合いについての事例的研究—アンコンシャスバイアスと差別体験に着目して—
- ▶ 知的特別支援学校高等部における外国語の活動・授業に関する実態調査
- ▶ 小・中学校の特別支援学級担任が抱える自立活動における困難と専門性の向上
- ▶ 場面緘黙に対する支援についての検討—当事者・家族の困難に着目して—
- ▶ 個別の指導計画にかかわる取り組みと校内体制について—実態と願いにもとづく作成と活用に着目して—
- ▶ 小学校の通常学級における学級規模ポジティブ行動支援(CWPBS)の効果の検討

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 井澤信三	発達障害臨床心理学、 応用行動分析学	障害児心理学研究、 行動障害支援論	個人、学校、地域における応用行動分析学に基づいたアプローチの実践と研究を一緒にやりましょう。
 教授 石倉健二	自立活動、 心理リハビリテーション、 協調運動困難	肢体不自由児指導論、 病弱児指導論	自立活動や心理リハビリテーション、関係機関との連携を通じて、障害のある方々の発達と生活上の困難の軽減について実践と研究を行っています。
 教授 高野美由紀	早期発見・早期支援、 医療と教育の連携、 知的障害児者とのインタラク ティブな語り	障害児病理、 障害児保健研究	「子ども、家族、支援者がそれぞれに充実した一日を送る」を一緒に追究していきましょう。
 准教授 中島武史	ろう教育研究、 社会言語学、 障害学	聴覚障害教育基礎技能、 聴覚障害児指導法	手話やリテラシーなどをキーワードに、ろう教育について一緒に考え、新たな実践を探ってみませんか。
 准教授 石井智也	特別支援教育学、 特別ニーズ教育学、 日本教育史	特別支援教育研究、 特別支援教育特論	障害・特別ニーズを有する子ども一人一人の声に応じた発達支援について、主に歴史研究を通して検討しています。
 講師 丹所 忍	先天盲児の空間認知、 盲学校におけるセンター的取 り組み	視覚障害児教育論、 視覚障害児指導法	見えない・見えにくい子どもの学びから、見やすく・分かりやすい教育の在り方についても考えています。
 助教 三枝里江	聴覚障害児の学習環境、 コミュニケーション、 障害学生支援	聴覚障害児心理学研究、 言語病理学	多様な特性のある聴覚障害児の視点を大切にされた教育・学習環境の在り方、および共生社会の実現に向けた障害学生支援を目指しています。

授業をクローズアップ!

心理学からの障害の理解と支援へ!

障害児心理学研究

担当教員：井澤信三教授、石倉健二教授



知 知的障害等のある人を理解・支援するために、発達心理学(情動、認知、共同注意、感覚・知覚と運動動作等)と学習心理学(オベラント・レスポナント条件づけ、認知的アプローチ等)という2つの視点から、講義と演習を通して具体的に学んでいきます。

「自立活動」を適切に実施するために!

特別支援教育における学校臨床心理学演習 等

担当教員：井澤信三教授、石倉健二教授、岡村章司教授、石井智也准教授 他

特 別支援学校の専門性の中核といえる「自立活動」を適切に実施できるよう、教育課程、指導法、個別の指導計画などについて取り扱っています。特に、発達心理臨床研究センターを利用したの実習や研修を行うことで、実践的な力量を向上させるための機会を設けています。



Voice

今までの世界から
広がる視野

障害科学コース
2026年3月修了
朝間誠悟さん



特別支援教育に関わる現場で日々授業や子どもたちのことなどを考えたり、調べたり、先生方と話したりする中で、いつか特別支援教育についてもっと学びたいと思っていました。

2年間の学びや研究では、今までの経験と結び付けて考えたこと、はっとさせられたこと、自分自身と向き合ったことなど、数え切れません。知見を深めることは、自分の視野を大きく広げてくれることにつながると感じました。

また、先生方をはじめ大学で出会う仲間との対話は貴重な経験です。普段、なかなか関わる場面のないさまざまな校種の現職教員学生やストレート院生などの皆さんとの対話や出会いは、新たな気づきを得るまたとない機会だと感じました。

発達障害支援実践コース



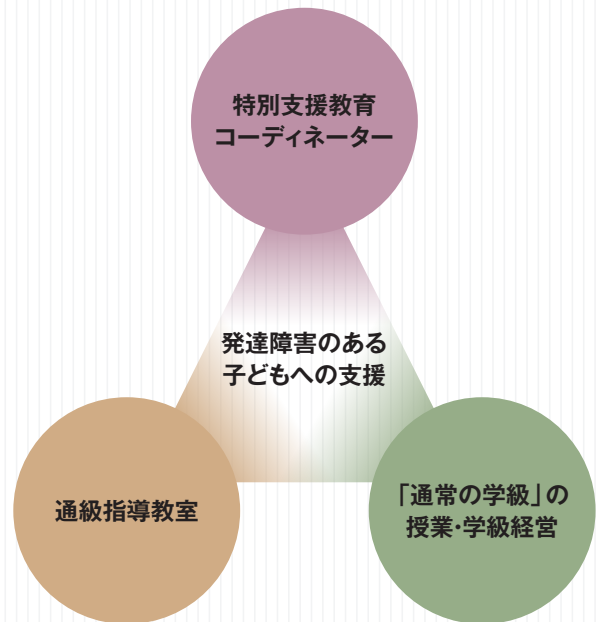
コースウェブサイト

すべての子どもにより良い支援を!

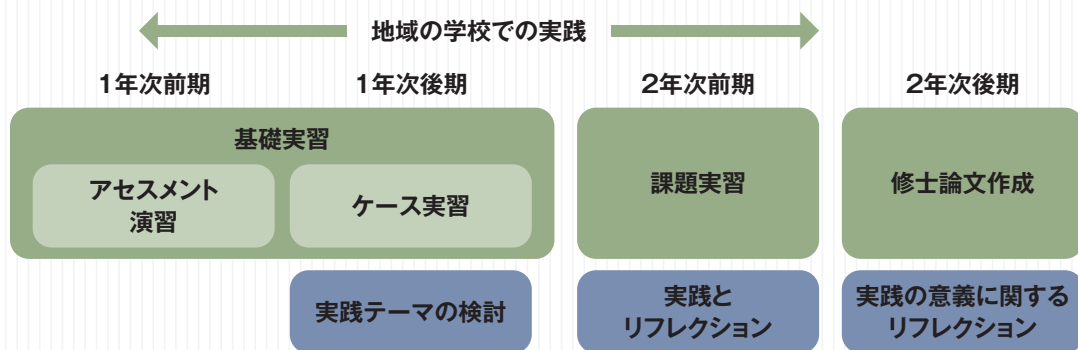
特別支援教育における課題の解決を自ら主体的に考え、地域や学校で中核となって活動する特別支援教育担当者の育成を目指しています。通常の学級担任・教科担当者にも発達障害支援の実践力(例えば、ユニバーサルデザインの授業)が求められていることから、ストレート学生も入学対象となっています。

発達障害支援に当たって「特別支援教育コーディネーター」「通級指導教室担当者」「特別支援教育を理解して通常の学級において授業・学級経営の工夫をする教員」の人材育成を念頭に、授業科目の領域が設定されています。2年間を通して、地域の教育委員会や学校と協働した学校現場実習を組んでいることも大きな特色です。

コーディネーターや通級担当者には、ミドルリーダーとして教員間コミュニケーションを促進して、特別支援教育の体制を推進する役目もあります。これから、通常の学級担任には、インクルーシブ教育を見据えて授業をデザインする力量も求められます。本コースはこのような新しい役割にも積極的に対応しています。





■学校実習が核となる2年間の学び



過去の修士論文テーマの例

- ▶ 国語の学習に困難がある子どもへの抽象語理解を促す語彙指導の試み—発達モデルを考慮したイラストカードを活用して—
- ▶ 配慮を要する生徒の中学校運動部活動への参加を促す実践に関する検討—基本スキルの習得と目標の設定を柱として—
- ▶ 通級担当教員と通常学級担任との連携を促す支援—連携プロセスの構築を目指して—
- ▶ 特別支援学級担任への保護者連携に関する研修効果—保護者とのコミュニケーション促進を目指して—
- ▶ 教師の“まなびほくし”を促す研修デザインの検討
- ▶ ユニバーサルデザインの視点から考える小学校理科の授業づくり—この規則性を見いだすための実験活動—

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 宇野宏幸 ※1</p>	発達障害の神経心理学、通常学級の授業づくり、地域リーダー論	発達障害研究、特別支援教育リーダーのための創発的コミュニケーション	通常学級の特別支援教育(授業づくり)、学校づくりや地域支援のためのリーダーシップに興味を持っています。
 <p>教授 岡村章司</p>	発達障害臨床心理学、応用行動分析学	学習障害児指導法演習、家族支援心理学	ASDやその家族への支援、およびコンサルテーションやチーム支援に関する研究をしています。
 <p>准教授 石橋由紀子</p>	特別支援教育学	コーディネート概論、コーディネート研究	インクルーシブ教育、特別支援学校のセンター的機能等について興味を持っています。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

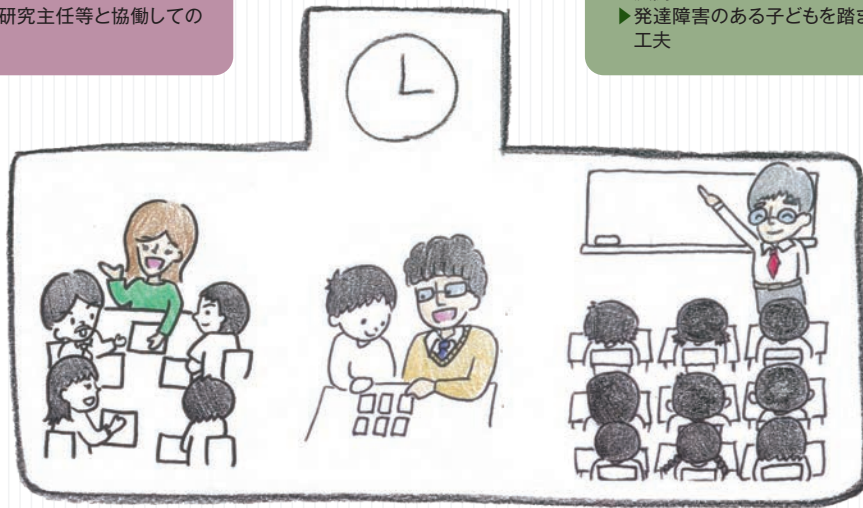
3つの領域で目指す実践力の向上

特別支援教育コーディネーター

- ▶ 特別支援学校のセンター的機能を発揮しての地域支援の充実
- ▶ 校内で、生徒指導や研究主任等と協働しての支援体制構築

「通常の学級」の授業・教科担当者

- ▶ 授業のユニバーサル・デザイン化の効果的な展開
- ▶ 発達障害のある子どもを踏まえた学級経営の工夫



通級指導教室担当者

- ▶ 発達障害のある子どもを対象とした個別的な学習・生活指導の力量アップ
- ▶ 学級担任や保護者との連携を図り、子どもの教育ニーズを的確に把握

Voice

掘って掘って掘り進めてきました

発達障害支援実践コース
2026年3月修了
東田直久さん



私の大学院生活を一言で表すなら、「探究」です。この2年間、自分の知りたこと、極めたいことを問い続け、掘って掘って掘り進めてきました。朝から晩まで研究に没頭できた時間は、かけがえのないzeitungでした。探究の途中では、思うように進まない固い土壌にぶつかることもありましたが。そんな時、支えとなったのが、授業やゼミでの「対話」です。対話によって得た新たな視点は自身の思考をほぐし、探究を前に進める力となりました。

教員や仲間との対話を重ねる中で、自ら問い続ける姿勢そのものが磨かれていったように感じています。大学院で培った探究の姿勢は、今後も学び続ける自分を支える礎になると感じています。

教育現場等に実践力の高い
教職員を送り出す

専門職学位課程（教職大学院）




授与される学位・教職修士（専門職）

ニーズと実践性に根差した
高度な教育研究を推進

教育実践高度化専攻

こんな人を募集します！

学校経営コース  	校長や教頭などの学校経営専門職、指導主事などの教育行政専門職に必要とされる、課題解決力や組織経営力を高めます。	学校管理職、教育行政専門職（候補者含む）
教育方法・生徒指導 マネジメントコース  	児童生徒理解、指導と評価などの視点から、学校のさまざまな教育活動をマネジメントできる教員の養成を目指します。	小学校、中学・高校教員、教員志望者
言語系コース（国語・英語）  	ことばの教育に関わる諸問題について指導法および専門的事項を幅広く探究し、言語文化に関する教育実践力を養成します。	小学校、中学・高校（国語・英語）教員、教員志望者、日本語指導担当教員、日本語教師
社会系コース  	児童生徒の社会認識を深め、現代社会をよりよく生きる知性と勇気を育むことのできる教員の養成を目指します。	小学校、中学（社会）・高校（歴史・公民）教員、教員志望者
理数系コース（数学・理科）  	理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発の習得、研究を通した算数・数学と理科の教育を担う人材を育成します。	小学校、中学・高校（数学・理科）教員、教員志望者
小学校教員養成特別コース （3年制コース  ・2年制コース  ）	小学校教員志望者を対象とし、実践的な指導力と自己の実践を省察・改善できる能力を身に付け、即戦力となる教員を養成します。	小学校教員志望者
グローバル 教育リーダーコース  	多文化理解や国際理解力・協働力を備え、地域と世界をつなぐグローバル教育リーダーとして、持続可能な社会の創り手を育成する教員を養成します。	グローバル教育に関心のある教育関係者および教員志望者
教育政策リーダーコース 	未来を創る子どもたちの教育に加え、新たな地域社会の創出を担う教育行政に携わる教育長等を養成します。	教育長、教育行政の幹部（候補者含む）、学校管理職
授業実践課題探究コース 	今、自身の授業で起きている課題を協働的に解決するプロセスを通して、これまでの教員経験を視座にした省察をサポートしながら教育実践研究の力量を高めます。	教職経験5年以上の、自己の実践研究力を高めたい人

 …昼間クラス  …フレックスクラス（オンラインを積極的に活用して、勤務しながら学ぶことができるクラス（一部の授業等は対面あるいはオンライン同期型で実施））  …神戸キャンパスで履修するコース

※教育政策リーダーコースは、学生の要望等を踏まえた時期・場所で授業を受けることができる「フレックス&プレイスカリキュラム制度」を導入

外国人留学生向けに 国際貢献型カリキュラムを開設

日本語や日本の文化、学校教育を理解することにより、主に母国における教育の向上に貢献することを目指す外国人留学生を募集します。

Point

- ▶ 日本型教育の特徴を学べます！（比較教育学など）
- ▶ 学校体験・基盤実習の授業科目で実際の教育現場に接することで、母国の教育現場との違いを体感できます。

※母国での教職経験がある人は実習の一部を免除できます

対象コース ※昼間クラスのみ対象

教育方法・生徒指導マネジメントコース／言語系コース（国語・英語）／社会系コース／理数系コース（数学・理科）／グローバル教育リーダーコース

学びのプロセス

課題研究(教育実践研究報告書作成)の流れ

1年次	5月～6月	指導教員(ゼミ)を決定
	6月	実践研究テーマを設定(自身が所属するコースで行う実習での検証等を考慮して設定)
	8月～9月	実践研究計画発表会(研究テーマと研究方法のアウトラインの確定)
2年次	2月	中間発表会I
	8月～9月	中間発表会II
	2月	実践研究発表会(実践研究の成果発表)



小学校教員養成特別コース
(3年制)
2026年3月修了
馬場峻晴さん

教員としての基礎を培った 3年間の学びと研究

在籍した3年制コースでは、小学校および中学校教諭免許状を取得するとともに、批判的思考力に着目して、理論だけではなく教育現場に立った際に活用できる研究に取り組みました。

1年次には、教育理論や教育実践力の基盤を身に付けることを目標に取り組むとともに、NIEと批判的思考力に興味を持ち、研究に取り組みました。2年次には、大学院の専門科目の履修に加え、小学生の批判的思考力を育むためのNIEを活用した実践の計画に取り組み、3年次には教育現場において実践に取り組むなど、3年間を通して理論と実践を往還する研究と学びを進めることができました。また、教員免許取得のための教育実習に加え、研究テーマに関連した実地研究もあるなど、教育現場で求められる知識や実践的な指導力を身に付けることができたと感じています。

研究授業や教育実習、教員採用試験が集中する時期においても、指導教員やコース担当教員の配慮と支援により研究と学問に計画的に取り組むことができ、安心して研究を進めることができました。これらの学びと経験を今後の教育実践に生かし、子どもたちの成長を支える教員を目指して学び続けたいと考えています。

馬場さんの3年間の学び

年次	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1年次	コースのオリエンテーション	指導教員の決定 実地教育I	情報収集(文献・調査)	実地教育II	研究課題の選定・立案			情報収集(文献・調査)					
2年次	文献の分類・整理		研究テーマの実践に向けた計画立案・授業検討			実地教育III		実地研究I	実地研究II	実地研究リフレクションセミナー			研究テーマの焦点化
3年次	実践に向けた計画立案・授業検討		実地教育IV	中間発表会に向けた準備	中間発表会	学会参加	研究結果の分析・考察	教育現場での研究テーマの実践・検証	実践報告書作成		報告書の修正・最終提出		

修了に必要な単位

	学校経営コース	小学校教員養成特別コース		教育政策リーダーコース	授業実践課題探究コース	左記以外のコース
		3年制コース	2年制コース ()は小学校2種免許状所有者			
共通基礎科目・専門科目	34単位以上	26単位以上	24単位以上	36単位以上	36単位以上 ※5	28単位以上
実習科目	10単位 ※2	12単位	14単位	10単位 ※2	10単位 ※2	10単位 ※2
学部教職課程	—	67単位 ※3	(22単位)	—	—	—
合計単位数	44単位	38単位+67単位	38単位 (38単位+22単位)	46単位	46単位	38単位
最低修得単位数 ※1	46単位	46単位+67単位 ※4	46単位 (46単位+22単位)	46単位	46単位	46単位

※1…合計単位数38単位(学校経営コースは44単位)と最低修得単位数46単位との差8単位(学校経営コースは2単位)は、共通基礎科目、専門科目(自身が所属するコース以外で開設する専門科目を含む)および実習科目のうちから修得するものとします(教育政策リーダーコースおよび授業実践課題探究コースは除きます)

※2…実務経験等に応じ、実習科目の全部または一部が免除される場合があります

※3…幼・中・高1種免許状所有者は51単位

※4…幼・中・高1種免許状所有者は46単位+51単位

※5…修士課程各専攻・コースで開講する授業科目を修得した場合は、10単位まで修了に必要な単位数に含めることができます

学生の時間割を公開！



教育方法・生徒指導
マネジメントコース2年
／公立中学校教諭

藤本貴大さん

現場と学びの往還

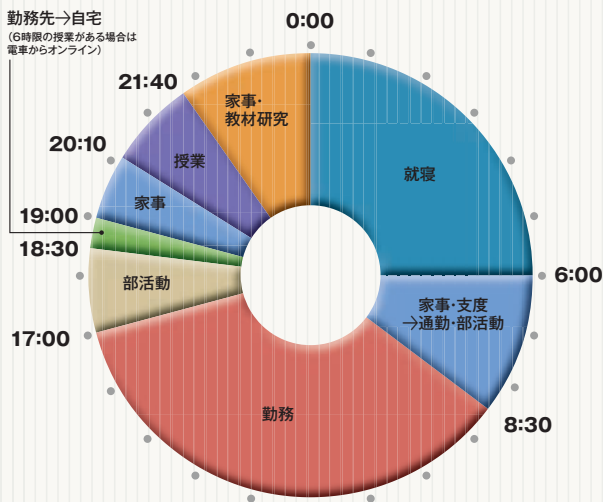
大学卒業後すぐ現場に立ち、理論を持たぬまま実践を重ねてきました。うまくいった理由も、つまづいた原因も、経験だけでは言語化できませんでした。働きながら大学院で学ぶ今、実践を理論で捉え直す視点が得られます。日々の出来事を持ち込み、文献と対話で言語化し、現場で試す。この往還が、自己流になりがちな実践を再現可能な知へと近づけてくれます。私は長期履修制度を利用し、履修を詰めずに計画的に学んでいます。指導や部活が忙しくても負担を調整でき、仕事との両立が現実的です。加えて、先生方が現職教員学生の事情に深く理解を示し、柔軟に支えてくださいます。その環境が身体面・精神面の余裕を生み、学びを継続できています。今後も学びを現場に還元していきます。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6				
	7	教育方法・生徒指導マネジメント演習I	学習指導と授業デザイン	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	
後期	6			初等理科教材研究・授業づくり	
	7	教育実践の省察と分析	教育相談の理論と技能開発		授業研究の理論と実践

集中講義：小中連携教育論、教育課程における各教科の特性と課題、STEAM教育とICT活用 ほか

授業がある日の1日



言語系教科マネジメントコース
(英語)2026年3月修了
／公立中学校教諭

押見朋樹さん

※2027年度から、コース名が言語系コース(国語・英語)に変更となります

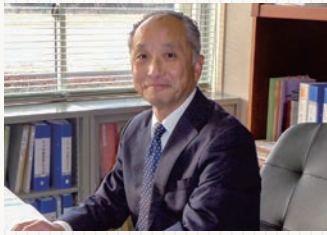
学びたいことに挑戦できた2年間

この2年間は修了後教壇に立つことを見据えて、多くの経験と学びを得たいと考えていました。そこで、1年次はできるだけ多くの授業を履修し、修了と免許取得に必要な講義のほとんどを受講しました。おかげで2年次の時間割はかなり余裕ができたため、その時間を活用して2カ月間の海外留学を経験できました。また、実習や研究に集中する時間も十分に取れました。履修科目については、専攻科目である英語の知見を広げるため、所属コース以外の選択科目の講義も積極的に履修しました。特に、グローバル化推進教育リーダーコースと国語の授業が印象に残っており、国際理解教育の実践や母語を学ぶことで英語を多面的に理解することができました。

1年次の授業スケジュール(2024年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	特色のあるカリキュラムづくりの理論と実際		学校における道徳教育の実践研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	
	2	教員のための学校組織マネジメントの実践演習		包括的児童生徒支援に関する事例研究		
	3	第二言語習得と外国語学習		授業におけるICT活用	言語の仕組みと言語教育	
	4	小学校英語科授業の研究	英語科授業と言語表現2(音声言語の仕組みと英文法)		国際理解教育I(基礎)	
	5		世界の教育			言語系教科教育実践研究
後期	1	学校における特別支援教育への対応と方法	授業における評価の基準作成理論と学力評価法			
	2			英語科授業と言語表現I(文学作品における英語表現と多様な文化)	英語科授業の実践研究	
	3			社会心理学に基づく学級経営の実践開発		
	4					
	5					言語系教科教育実践研究

集中講義：学校教育基盤実習



社会系教科マネジメントコース
2年
／公立小学校校長
松村 淳さん

※2027年度から、コース名が社会系コースに変更となります

双方向に生かせるよさ

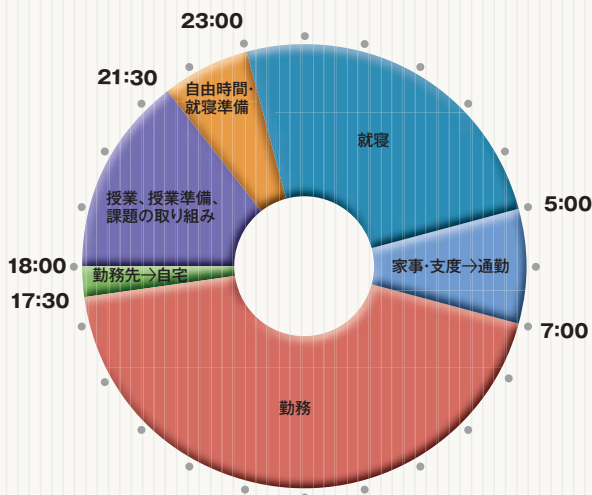
昼間は小学校の校長、夜は長期履修制度を活用した大学院生として過ごしています。これまで、学会等でも発表してきましたが、諸理論が整理されないまま、また、意味付けが不明瞭なまま研究を行ってきたと感じていました。そこで、諸理論をきちんと学び、研究の質をより一層高め、幅を広げるために本コースに入学しました。長期履修制度を利用することで、自分のペースで学ぶことができ、仕事との両立も可能となっています。素晴らしい先生方や仲間との出会いがあり、入学して本当によかったと感じています。学校の業務をしながら授業を受けることは、双方向でいい影響があります。授業内容は日常業務に照らして考えることができ、逆に、学校業務は授業で習ったことを、即、実践に移すことができるというよさを、日々感じています。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	授業における評価の基準作成理論と学力評価法	社会系教科の授業デザインの理論と方法(2)		
	7	社会系教科教育実践研究	社会系教科の授業デザインの理論と方法(1)	包括的児童生徒支援に関する事例研究	
後期	6			初等社会科教材研究・授業づくり	
	7	社会系教科教育実践研究	教員のための人権教育の理論と方法		

集中講義：小中連携教育、特色あるカリキュラムづくりの理論と実際、社会系教科の授業デザインの理論と方法(1) ほか

授業がある日の1日



理数系教科マネジメントコース
(数学)2年
／公立中学校教諭
宮本智子さん

※2027年度から、コース名が理数系コース(数学・理科)に変更となります

現場の課題から始まった私の探究と幅広い科目履修

新任時代から関数分野の理解に困難を抱える生徒への指導法に課題を感じ、その解決策を探究するために入学しました。専門科目では、複数校種にまたがる算数・数学の理論や実践を学び、得られた知見は自身の教科教育実践研究に大きく生かされています。小学校教員免許を有し、研究テーマに小中接続を含むため、特別支援教育やカリキュラムマネジメントの授業も履修しました。学級経営や生徒指導の授業では、他コースの学生との情報交換を通じて多様な視点を得ることができ、刺激的な学びとなりました。1年次に修了に必要な単位を可能な限り取得したため、2年次は実習とスキルアップを目的とした授業に力を注ぎ、より実践的な研究を進めています。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	初等算数科教材研究・授業づくり				
	2	特色あるカリキュラムづくりの理論と実際	数学的リテラシーと算数・数学的活動	包括的児童生徒支援に関する事例研究	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	
	3	算数・数学科の授業づくりと評価			STEAM教育とICT活用	
	4				中等数学科教材研究	理数系教科教育実践研究
	5					
後期	1				教員のための学校組織マネジメントの実践演習	
	2				「図形」領域の探究的学習教材	
	3	算数・数学科教育の理論と実践	数学教材の背景と応用		円滑な学級経営のための力量形成	理数系教科教育実践研究
	4		「数と式」領域の探究的学習教材			
	5					

集中講義：小中連携教育論、インクルーシブ教育論

学生の時間割を公開！



小学校教員養成特別コース
(3年制)
2026年3月修了
久常早紀さん

一歩踏み出して、夢抱く教員へ

小中連携プログラムを履修していたため、1年次から小学校教諭と中学校教諭の免許状を取得すべく、学部の授業も含め、たくさんの授業を履修していました。時間割を組む際には、教員採用試験を見越して集中講義を計画的に履修することをお勧めします。また、2年次には大学院の専門科目の履修が増え、後期には2度の実習を控えていました。特に、10週間の長期実習では不安もありましたが、毎週金曜に大学院でのリフレクションがあるため、修学指導教員のサポートを受けながら実習に取り組むことができました。3年間を通して、たくさんの人に支えられ、教員として、人として成長することができるという点が、本コースの魅力だと考えています。

2年次の授業スケジュール(2024年度)

時限	月	火	水	木	金	
前期	1	教育相談論			障害のある児童への指導と支援方法	実践サポート
	2	学級づくりと教育的関係の構築	授業における実践的評価論	特別活動指導と自治的文化的活動の展開	初等図画工作科教育法	実践サポート
	3			教育課程論		
	4	初等算数科教育法			教科の授業づくりと授業分析・評価	
	5					
後期	1					
	2	10月 小学校実習 (4週間)				
	3					実地研究リフレクションセミナー
	4	11月～2月 実地研究I・II (10週間)				
	5					

集中講義：初等実習リフレクション、教職実践演習



グローバル化推進教育
リーダーコース2年
/ 公立小学校講師
松野亜希さん

※2027年度から、コース名がグローバル教育リーダーコースに変更となります

学びと出会いで世界が広がる

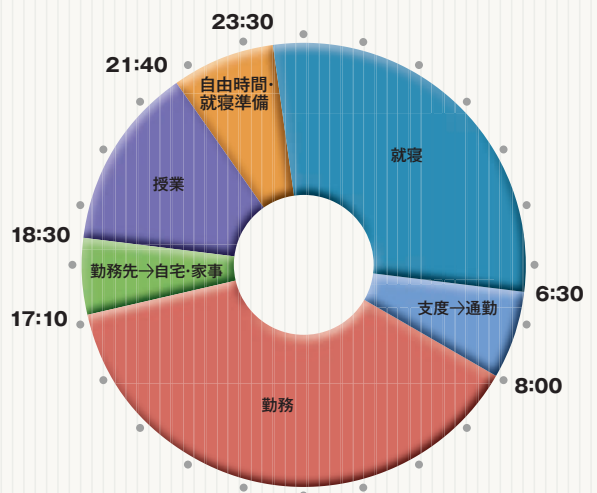
大学卒業後、一般企業を経て公立小学校に勤務してきましたが、心の片隅には常に大学院進学への思いがありました。家族の協力を得て、関心を持ち続けてきた国際理解教育やESD(持続可能な開発のための教育)を学べる本学に入学しました。当初は仕事や子育てとの両立に不安があったものの、オンデマンド型授業が充実しており、休日を活用しながら無理なく学びを深めています。指導教員からは、夜間のオンラインに加え、休日には加東や神戸のキャンパスで対面による助言を受けることもでき、落ち着いて研究に取り組んでいます。他校種の先生方との対話も貴重で、新たな学びと出会いに恵まれた大学院生活をこれからも大切にしたいと思っています。

1年次の授業スケジュール(2025年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	授業における評価の基準作成理論と学力評価法	国際理解教育I(基礎)		
	7	グローバル教育実践報告と研究手法	児童生徒を活かす学級経営の実践演習	包括的児童生徒支援に関する事例研究	
後期	6			初等理科教材研究・授業づくり	
	7	教育実践の省察と分析	国際理解教育II(応用と実践)	教員のための人権教育の理論と方法	

集中講義：グローバル・フィールドワークII(国内)、国際情報分析(探究演習)、初等音楽科教材研究・授業づくり、授業におけるICT活用(ほか)

授業がある日の1日





授業実践課題探究コース3年
／公立小学校教頭(管内総括
授業改革推進リーダー)

影山知美さん

日々自分自身を問うために

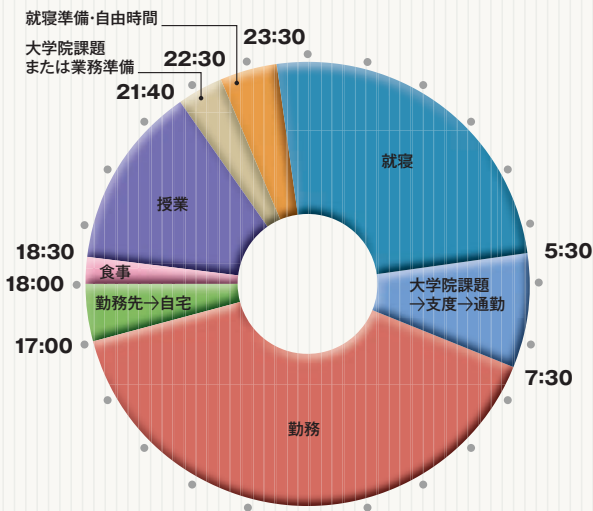
業務を遂行する上で最新の学びを得る、自身の長年の課題を追究する、の2点が私の入学理由です。そのため、1年目は多岐にわたる授業を十分に取り、学びを実践に生かすことや、研究の基盤となる理論を蓄積することとしました。少し早く出勤し定時で帰宅する、オンデマンドの授業も履修する、授業のない曜日を設定して学びの整理や課題を行うなどの工夫をしました。土日は、書物や論文を読んでレポートを作成するようにしました。長期履修の利点を生かし、2年目後半からは研究を中心とし、授業の履修を減らしてゼミや論文の時間を十分に取りました。多忙な毎日ですが、日々の実践に「問い」を持ち続けられることは大学院で学ぶことの醍醐味です。

1年次の授業スケジュール(2023年度)

時限	月	火	水	木	金
前期	6	子どもの生活と教育		学級づくりと教育的関係の構築	教員のための学校組織マネジメントの実践演習
	7			包括的児童生徒支援に関する事例研究	
後期	6	教育課程における各教科の特性と課題		初等生活科教材研究・授業づくり	
	7	実践的な指導方法に関する理論と実際		教員のための人権教育の理論と方法	

集中講義：授業におけるICT活用、教師－子ども関係の思想、総合的な学習と特別活動のデザイン ほか

授業がある日の1日



Point1 質の高い実践的な実習

専門職学位課程(教職大学院)では、教員としての実践的指導力の強化を図るため、長期にわたり、学校等における実習(実地研究)を行います。教員免許状を取得するための実習とは異なり、実習校が取り組んでいる教育課題や研究内容と、実習生の研究テーマとの整合性等を取りながらマッチングを行い、双方にメリットのある研究活動を推進しています。

現職教員の学生は原則として現任教員、現職教員以外の学生は兵庫県内の連携協力校^{*}が実習校となります。

^{*}兵庫県内の250を超える公立小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、幼稚園、適応指導教室等が、連携協力校として本学と協定を結んでいます



Point2 充実した支援体制

教育実習総合センターでは、教職大学院の実習を円滑に進めるための支援を行っています。

センターには、県・市・町教育委員会や公立の学校長等を経験し、教員の育成に豊かな経験と実績を持つスタッフを配置しており、学校等における実習に関するさまざまなことや、学校現場の様子などについて気軽に相談することができます。

また、ストレート院生に対し、教員としての高度な実践的指導力を身に付けてもらうことを狙いとして、「教育実践サポート」および「教育実践個別サポート」を開設し、修学を強力に支援しています。



学校経営コース



コースウェブサイト

学校づくりをリードする高度な実践力の修得を目指す

学 校経営コースでは、社会の期待や要求に応えながら、自律的な学校づくりをリードする校長や副校長・教頭などの学校経営専門職、学校を支援する指導主事などの教育行政専門職を養成します。

入学募集の対象としては、国立・公立・私立にかかわらず、全ての校種から応募が可能です。現に校長、副校長・教頭等の学校管理職にある者のみならず、その候補者・希望者たる教諭、主幹教諭等に加えて、教育委員会の指導主事等や学校事務職員を含めて、幅広い職層を歓迎します。

本コースでは、今後の学校づくりに必要とされる課題解決力や組織経営力を高めるカリキュラムを用意し、対面とオンラインの併用（ハイブリッド方式）による講義等を実施します。

昼間クラスでは、対面授業が中心となり、通常の講義等に加えて、インターンシップやフィールドワーク等を通じた多様で深い学びの機会を提供します。

フレックスクラスでは、オンライン授業を中心に、柔軟な学びのスタイルに対応する仕組みを導入することで、全国どこにいても勤務しながら学ぶことができます。

専門科目の授業の一部は、神戸キャンパス等において、昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施しますが、その際は対面かオンラインの選択が可能です。

大学院修了後は、学校管理職や教育委員会の幹部として

活躍するパターンが大多数である一方で、近年は博士課程に進学する例も増加しています。いずれのキャリアパスを歩むにせよ、在学中のさまざまな出会いと交流に加え、全国各地に広がる同窓会の活動を通じた修了生ネットワークも大きな財産となります。

昼間クラス 2年	フレックスクラス 2年または3年
共通基礎科目 オンライン授業	共通基礎科目 オンライン授業
専門科目 対面授業中心	専門科目 オンライン授業中心
専門科目 授業の2割程度を昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
課題研究 昼間クラスとフレックスクラスの合同で実施 対面授業（神戸キャンパス）またはオンライン授業（同時双方向）	
インターンシップ（実習） 学校または教育委員会	インターンシップ（実習） 申請により免除

*昼間クラスには、フィールドワーク等の多様な学びの機会を提供

Voice

Off-the-Job T



学校経営コース（昼間）2年

永岡健二郎さん

約20年にわたり歩み続けてきた現場から一度距離を置き、学校を、そして社会との関係や歴史を俯瞰的に捉える中で顕在化する課題を見つめ直す機会を得ています。フィールドワークや先進校視察などの交流からの学び、教員からの示唆、昼間クラスやフレックスクラス、さらには他コースの大学院生との意見交換の中でインスパイアされ、理論と実践を往還させながら学校経営の基礎を学び、組織的改善へと結び付ける視点を養っています。

働किながら学ぶ フレックスという選択



学校経営コース（フレックス）2年

市川義文さん

現場で忙しい日々を送りながらも、自分自身の学びを深めたいという思いを持ち続けていました。仕事をしながら学ぶことを半ば諦めていた私に、その可能性を示してくれたのがフレックスクラスです。遠隔地で働く自分にできるのかと不安もありましたが、大学院での学びは翌日から現場の実践に生かせるものばかりで、新鮮かつ刺激的でした。全国の同じ志を持つ先生方と共に学ぶ中で、自分の世界が大きく広がります。

担当教員	研究分野	担当専門科目	メッセージ
 教授 川上泰彦	教育政策、 教育行政学、 教育経営学	学校・教育委員会の経営と財務、 学校・教育委員会のEBPM と評価	国・地方レベルにおける教育行政システムの変化が学校の諸活動や経営に与える影響に関心があります。
 教授 當山清実	教師教育、 教育経営	学校経営・教育行政実践課題研究、 学校経営・教育行政専門職インターンシップ	教員の職能開発を促進する現職研修と学校危機管理の在り方を中心とした研究を進めています。
 教授 神内 聡	教育法、 教育制度、 社会科教育	教育法規の理論と実践演習、 学校危機管理の理論と実践演習	教員と弁護士との双方の視点から、 教育法、教育制度、社会科教育などを研究しています。
 准教授 安藤福光	カリキュラム・マネジメント、 小中一貫教育、 中高一貫教育	特色あるカリキュラム開発の理論と 実際、カリキュラム・マネジメントと 学校のオープン・イノベーション	カリキュラム研究、特に小中一貫カリキュラムや 中高一貫カリキュラムの研究、高等学校の カリキュラム・マネジメントの研究に取り組んでいます。
 准教授 三浦智子	教育経営学、 教育行政学	学校マネジメントによる組織活性化	学校経営や自治体・国の教育政策が地域の多様なニーズに 応答するプロセスや仕組みを研究しています。

 客員教授 浅野良一	 客員教授 中井啓之	 客員教授 嶋 公治	 客員教授 松村高志	 客員教授 宮本美枝子
---	---	---	--	--

過去の改善プラン(教育実践研究報告書)テーマの例

学
校

- 【小学校】▶少数指導加配教員の機能性に影響を与える要素—学力向上推進リーダーへの質問紙調査から—
▶小中合同の学校運営協議会で創る学校—コミュニティ・スクールの仕組みの活用—
▶地域住民・保護者と「つながる」カリキュラムマネジメントの創造
- 【中学校】▶一貫教育を推進するスクールミッションの再構築と学校組織再編—義務教育学校の開校プランの提示—
▶プロセスマネジメントをベースとした開発的改善—生徒・教員の主体性を伸ばす組織改善—
▶中高一貫教育における中学校から高等学校への接続に関する考察—社会に開かれた教育課程の実現をめざして—
- 【高等学校】▶機能する学校組織の在り方についての考察—主幹教諭・ミドルリーダーの役割を中心に—
▶「学習する組織」としての高等学校の授業改善—コミュニティ・スクールの仕組みを活用して—
▶探究的な学習によるグローバルリーダーの育成—カリキュラム・デザインと組織力向上によるアプローチ—
▶予測困難な未来を切り拓くビジネス教育の革新—地域産業をリードする人材の育成—
- 【特別支援学校】▶児童生徒の自立と社会参加を目指す学校づくり—カリキュラム・マネジメントによるデザイン—
▶地域とともに共生社会を実現する学校—児童生徒が卒業後に自分らしく生きるために—
▶障害のある子ども達の自立と社会参加をめざす学校づくり—地域資源を活用した教育活動の展開—

教育委員会

- ▶教育資源を最大限に活用した教育行政の在り方—新しい時代の学びを支える「A市版スクール・コミュニティ」の可能性を探る—
- ▶「地域とともにある学校づくり」の推進に向けた教育施策の立案—B県型地域連携教育の取組の充実を通して—
- ▶小・中学校における効果的な人材育成の取組に資する教育委員会事務局の支援策—若手教員の育成を中心に—
- ▶教育委員会の学校コンサルティング機能の強化と学校支援の仕組みの構築—C市学校教育活性化のための評価連動モデル—
- ▶施設隣接・分離型小中一貫教育の推進における教育行政の支援—持続可能な支援体制の構築を目指して—

教育方法・生徒指導マネジメントコース



コースウェブサイト

神戸キャンパスで学びのコンセプトをさらに進化

カリキュラムの3本の柱で学ぶ「学校現場のマネジメント力」

1. 一人一人に最適化された学び

「教師個人マネジメント力」を養う演習、「校内組織マネジメント力」を高める演習を開設しています。現職院生、ストレート院生のいずれもが、各自の大学院進学の目的に応じた力量形成が可能です。

2. 研究力、実践力を高める学び

データ分析などの研究法に関する授業で、教育活動の効

果性を科学的に検証する力を獲得できます。また実習科目では、研究力に支えられたマネジメント力を現場で実践し、さらに向上させることができます。

3. 問題解決を支える専門性を身に付ける学び

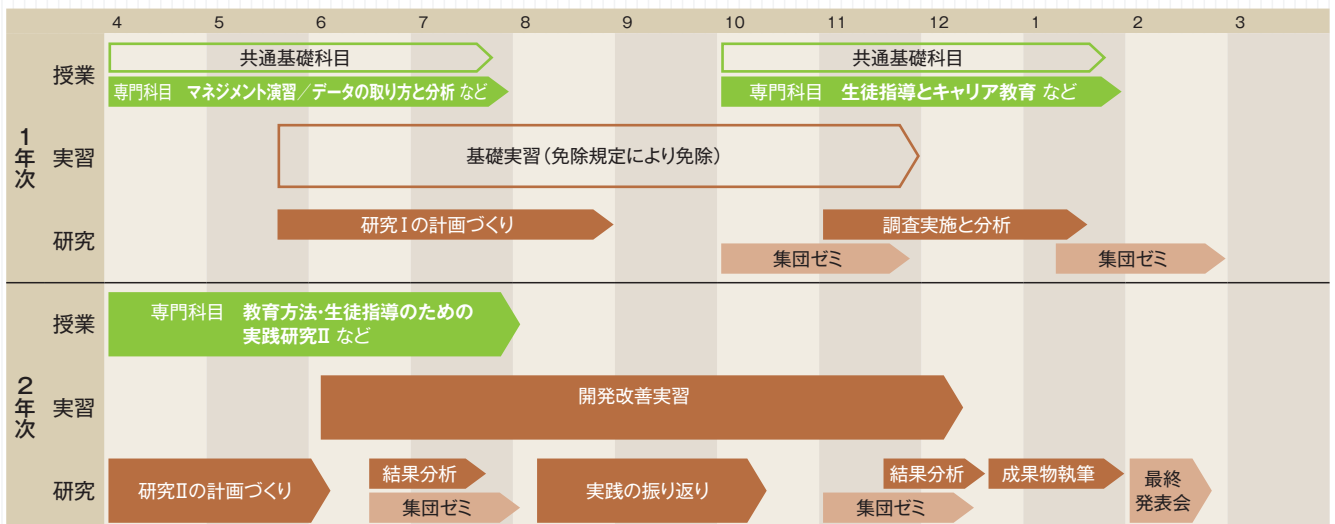
多彩な専門科目から自らの目的や問題意識に応じて選択できます。また、心理学、教育方法学、教師教育学などのアカデミックな学問とリンクさせて学修できます。

さらに進化した「新カリキュラム」始動

	教育方法	生徒指導	研究と研究法
専門科目	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学習者中心の授業デザイン ▶ 学習観を問い直す授業研究の理論 ▶ 学習観を問い直す授業研究の実践 ▶ 学校カリキュラムのデザインと評価 ▶ 校内研修のデザインと実際 ▶ 総合的な学習の時間(探究)の理論と実践 ▶ 地域と連携した教育プログラムの開発 ▶ STEAM教育の単元開発 ▶ 生成AI・デジタルファブリケーション活用の実践演習 ▶ メンタリングによる若手支援の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 生徒指導とキャリア教育 ▶ 教育相談の理論と技能開発 ▶ 社会心理学に基づく学級経営の実践開発 ▶ 教員の学びと協働を支える組織のデザイン ▶ 道徳教育の理論と授業への応用 ▶ 道徳授業の実際と発展 ▶ 特別活動のデザインと実践 ▶ インクルーシブ教育の諸側面と理論 ▶ インクルーシブ教育の実践的展開 ▶ 安全教育の理論と実践 ▶ 多様性と防災教育の実際 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 学校におけるデータの取り方と分析 ▶ 学校における質的研究のデザインと方法 ▶ 教育方法・生徒指導のための実践研究I ▶ 教育方法・生徒指導のための実践研究II ▶ マネジメント演習 ▶ 実習リフレクション演習I(学部卒院生対象) ▶ 実習リフレクション演習II(全院生対象)

2年間の学びの例

キャリア教育についての教員研修を学びたい現職院生



担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 竹西亜古 ※2	社会心理学、 リスク心理学、 心理学調査法	社会心理学に基づく学級経営 の実践開発、学校における データの取り方と分析	データに基づく科学的な教育実践や研究を目指しませんか。どのような教育分野にも応用できますよ。
 教授 山中一英	教育心理学、 社会心理学、 教師教育学	教員の学びと協働を支える組 織のデザイン	「他者とのかかわる」と「学ぶ」こと。私たちを支えるこの2つの営みの繋がりをめぐって研究しています。
 准教授 伊藤博之 ※2	教育方法学、 教育課程論、 教育方法論史	校内研修のデザインと実際、 学習観を問い直す授業研究の 理論	自律的・協働的な学びとはどのようなものであり、それをどのように組織し運営するか、共に追究しましょう。
 准教授 今川美幸	道徳教育、 人権教育	道徳教育の理論と授業への応 用、道徳授業の実際と発展	教育実践や教育行政の経験を踏まえて、これからの道徳教育や人権教育の在り方について検討していきたいと考えています。
 准教授 隈元みちる	臨床心理学、 教育相談、 発達相談	教育相談の理論と技能開発、 学校における質的研究のデザ インと方法	臨床心理学の立場から、それぞれが生きやすい在り方や環境を探っていきたいと考えています。
 准教授 宮田佳緒里	教育心理学、 学習心理学	学習観を問い直す授業研究の 理論、メンタリングによる若手 支援の実際	児童生徒が概念を理解し、思考できるまでの認知過程について、教育心理学の立場から研究しています。
 准教授 森本哲介	教育心理学、 臨床心理学、 ポジティブ心理学	生徒指導とキャリア教育	個人の強みをどのように自己形成、キャリア形成に生かすかということを研究しています。
 准教授 徳島祐彌	教育方法学、 カリキュラム論、 教育評価論	学校カリキュラムのデザイン と評価、学習観を問い直す授 業研究の実際	身体と教育を中心に、カリキュラム論、教育評価論、授業論について研究しています。
 准教授 黒田昌克	プログラミング教育、 STEAM教育	STEAM教育の単元開発、 生成AI・デジタルファブリケー ション活用の実践演習	小学校教員の経験を生かして、学校現場に寄り添った実践的な研究や指導を大切にしています。
 准教授 松田 充	教育方法学、 教授学、 授業研究	学習者中心の授業デザイン、 学習観を問い直す授業研究の 実践	難しい社会の中で、「よい授業」をつくり出すための理論と方法を追究していきたいと思い、研究に取り組んでいます。
 助教 山本 理	社会教育学、 探究論、 地域博物館論	総合的な学習の時間（探究） の理論と実践、地域と連携し た教育プログラムの開発	学校と地域をつなぐハブとしての社会教育施設の在り方や、そこに総合的な学習の時間をどう組み込むかについて研究しています。
 特任教授 谷田増幸	道徳教育、 公民科教育	道徳教育の理論と授業への応 用、道徳授業の実際と発展	道徳科や公民科「倫理」を中心に、人間としての在り方や生き方に関する教育について取り組んでいます。
 教授 宇野宏幸 ※1	発達障害の神経心理学、 通常学級の授業づくり、 地域リーダー論	発達障害研究、 特別支援教育リーダーのための 創発的コミュニケーション	通常学級の特別支援教育（授業づくり）、学校づくりや地域支援のためのリーダーシップに興味を持っています。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

Voice

自分次第でどんな道も切り拓けるコース



教育方法・生徒指導マネジメントコース2年
橋本恋花さん

印象深いのは、「学習指導と授業デザイン」という講義です。模擬授業の検討会を通して、自分が教員として何を大切にしているのかを知ることができました。院生同士の仲も良く、経験や自分の感じたことを共有すると議論が生まれ、学びが深まるのも、校種や専門分野がそれぞれの本コースならではのです。この1年で理論と実践が結びついて言語化できることが増えたように感じます。自分次第でどんな教員像にも近づけるコースです。

立ち止まり、問い直す



教育方法・生徒指導マネジメントコース2年
中井悠太さん

現場での実践を重ねる中で、「良い教育とは何か」「実践の効果をどう明らかにするか」という問いを抱くようになりました。大学院では心理学を基盤に、教育の効果性や子どもの理解を深めることに努めています。また、本コースは理論と実践の往還を念頭に置き、自らの実践を振り返ることで、新たな可能性を発見したり、多様な仲間と議論することを通じて研鑽を積み、より良い教育について探究できたりする場です。

言語系コース(国語・英語)



コースウェブサイト

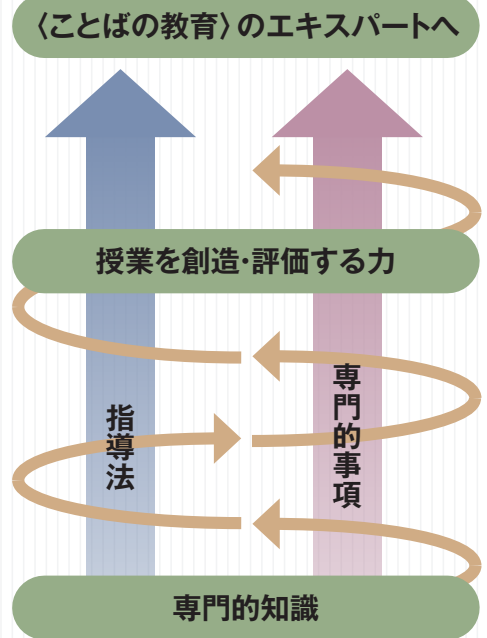
国語教育・英語教育のエキスパートを育てる

専 門的知識に裏付けられた授業を創造・評価する力を持ち、小学校・中学校・高等学校における言語教育の実践に関わる高度な専門的力を身に付けた教員の育成を目指します。そのことを達成するため、〈ことばの教育〉に関わる諸問題について、指導法(カリキュラム・シラバス、生徒の資質・能力を高める指導、授業づくり、学習評価、言語習得など)および専門的事項(言語表現、文学表現、言語構造、言語文化、言語教育、コミュニケーション、異文化理解など)を幅広く探究できるカリキュラムを編成しています。

実習では、現職教員については、学校教育の抱える諸問題の調査・分析を行い、研究課題を絞り込むとともに、課題解決のための目標を設定します。

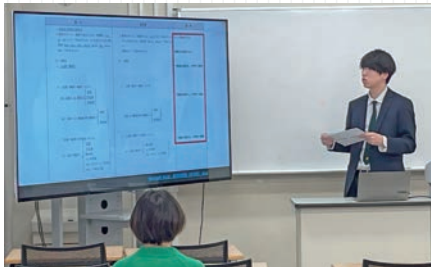
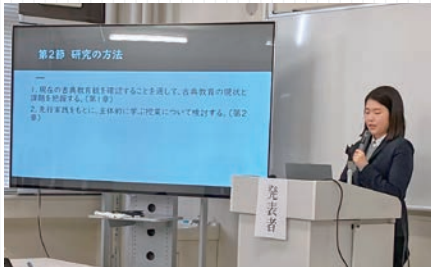
ストレート学生については、教科指導を中心とした学校教育全般にわたる実習を通して、大学院実習に必要な基本的な知識・技能等を習得し、教員としての素養を養います。

自らの教科教育の理論を構築し、研究内容と関連付けた実習を通してその有効性を検証することにより、教員としての総合的な力を高めます。



兵庫教育大学言語表現学会での研究発表風景

言語表現学会は、コース内に事務局を置く、開かれた学術組織です。



教育プログラム

大学院在学中に海外の大学に留学できる!

2027年度新たに開設!

▶ 言語系コース海外留学プログラム p.9を参照

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 小学校低学年における批判的読みを取り入れた説明的文章の指導に関する研究
- ▶ 外国語活動における音あそびとシンセティック・フォニックス指導の実践
- ▶ 中学3年生を対象としたKahoot!を用いた英語の語彙・表現の学習効果
- ▶ 日本語学習者のためのICTを活用した協働学習効果の考察—Google Classroom導入の教育効果—
- ▶ 主体的な学びを生み出す授業実践の考察—『伊勢物語』『芥川』『源氏物語』『小柴垣のもと』を中心として—
- ▶ 英文学作品を使用した高校2年生英語コミュニケーションⅡの指導実践

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
国語	 教授 菅井三実	理論言語学、 日本語学、 言語教育	言語の仕組みと言語教育、 言語系教科教育実践研究	日本語がどのような言語で、人はそれをどのように習得し運用するかについて知見を提供したいと思います。
	 教授 白井伊津子	日本古典文学	国語科授業と文学表現、 初等国語科教材研究・授業づくり	いにしえ人が培った知や豊かな情感を未来に伝えるべく、古典文学作品に息づくことばの意味と表現の方法を丹念に掘り起こしていきましょう。
	 教授 羽田 潤	国語科教育、 メディア・リテラシー、 サブ・カルチャー	国語科授業実践研究、 授業におけるICT活用	多様なメディアを活用した国語科授業の開発を目的に、映画、マンガ、写真、広告の分析に取り組んでいます。
	 准教授 竹口智之	日本語教育学	外国人児童生徒の指導と多文化共生教育	日本人とは異なった方法で日本語を学んでいこうとする生徒・学生がいます。その過程を学んでいきましょう。
	 助教 大内 純	日本近現代文学	国語科授業と言語文化、 初等国語科教材研究・授業づくり	作品がどのような方法・問題意識に基づいて成立しているのかについて、共に読んで考え、解き明かしていきましょう。
英語	 教授 中村浩一郎	理論言語学、 比較統語論、 英語学	英語科授業と言語表現2、 言語系教科教育実践研究	英語学／理論言語学研究で蓄積された英語に関する知見を共有し、英語教育の現場で役立つ知識を習得することを目指します。
	 教授 吉田達弘	英語教育学、 社会文化理論に基づく英語授業研究・英語教師教育研究	小学校英語科授業の研究、 教育課程の制度的特質と課題 初等英語教材研究・授業づくり	理論のレンズを通して小中高の英語授業を分析し、授業におけるコミュニケーションについて考えていきます。
	 准教授 近藤暁子	外国語教育、 英語教育学、 応用言語学(第二言語習得)	英語科授業の実践研究、 初等英語教材研究・授業づくり	外国語学習における個人差要因と、映像メディアを使用した外国語の指導についての研究に取り組んでいます。
	 准教授 多田ウエンディ	第二言語習得、 英語教育、 英語教師教育	英語科授業と言語表現1(文学作品における英語表現と多様な文化)、 言語系教科教育実践研究	将来、学校教育の場で必要になる英語のスキルと知識を英語で身に付けることを目的とした授業です。
	 准教授 鳴海智之	英語教育学、 心理言語学、 第二言語習得	第二言語習得と外国語学習、 初等英語教材研究・授業づくり	心理言語学的アプローチにより、学習者の英文理解時の処理プロセスと、その自動化の過程を研究しています。

Voice

たくさんの出会いと自らの対話



言語系教科マネジメントコース(国語)
2026年3月修了
伊藤雅人さん

※2027年度から、コース名が言語系コース(国語・英語)に変更となります

ストレート院生、現職教員学生、そして多種多様な優しい先生方、校種も経歴も年齢も違うさまざまな方と学ぶことのできる環境は、私にとってたくさんの刺激になり、学ぶだけではなく、自らのこと、これからのことを考えるととてもいい時間になりました。ここで過ごした2年間は、私のこれからの教員生活の大きな原動力になっていくと思います。忙しい現場に戻っても、広い視野を持って未来の教育を考えていきます。

フィンランドで学ぶ



言語系教科マネジメントコース(英語)
2026年3月修了
レイモンド恵子さん

私の2年間の大学院生活を象徴するキーワードは「留学」です。半年間、フィンランドのユヴァスキュラ大学で学ぶ機会をいただきました。世界中から集まる若者たちと一緒に課題に取り組み、対話を重ねた時間や、地元の小学校で授業をした時の子どもたちの笑顔や声。美しい自然と緩やかな時間に包まれたフィンランド生活を家族全員で体験できたこと。これら全てが私にとって何にも代えることのできない大切な思い出になりました。

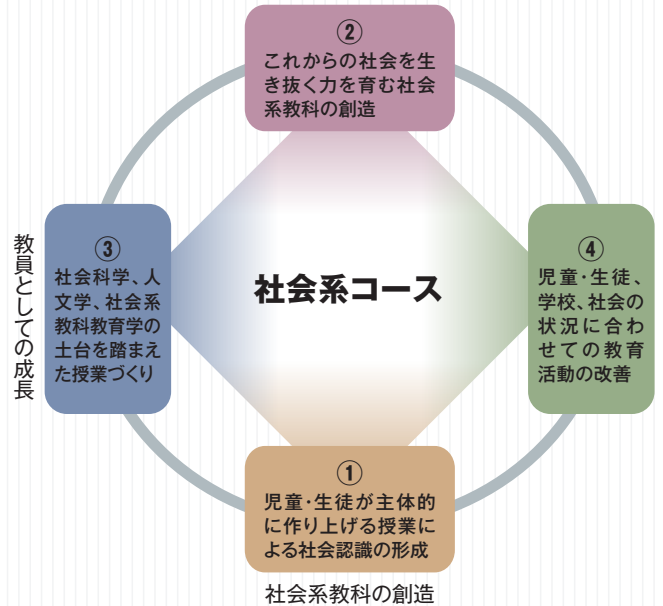
社会系コース



コースウェブサイト

これからの社会を「生き抜く力」を育成する教育の創造

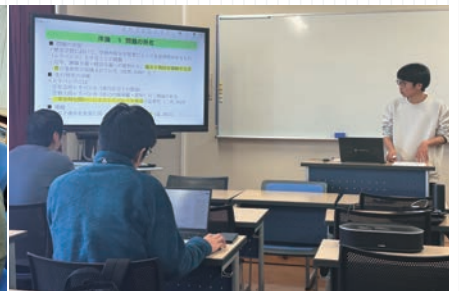
社 会系教科には多様化・流動化している現代社会を「生き抜く力」を育成することが求められています。この目標を実現するために、まず①児童・生徒が主体的に授業を作り上げていく中で社会認識を育むという社会系教科の特徴を生かしながらも、②そのつどの状況に応じて主体的に社会参画できる力を育成するため、新しい社会系教科を創造していかなければなりません。これと並んで、③教員自身が社会科学、人文学、社会系教科教育学の土台を踏まえた授業づくりに習熟するだけでなく、④児童・生徒、学校、地域の状況に合わせて教育活動を改善することができる能力を身に付けなければなりません。社会系コースは、このように他者と協調しながら自己成長を行うことのできる教員の養成を行うことを目標とします。



「現代社会の課題とその教材化」の授業中の作業風景



院生たちの自主的な学習・議論の風景



最終成果発表会

嬉野会

本コースには、同窓会組織である嬉野会があります。兵庫教育大学創立以来、40年以上にわたる卒業生の団体です。そこには、現役の校長や教頭などの管理職や、兵庫県教育委員会の指導主事の他、社会科教育の中核となって活躍されている現役の教員が多くいます。年1回の総会の他に、教員採用試験前には、かつて面接の試験官をされた嬉野会の人を招いてセミナーを開いたり、授業実践の研究会を開いたりしています。皆さんも、この仲間に加わって、大いに交流してください。



過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 学びの内在化を目指す高校公民科授業開発研究—トウルミンモデルを用いた近社会へのアプローチ—
- ▶ 政策批判学習を活用した高等学校・地理歴史科の授業実践
- ▶ 子ども自身が変化・成長を捉える社会科評価研究
- ▶ 中学生を対象に、批判的思考の育成を促す授業の開発
- ▶ 風刺画を用いたメタヒストリー学習

担当教員

(2026年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 森田 猛 ※1	史学、 ヨーロッパ史・アメリカ史、 西洋史	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、 現代社会の課題とその教材化	近代ヨーロッパ史を専門にしています。特に19世紀の ドイツ史学史、スイス文化史に関心をもっています。
 教授 山内敏男	教育学、 教科教育学、 社会科教育学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)、社会系教科 におけるカリキュラムの変遷 とマネジメントの実際	規範を教授するのが教育か…を問いとして歴史教育、 教員研修を中心に研究しています。
 教授 福田喜彦	社会系教科教育、 東アジア、 市民性教育	社会系教科におけるカリキュ ラムの変遷とマネジメントの実際、 社会系教科の授業デザイン の理論と方法(3)	グローバル化に生きる子どもたちが「市民性」を身に つけるための社会系の授業をともに考えていきま しょう。
 准教授 今出和利	法学、公法学、 未成年者保護法、 憲法	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	「子ども」「教育」「学校」などに関わる法律を中心 に、比較法的・歴史的視点を踏まえつつ研究してい ます。
 准教授 渡邊 正	経済学、国際経済学、 アジア経済、 海外直接投資	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(3)	国際経済学を専門としています。海外直接投資や工程 間分業に着目し、アジアの経済発展メカニズムを研究 しています。
 講師 山本康司	史学、 日本史学、 古文書学	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(2)	日本中世史を専門としています。特に、室町幕府の成 り立ちに関心を持って研究しています。歴史の面白さ や奥深さを感じてみませんか。
 講師 村瀬智之	哲学、 倫理学、 哲学教育	現代社会の課題とその教材化	現代哲学・倫理学を専門とし、能力や技能といった概 念に関心を持っています。また対話型の哲学教育(子 どもの哲学・哲学対話)の研究も行っています。
 准教授 吉川修史	生活科教育学、 社会科教育学	初等社会科教材研究・授業づ くり、教科・領域の内容・指導法 研究Ⅲ(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授 業や、自分なりの社会への関わり方を考えることで きる社会科授業づくりを追究しましょう。
 教授 瀧野 清 ※1	社会科教育、 地理教育、 ESD(防災含む)	社会系教科の授業デザインの 理論と方法(1)、学校におけ る防災教育と心のケア	「なぜ社会科を、なぜ地理を学ばなければならないの か」、また、「社会科ならではの、地理ならではの学びと は何なのか」。共に考えてみませんか。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

Voice

成長を後押し してくれる環境

社会系教科マネジメントコース2年

益田明依さん

※2027年度から、コース名が社会系コースに変更となります



本学の学部を卒業後、社会科教育の学びをさらに深めたいと考え、ストレート院生として入学しました。

本コースでは、社会系教科に関するさまざまな理論と実践を学ぶことができます。それらを学んでいく中で、授業デザインの視点が広がり、自身の考えを問い直すきっかけにもなっています。日々の学びが実践につながっていることを実感できています。

また、私たちストレート院生にとって、現職教員として働いている方々と対話を重ねながら学ぶことができるのも大きな魅力です。豊かなバックグラウンドのある仲間と共に学ぶ環境が、社会科教員としての成長を後押ししてくれていると感じます。

理数系コース(数学・理科)

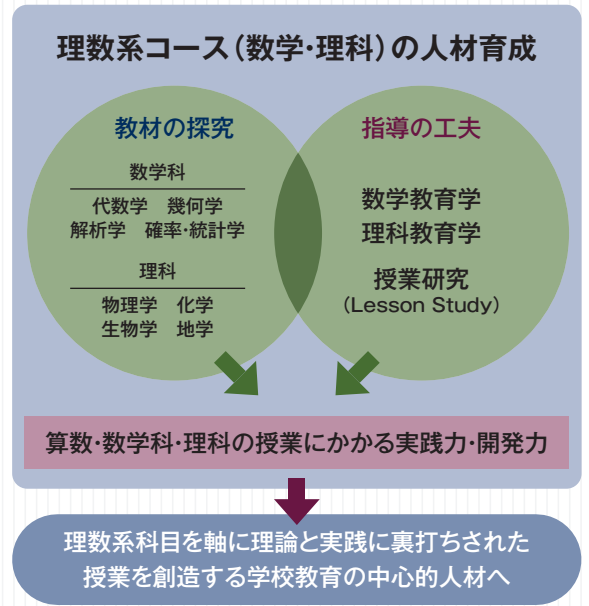


コースウェブサイト

数学・理科教育を担う人材の輩出を

数学が好き・理科が好きなお子さんを育てるには、先生自身が数学好き・理科好きであってほしいという考えの下に、理数系コース(数学・理科)では、数学と理科の魅力や楽しさを堪能できる教育研究を行っています。身近な現象から定理や法則の支配する興味深い世界へ広がっていく様子を子どもに教え、小・中・高校でも数学・理科の教育を担える人材を送り出したいと考えています。

数学・理科といった理数系科目は特にその系統性が重要であり、その系統性に対する深い理解と、教育課程の趣旨を捉えた授業を創造する力に加えて、数学教育・理科教育の観点から授業を解釈・評価・考察していく力がカリキュラムマネジメントに必要となります。そのため、本コースでは、理数系の教科専門と教科教育を融合する教材研究・授業開発に焦点を当てたカリキュラム編成となっており、それにより数学・理科教育を担う人材を育てることを目的とします。



過去の教育実践研究報告書テーマの例

〔数学〕

- ▶ 図を活用して数学的理解を深める算数科の授業づくりに関する研究
— 下学年における比例的推論の育成を対象として—
- ▶ 中学校数学科における知識構成型ジグソー法を用いた文字式の学習指導に関する研究
- ▶ 中学校数学科における構成的アプローチに関する研究
- ▶ 高等学校数学科における探究型学習について—知識の存在理由に焦点を当てて—

〔理科〕

- ▶ 一人一台端末を活用した新たな授業法の開発
- ▶ ベンジルアルコールの酸化反応の教材化と実践
- ▶ 高等学校「生物」におけるゲノム編集トマトを用いた分子生物学実験の教材開発と実践

コース開設の教育プログラム

大学院に在学しながら
数学または理科の教員免許状を取得

▶ **理数系教員養成特別プログラム**

理科の実験・観察指導のスペシャリストを養成

▶ **コア・サイエンス・ティーチャー (CST) 養成プログラム**

理科専科教員としての実践力の向上を目指す

▶ **小学校理科専科プログラム**

p.9・10を参照

Voice

子どもと共に探究する教員へ



理数系教科マネジメントコース(数学)
2026年3月修了
四海仁彦さん

※2027年度から、コース名が理数系コース(数学・理科)に変更となります

専門知と授業をつなぐ「教材の探究力」を磨きたく、入学を決意しました。教科専門と教育学双方の先生方が一丸となり、親身に研究を支えてくださるのが心強いです。実習を研究の場とし理論と実践を往還しながら、ゼミや発表会等での対話を通じ多角的な視点を得られます。経験豊富な現職教員学生と教員を目指すストレート院生が互いの経験を共有しながら数学の魅力を堪能し、専門性を高め合う充実した研鑽のキャンパスライフです。

実践を通して学びを深める



理数系教科マネジメントコース(理科)2年
福井萌花さん

学部での教育実習を通して、現場に出る前にもっと学び、自分の力を高めたいと感じ進学を決めました。大学院では、先生方の親身なサポートの下、安心して学びを深めることができています。また、1年次・2年次の長期実習を通して実践的に学びを積み重ねられる点にも魅力を感じています。教材開発や授業づくりに挑戦する日々は忙しくも刺激的で、新しい視点に出会うたびに成長を実感しています。

担当教員

(2026年4月現在)

	担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
数学	 教授 中裕明	数学、幾何学、数学教育学	数学的リテラシーと算数・数学的活動、「図形」領域の探究的学習教材	生徒が自ら学ぶことを可能とするような魅力的な数学教材開発を念頭に、数学を探究できたらと思います。
	 教授 吉川昌慶	代数学、代数的組合せ論	「数と式」領域の探究的学習教材	代数的組合せ論を主に研究しています。代数学や代数的思考に関する数学教育の研究にも興味があります。
	 准教授 川内充延	数学教育学	算数・数学科の授業づくりと評価	自分自身の指導経験や学習経験を丁寧に振り返り、先行研究の知見を踏まえた実践力を培いましょう。
	 准教授 小川聖雄	微分方程式、流体力学	数学教材の背景と応用	純粋数学または応用数学的な研究を行います。教育現場での実践に生かしてほしいと考えています。
	 教授 加藤久恵	算数教育、数学教育	理数系教科教育実践研究	子どもが算数数学を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもなりの考え方を生かした授業づくりを研究しています。
理科	 教授 笠原 恵	生物教育、分子生物学、遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、理科教材開発実習B	生命現象や身近な生物の不思議に興味を持ち、さまざまな視点からそれらを考察し視野を広げてほしいと思います。
	 教授 小和田善之	機能物質化学、量子材料化学	理科授業の理論と実践(粒子)、理科実験開発実践演習I-II	身近な物質に起きる反応や現象を原子・分子の世界から考察することで、化学への理解を深めてほしいと思います。
	 教授 石原 諭	場の理論、素粒子理論、物理教育	理科教科内容論I、理科実験実地演習	物理は自由だ。教育研究テーマについても自由な発想で考えてみてください。
	 教授 竹村静夫	構造地質学、層序学、地学教育	理科授業の理論と実践(地球)、理科教材開発実習B	フィールドは教材の宝庫です。野外調査の基本をマスターし、現場での教育に役立ててください。
	 教授 山口忠承	教育工学、科学教育、有機光化学	理科授業の理論と実践(粒子)、理科教材開発実習A	化学を通じて身の回りにある物質が役に立っていることや物質の変化に興味を持ってほしいと思います。
	 講師 山本将也	植物進化多様性学、分子系統地理学、保全遺伝学	理科授業の理論と実践(生命)、理科教材開発実習B	植物がたどってきた歴史や生き方を紐解くことで「動けない生き物」である植物の面白さを体感してほしいです。
	 講師 平野進一	重力理論、宇宙論	理科授業の理論と実践(エネルギー)他	物理は、電磁気のような目に見えない対象を理解したり、未来を予測したりすることを可能にします。ぜひ物理のすごさ、面白さを体感しに来てください。

小学校教員養成特別コース



コースウェブサイト

神戸キャンパスで教育実践力と魅力のある先生を育てる

小 学校教員には、深い児童理解に支えられた学級づくりや授業づくりとともに、地域や保護者との連携や自らが学び続けることが求められています。そのため、本コースでは、「学級経営」「教科等の指導」「個の課題」「教育実践研究」「教科の授業内容・方法」の5分野で編成された多様な授業科目と、大学と学校現場が一体となった実地研究(実習等)などの特色ある授業内容に加えて、少人数ゼミを通じた細やかな指導、教員採用に向けた手厚いサポート体制を整えています。

また、これからの学校現場は、Society5.0時代に生きる子どもたちのために、学習者用デジタル教科書の導入などICT機器をこれまで以上に活用し、一人一人の子どもたちに個別最適化された学びや創造性を育むことが求められています。一方、体験学習などの重要性がますます高まることは言うまでもありません。これらに対応するスキルを備えた教員を養成するため、小学校教諭免許状を取得していない人を対象とした3年制コースと、すでに小学校教諭の免許状を持っている人を対象とした2年制コースを設置しています。

3年制コース(2027年度から神戸キャンパスで開講)

対象 これから小学校教諭免許状を取得しようとする人
本学学校教育学部で教職課程と教職大学院の授業科目を併せて履修することで、小学校教諭専修免許状を取得できます。現在、小学校教諭免許状を取得していない人でも、一から小学校教諭免許状を取得できます。

2年制コース(2028年度から神戸キャンパスで開講)

対象 既に小学校教諭1種または2種の免許状を取得している人(本学の学内進学希望者を含む)

学校教育の最新動向や学校現場の実情を踏まえ、学生一人一人がこれまでに培った力をより一層、実践的なものに向上させ、自信を持って小学校の教壇に立てるよう、教員としての確かな基盤を身に付けることを目的としています。小学校教諭2種免許状を取得している人でも、修了時には小学校教諭専修免許状を取得できます。



学びのフロー図 変更する可能性があります。

年次期 コース	1年次		2年次		3年次		
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
3年制 コース	小免取得科目	小免取得科目・ 専門科目	小免取得科目・ 専門科目	初等実習 4週	専門科目	共通基礎科目 専門科目	共通基礎科目 専門科目
				実地研究I・II 計10週		インターンシップ(通年60時間以上)	
2年制 コース	共通基礎科目・専門科目		専門科目				
	インターンシップ(通年60時間以上)			学校教育基盤実習 4週 指導力向上実習 6週			

実習では、教科の指導内容・方法・技術をはじめ、特別活動、生徒指導、担任業務など多岐にわたる小学校現場において、授業づくりや学級づくりについて学びます。連携協力校の学級担任(メンター)と大学の修学指導教員、学生が協働してチーム・コンサルテーションを実施し、学校現場における実践的指導力の向上や自己教育力の基礎を修得します。

Voice

現場に生きる 教育を学ぶ



小学校教員養成特別コース
(3年制)3年
田中千尋さん

大学時の実習で、大きな可能性を持った小学生のうちから自分の好きや得意を見つけ、さらに伸ばしていくことができる教育の必要性を実感し、本コースに入学しました。

ただ小学校教員を目指すだけでなく、高度な専門知識を持つ先生方の指導の下、子ども理解や学級経営、教科指導についての教育理論を学び、2年次からは現場での実践を重ねることができます。全国から集まる同じ志を持つ仲間と学べることも、魅力の一つです。

不安から自信へ-大学 院での学びを通して-



小学校教員養成特別コース(2年制)
2026年3月修了
松本悠希さん

大学4年生の時、このまま教員として就職していいのか不安を感じ、本コースへの入学を決意しました。本学では、児童が学校生活で抱く不安に着目し、共感的な心情を育むための研究に取り組みました。児童の行動の裏にある考えや気持ちに目を向けられるようになったこと、また、自ら問いを立てて考える力が身に付いたことは、私にとって大きな成長です。今後は、本学での経験を生かし、教員として学び続ける姿勢を大切にします。

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 河邊昭子 ※2	音楽科教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (音楽科)、教育実地基礎研究I (レポート作成法の研究)	小学校教員に求められる実践的指導力とともに、自己の人間力を向上させることができるコースです。
 教授 勝見健史	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育的鑑識眼	授業における実践的評価論、 総合学習の創造過程と評価法	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでいます。
 教授 鈴木正敏	幼児教育、 多文化教育	教育実地基礎研究II、 授業におけるICT活用	実践的な知見を基に、子どもたちが楽しく主体的に学べる授業づくりを目指します。
 教授 山本智一	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教科・領域の内容・指導法研究 IV(理科)、 総合学習の創造過程と評価法	科学的な説明活動の授業への導入や、社会における科学問題の教材化に関する指導法開発に取り組んでいます。
 教授 別惣淳二	教育実習、 教師教育、 教育経営学	教育実地基礎研究I、 教育実地基礎研究II	本コースでは、学生が自身の教育実践を対象として研究し、論文にまとめる力を身に付けてほしいと思います。
 教授 加藤久恵	算数教育、 数学教育	教科・領域の内容・指導法研究II (算数科)、教育実地基礎研究I (レポート作成法の研究)	子どもが算数を学ぶ楽しさを感じられるよう、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。
 准教授 真田穰人	学校心理学、 生徒指導・教育相談、 特別活動	特別活動指導と自治的文化的 活動の展開、学級づくりと教育的 関係の構築	子どもたちが、平和で民主的な社会をつくる力を育む授業・学級・学校づくりを、共に追究しましょう。
 准教授 吉川修史	生活科教育学、 社会科教育学	初等社会科教材研究・授業づくり、 教科・領域の内容・指導法 研究III(社会科)	子ども自らが自立し、生活を豊かにしていく生活科授業や、自分なりの社会への関わり方を考えることのできる社会科授業づくりを追究しましょう。
 助教 山中勇夫	国語科教育学、 文学教育学	教科・領域の内容・指導法研究I (国語科)、教育実地基礎研究I (レポート作成法の研究)	子どもたちが言葉や物語と十分に向き合いながら(世界)を広げていく…。そんな学びがいのある、楽しい授業づくりについて、一緒に考えていきましょう。

※1:2027年3月退職予定 ※2:2028年3月退職予定

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 作文教育におけるICT活用に関する研究—記述前の指導を中心に—
- ▶ 体育授業への愛好度を高めるための自己の課題—5年生 ハードル走の実践を対象として—
- ▶ 算数科におけるふきだし法を用いた統合的思考の育成に関する研究
- ▶ 児童の理由を大切に学級目標づくりに関する研究—熟議民主主義と子どもの哲学に着目して—
- ▶ シェア・リーダーシップを育成する総合的な学習の時間のあり方—滋賀県甲賀市 山内エコクラブの実践を手がかりとした地域人材育成—
- ▶ 「活動あって、学びのある」授業を目指した2年間—社会科や総合的な学習の時間における文化学習の授業づくりを通して—
- ▶ 主体的・対話的で深い学びの観点に基づく「楽しい」書写の授業開発—授業案の提案と授業の成果—
- ▶ 構成主義的アプローチによる小学校社会科授業の開発—第4学年単元「風水害からくらしを守る—高砂市—」—
- ▶ 児童の自我関与を促す役割演技を導入した道徳科授業に関する研究

グローバル教育リーダーコース



コースウェブサイト

世界と地域をつなぐグローバル教育リーダーを目指して

急 速に進む国際化や多様化する社会において、教育には地球規模の課題を理解し、地域と連携して解決を目指すことが求められています。本コースでは、SDGs（持続可能な開発目標）の達成を視野に入れながら、ESD（持続可能な開発のための教育）やGCED（地球市民教育）の視点を取り入れたカリキュラムを展開し、持続可能な未来を創るための批判的思考力、国際理解力、協働力を育成します。

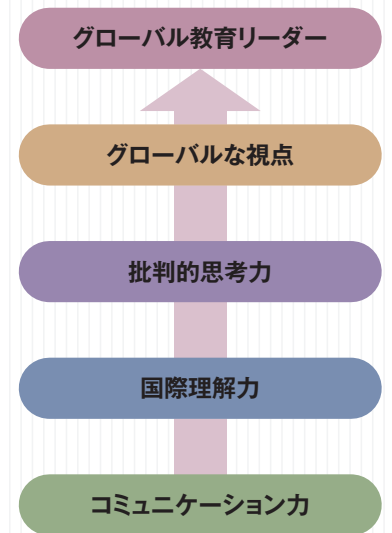
これを実現するために、以下の取り組みを行っています。

- 各校種・教科におけるグローバル教育を組み込んだ授業開発
- 現職教員を対象としたグローバル教育研修の開発

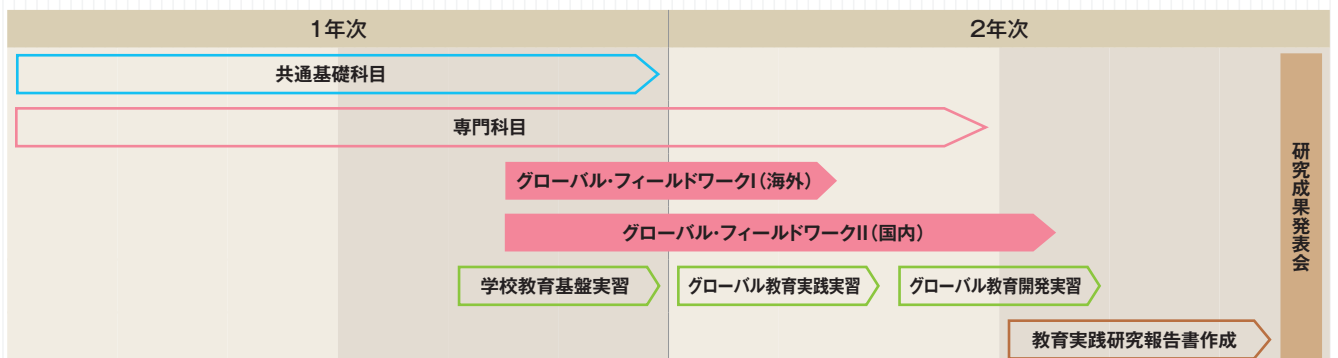
専門科目では、多様な教育現場での実践力を高め、現職教員や専門家との対話や交流を通じて、即戦力となる知識やスキルを身に付けます。具体的には、以下の内容を学びます。

- 「国際理解教育」「国際情報分析（探究演習）」「グローバル教育実践報告と研究手法」で、グローバル教育の専門知識や研究に必要なスキルを習得します。
- 「世界の教育」ではオンラインで世界各国の教育関係者からその国の教育事情を学び、「グローバル・フィールドワークⅠ（海外）・Ⅱ（国内）」で学校や教育機関を視察して、多様な現場から教育実践を学習します。
- 「実用外国語演習」「外国語による表現法」で、英語によるコミュニケーション能力と研究発信力を育成します。

さらに、研究課題に基づいた教育実践に取り組める実習科目が設定されており、段階的に実践力を高めるカリキュラムが編成されています。



2年間の学びの流れ 変更する可能性があります。



過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 小学校におけるグローバル教育に係る教員研修の効果検証—授業実践に対する不安軽減のために—
- ▶ 「グローバル教育」と「歴史総合」を横断させた授業実践の成果と評価
- ▶ 高校生のウェルビーイングを高めるための考察—長野県・モロッコ・フィンランドの高校生への青年用適応感尺度と主観的幸福感尺度を用いた調査及び相関分析から—
- ▶ 国際理解教育を背景とした小学校道徳科授業実践—グローバル人材の育成を目指して—
- ▶ 高等学校外国語科でのPBLによる国際理解教育の授業デザインと評価—歴史軸×世界軸による地域探究学習の実践—
- ▶ 「持続可能な開発のための教育（ESD）」の推進に資する授業実践及び学習効果の検証—幅広い層の高等学校でのESD実践を目指して—

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 岩見理華	ESD、 国際理解教育、 探究学習	国際理解教育I・II、世界の教育、グローバル教育実践報告と研究手法、グローバル・フィールドワークI(海外)・II(国内)	ESD(持続可能な開発のための教育)の視点に基づく探究学習のカリキュラム開発について研究しています。また、国内・海外におけるグローバル人材育成に向けた国際理解教育プログラムの検証に取り組んでいます。
 准教授 吉田夏帆	教育社会学(教育開発)、 国際理解教育	国際理解教育I・II、世界の教育、グローバル教育実践報告と研究手法、グローバル・フィールドワークI(海外)・II(国内)、国際情報分析(探究演習)	開発途上国と呼ばれる国々の教育について研究しています。また、そこでの研究成果や現地調査での知見などを踏まえて、国際理解教育やグローバル教育の実践および評価にも取り組んでいます。
 助教 齊藤智樹	STEM教育、 環境教育、 ESD	国際理解教育I・II、世界の教育、グローバル教育実践報告と研究手法、グローバル・フィールドワークI(海外)・II(国内)	STEM教育を中心に統合的な学習を研究しています。分野をまたぐ概念に関わる学習を評価したり、持続可能性や創造性に向けた教育の開発をしたりしています。
 客員教授 佐藤真久			
 客員教授 関谷武司			
 協力教員 清水彩			
 協力教員 スタインジック リチャード イチロウ			
 協力教員 ビーシェル サイモン ジョン			
 協力教員 前田静香			
 協力教員 安武祥子			
 協力教員 山本康裕			

授業をクローズアップ!

対話と議論で磨く授業スキル

受 講生たちは、講師や仲間との対話を通して多様な視点や新たな知見を得ながら、実践的な教育スキルを磨いています。グローバル社会の複雑な課題を理解し、教育現場での応用力を高めることを目指したこの授業は、学生たちの学びをさらに深化させる貴重な機会となっています。

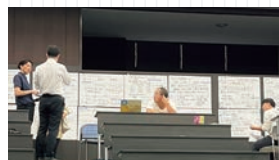
国際理解教育II(応用と実践)



「ESDカレンダー」づくり
(図書館グループラボにて)

2025年度 新科目

国際情報分析(探究演習)



グループで探究課題の最終判断に向けて議論している様子



ハイブリッド型集中講義による成果発表
(子午線ホールにて)

グローバル・フィールドワークI(海外)
カンボジア視察
(2025年度)



シエムリアップ州教員養成校の
学生との交流



現地小学校歓迎の様子



世界遺産アンコールワット遺跡視察
(タ・プローム)

Voice

対話と海外経験が育てる
グローバルな教育力



グローバル化推進教育リーダーコース

2026年3月修了

中濱采音さん

※2027年度から、グローバル教育リーダーコースに変更となります

大学院の講義では、教職経験や校種、勤務地域、国籍の異なる学生間で活発なディスカッションが行われ、多角的に教育を捉える力が養われました。意見交換を通して自身の教育実践や教育観を振り返る機会が多く、内省的に学び続ける姿勢が身に付いたと感じています。

本コースの特色の一つである海外フィールドワークでは、カンボジア現地校の視察や教員養成校の学生との交流、児童養護施設の訪問を通して、現地の教育観・子ども観を学びました。以上の経験を通じて、日本の教育を相対化し、グローバルな視点から教育を考える力が培われました。即戦力となる「グローバル教育リーダー」として教育現場で活躍できるよう精進していきます。

教育政策リーダーコース



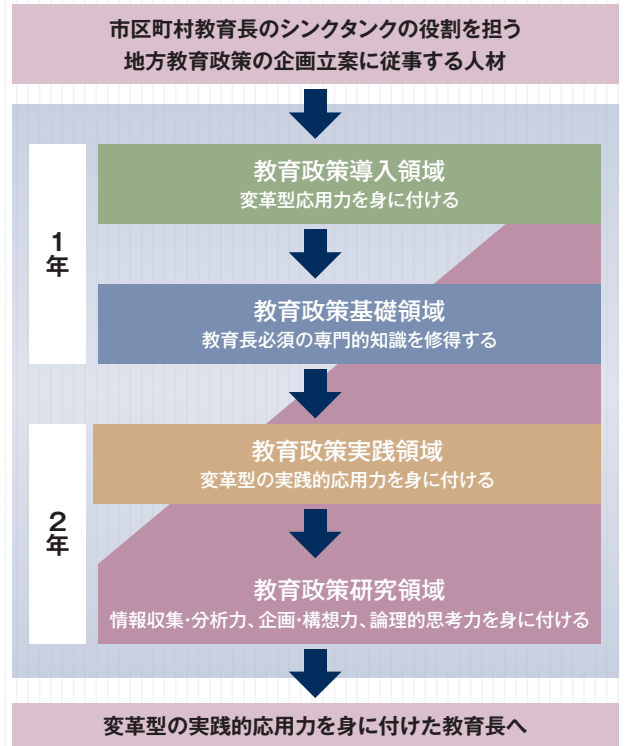
コースウェブサイト

日本の新しい地方教育行政をリードする人材育成

教育変革期における地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなっています。未来を創る子どもたちの教育に加え、地方分権化社会における新たな地域社会を創り出すために、教育行政の役割はかつてないほどの転換期を迎えています。

そのような中、教育政策リーダーコースは日本で初めてとなる、現職教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部の養成コースです。多忙を極める学生のために、学修形態を教員が地元に出向いて行う授業や双方向のオンライン授業、VOD(ビデオ・オン・デマンド)による視聴学習、神戸キャンパスにおける集中演習とし、学生の業務への影響軽減を図るなど、学びやすいものとしています。

また、海外、自自治体首長部局・教育機関、他自治体等で実習を行う実習科目も充実しており、教員と実習先のメンターとの綿密な連携と指導により、地域教育行政の変革を推進し得る資質能力の獲得を図ります。



授業をクローズアップ!

自治体教育政策の実践事例から学ぶ

教育政策実践論

担当教員：押田貴久准教授、富田明徳附属小学校長、細田眞由美客員教授



自 自治体と比較自治体におけるさまざまな教育政策の実践事例の検討を踏まえ、その実践者を招聘または訪問し、講義演習に基づく経験交流や意見交換、データ収集を行います。これらを通じ、地域の教育課題に応じた政策案の構想を目指します。

現職の教育長等と共に学ぶ交流型演習

教育行政マネジメント特論演習I-II

担当教員：澤野幸司教授、川口貴大教授、三浦奈々美助教

ト ップリーダーとしてのマネジメントについて、学生以外の教育長等と共に参加型の演習形式で学びます。お互いに議論を深め、その中から自分なりのマネジメントの在り方について考え、実践に結び付けます。



Voice

学びに 遅すぎることはない

教育政策リーダーコース2年
鹿児島県大崎町教育委員会 教育長
穂園正幸さん



佐藤一斎は言志晩録に「少にして学べば、則ち壯にして為すこと有り。壯にして学べば、則ち老いて衰えず。老いて学べば、則ち死して朽ちず」と記しています。人生はいつでも学ぶ機会に満ち、私は教育長4年目にして本コースで生涯学習・リカレントの学修者となりました。

著名な教授等が地元まで来てくださる出張講義をはじめ、集中講義、VOD視聴、オンライン学習、フィールドワーク、演習など、仕事との両立が可能な学びの機会が工夫されています。そして、何よりも心強いのは、全国各地に学びを共にする異職種等の仲間がいることです。それぞれの見方、考え方の情報共有に多角的な学びがあります。インプットした学びを生かし、教育長の実践・行動としてアウトプットしていきたいです。

担当教員

(2026年4月現在)

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 教授 澤野幸司	教育行政、 コミュニティスクール	教育行政マネジメント特論演習 I・II、 地域と学校	新教育委員会制度下における教育長に必要な資質能力とは何かを問い続けながら、地域の教育課題解決に資する教育行政の在り方について一緒に考えていきましょう。
 教授 川口貴大	教育行政、 教育課程	教育行財政の立案と分析、 多様な授業方式・形態とその 支援体制	社会の期待に応える地方教育行政の在り方やそれを実現するために必要なリーダーとしての力とは何か、一緒に考えていきましょう。
 助教 三浦奈々美	地方行政学、 地方自治論	比較教育政策論、 教育政策課題研究	地方教育行政にかかわる多様なアクター（教育委員会、首長、議会、学校、民間団体等）がどのようにに関わり合い、教育課題に対応しているのかを研究しています。対話を通じて、理論と実践のつながりを共に考え、深めていきましょう。
 客員教授 青木栄一			
 客員教授 天笠 茂			
 客員教授 新井 肇			
 客員教授 今中博章			
 客員教授 遠藤洋路			
 客員教授 小川正人			
 客員教授 貝ノ瀬滋			
 客員教授 加治佐哲也			
 客員教授 合田哲雄			
 客員教授 佐藤晴雄			
 客員教授 露口健司			
 客員教授 藤川 聡			
 客員教授 細田真由美			
 客員教授 間嶋 勉			
 客員教授 マルック・ アンティンルオマ			
 客員教授 水本徳明			
 客員准教授 阿内春生			
 客員准教授 大島菜穂子			
 客員准教授 葛西耕介			
 客員准教授 団達岳美			
 客員准教授 矢田 匠			

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 児童・生徒数が減少する地域における教育環境の整備に関する考察
- ▶ 「誰一人取り残さない」「学びを止めない」ための教育と福祉の連携
- ▶ 学校部活動から学校を拠点とした地域クラブ活動への移行
- ▶ 新しい時代の生涯学習社会における次世代型学校・地域のあり方について
- ▶ 「地域とともにある学校」の構築を支援する教育委員会の在り方
- ▶ 総合教育会議と教育委員会運営に関する一考察

授業実践課題探究コース



コースウェブサイト

日々の授業実践を見つめ直し更新しながら歩む

現場の教室で日々繰り返される授業実践の中に存在する「今、その教員にとって意味のある実践課題」を研究課題として取り上げることができるコースです。その教員の成長の物語における、こだわり、つまずき、克服、疑問、葛藤を価値ある課題として焦点化し、自身の教室の日々の授業実践の更新と往還させながら研究課題の解決を進めていきます。

本コースの研究の進め方は3つの特長を持っています。1つ目は、長期・中期・短期の3つのスパンのリフレクションの場を活用し、並走する大学教員と対話的・相談的に研究内容や方法を柔軟に更新しながら進めていくことです。2つ目は、各教科の教材研究、授業づくりなどを中心に、幅広いニーズに応えるカリキュラムを編成していることです。勤務するそれぞれの現場の課題に合った授業を選択し、日々現場に立つ自らの見識を厚くしていくことができます。3つ目は、本コースでは、「学びの報告書」として、在学中の自身の「歩みの物語」をつづるものを作成することです。

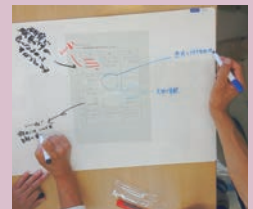
「歩み」そのものが成果となるもので、実践によって得られた結果を分析し、授業へどう還元させていったかという、実践の変容や更新が第一義となります。

それぞれの年齢・立場・歩みの中で抱えている問題意識を深める本コースで、教員としての自身の成長の物語に価値ある1ページを刻みましょう。



リフレクション科目の特色

リフレクション科目では、日頃の教育実践を客観的・科学的に振り返ることで、新たな発見や気づきを得て教育実践の改善につなげる未来志向の方法論を学びます。例えば、授業に関わる自分自身の考え方について、「できたこと」と「やりたかったこと」の差異に着目し、それを生んだ要因を先行研究や先進事例の知見を参考にしながら検討することで改善策を考え、新たな教育実践につなげます。



■日頃の教育実践のリフレクションが核となる2年間の学び

1年次前期		1年次後期		2年次前期		2年次後期	
リフレクション科目							
長期リフレクション	短期リフレクション	中期リフレクション	短期リフレクション	中期リフレクション	短期リフレクション	中期リフレクション	長期リフレクション
共通基礎科目 専門科目			共通基礎科目 専門科目		専門科目		専門科目
学びの蓄積 ポートフォリオ							
学校現場等における教育実践							

担当教員	研究分野	担当科目	メッセージ
 <p>教授 勝見健史*</p>	国語科教育学(単元学習論)、 教育方法学(評価論)、 教育的鑑識眼	教育実践リフレクション	評価論を視点とした授業改善、特に単元組織・質的評価・学習支援に関する実践的研究に取り組んでいます。皆さんの自律的な研究展開のサポートができればと思います。
 <p>教授 鈴木正敏 (2026年度まで担当)</p>	幼児教育、 多文化教育	教育実践リフレクション	幼児教育に関する知識をもとに、主体的・対話的で総合的な学びとは何かを探っています。ワクワクする授業づくりや子どもに寄り添った実践と一緒に考えましょう。
 <p>教授 山本智一*</p>	理科教育・科学教育、 アーギュメント、 総合学習	教育実践リフレクション	日々の授業実践や学級づくりについて、子どもが知識や文化を構築するプロセスに注目しながら分析し、よりよい実践を目指していきます。
 <p>教授 加藤久恵*</p>	算数教育、 数学教育	教育実践リフレクション	数学的な見方・考え方や、メタ認知を育てることを目指して、子どもの考え方やつまづきを生かした授業づくりを研究しています。
 <p>准教授 真田穰人*</p>	学校心理学、 生徒指導・教育相談、 特別活動	教育実践リフレクション	学校心理学の知見と子どもたちの実態、思いや願いをもとに、学習指導と生徒指導の一体化を目指した授業づくりや学級づくりを共に追求しましょう。

*2027年度入学者の修学指導教員(教育実践リフレクション科目担当教員)。中・長期リフレクションは、教員全員で関わります

過去の教育実践研究報告書テーマの例

- ▶ 読解と読書の接近—比べ読み・重ね読みの方法を用いて—
- ▶ 国語科単元学習における言語運用力の伸長に資する教師の働き—子どものめあてと教師のねらいを交差させる対話場面に着目して—
- ▶ 小学校の総合的な学習の時間における地域課題と連携した単元開発
- ▶ 循環型社会の実現に主体的に資する生徒の育成
- ▶ 生徒の「実社会に即した力」を育てる学習指導に関する研究
- ▶ 丹波市における伝統的な学習法“一人学び”の価値と国語科授業づくりの新たな可能性
- ▶ 3年地域学習での知識の概念化を目指して—教科書、副読本、ペーパーテストの関連性に着目して—
- ▶ 国語科物語文における「対話」に関する実践研究—読みと対話の深まりを比較して—
- ▶ 教育方法の改善を目的とした「架け橋期」の接続のあり方—教科の見方・考え方と「幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿」との関連性に着目して—
- ▶ 学んだことが生活に役立つ理科学習の探求
- ▶ 自らの学びに活かす自己評価・相互評価を取り入れた単元づくり
- ▶ 児童のメタ認知の実態をいかした授業づくり

Voice

授業と自分に、 確かな軸を

授業実践課題探究コース2年

松本咲子さん



今まで感覚で行ってきた家庭科の授業を、計画・教材・評価の視点から見直しました。そして、授業で何を大切にしたいのかという軸が、自分の中ではっきりしてきました。家庭科は校内で一人となることが多く、授業を客観的に振り返ることが難しい教科ですが、リフレクションや学びの発表会でのコースの先生や学生との対話を通して、授業展開を構想し、見直しを持って授業をすることができました。

現在は、消費や環境の学習を生徒の生活と結び付け、自分事として考えられる授業づくりに取り組んでいます。異なる校種や教科の学生との学び合いは、新たな視点を得て次の目標や挑戦を考える貴重な機会となっています。

修学支援

入学科・授業料(2026年度入学生)

入学科 28万2,000円 入学手続き時に納付

年間授業料

一般学生(2年)	長期履修学生許可者(3年) 理数系教員養成特別プログラム受講者を含む ※通常の2年分の授業料を3年間で分割納入することになります	小学校教員養成特別コース(3年制コース)
53万5,800円	35万7,200円	53万5,800円

年額の2分の1を2回(前期・後期)に分けて納付【納付期間】前期5月1日～31日、後期11月1日～30日

●在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます ●2年次から、長期履修学生(3年)から標準修業年限(2年)への変更を許可された場合、標準修業年限(2年)と長期履修学生(3年)の授業料の金額(前期・後期合計)の差額17万8,600円を1年次の許可時に納付していただきます。また、2年次から新たに長期履修学生(3年)になることを許可された場合、2年次前期分から長期履修学生(3年)の授業料の金額を納付していただきますが、入学当初からの長期履修学生より授業料(3年)の総額が17万8,600円増となります。

長期履修学生制度

職業を有しているなどの事情により、2年の修業年限で教育課程を履修することが困難な学生を対象に、計画的に教育課程を履修することができる「長期履修学生制度」を設けています。この制度を利用すれば、3年をかけて自分のペースで無理なく授業や研究指導を受けられ、学業と仕事を両立しやすくなります。

●長期履修を申請できる人

- ▶フレックスクラス志願者で職業を有する等の事由のある者
- ▶理数系教員養成特別プログラム受講申請者

入学科の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により入学科の納付が困難であり、かつ、学業優秀と認められる者。または入学前1年以内に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

授業料の免除(全額または一部免除)

条件: 経済的理由により授業料の納付が困難であり、かつ学業優秀と認められる者。または各期の納期前6カ月以内(新入生は入学前1年以内)に学資負担者が死亡もしくは風水害等の災害を受け、納付が著しく困難であると認められる場合。

2025年度実績

●入学科免除	●授業料免除(社会人経験のある学生および現職教員学生対象の授業料免除を除く)	
申請者20人	前期分: 申請者41人	後期分: 申請者49人
全額免除…0人	全額免除…29人	全額免除…35人
4分の3免除…13人	4分の3免除…5人	4分の3免除…5人
半額免除…1人	半額免除…3人	半額免除…5人

教員になった者に対する奨学金の返還免除制度(教員免除)

大学院在籍時に**第一種奨学金**(授業料後払い制度も含む)の貸与を受けた学生で、教員採用試験に合格し、定められた条件を全て満たした人は、**全額返還免除**となります。

修士課程に在籍している場合

- ▶教員採用試験に合格
- ▶大学院修了の翌年度から正規職員として採用予定
- ▶翌年度(4月1日時点)に正規職員として在職
- ▶教職課程を履修し専修免許状を取得
- ▶教職課程に位置付けられている一定の時間以上の「学校等での実習」を内容とする科目の単位を取得

専門職学位課程(教職大学院)に在籍している場合

- ▶教員採用試験に合格
- ▶教職大学院修了の翌年度から正規職員として採用予定
- ▶翌年度(4月1日時点)に正規職員として在職

詳しい情報は**こちら**

日本学生支援機構ホームページ
<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/saiyochu/gyosekimenjo/>



奨学金制度等

日本学生支援機構の奨学金

日本学生支援機構では、学業、人物がともに優れ、経済的な理由により修学が困難であると認められる者を対象に、奨学金を貸与しています。貸与月額は第一種奨学金は5万円、8万8,000円または授業料後払い制度、第二種奨学金は5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から選択します(2025年度入学実績)。

奨学金受給者数(2025年12月現在)

第一種126人(授業料後払い制度含む)、第二種15人

※長期履修学生の第一種奨学金は3年間のうち2年間の貸与となります
※詳しくは日本学生支援機構ウェブサイト <https://www.jasso.go.jp/> をご覧ください

兵庫教育大学独自の奨学金・授業料免除等

社会人経験のある学生	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業料の免除 「学び直し」やスキルアップを図りたい社会人経験のある学生を対象に、就学機会を確保するための授業料を免除する制度です。 【免除対象者】現在職に就いている者／2年以上の社会人経験(家事・家事従事を含む)のある者 【2025年度実績】前期分：全額免除…15人、4分の3免除…3人、半額免除…4人(申請者31人) 後期分：全額免除…14人、4分の3免除…4人、半額免除…2人(申請者25人)
教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生	<ul style="list-style-type: none"> ● 奨学金の給付(兵庫教育大学特例制度利用者奨学金) 教員採用猶予制度を活用して大学院学校教育研究科に入学した学生に対し、申請によって奨学金を給付します。
現職教員学生	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業料の免除 大学院修学休業制度利用者(勤務先から給与等が支給されない現職教員学生)は申請によって、他の授業料免除とは別枠で授業料を免除する制度があります。 【2025年度実績】前期分：全額免除…13人(申請者13人) 後期分：全額免除…14人(申請者14人) ● 研究経費の助成 大学院で取り組む実践的な研究に対して経費を助成します。 【応募資格】現職教員学生(当該年度中に収入が無い者(大学院修学休業制度利用者)を優先します) 【助成金額】1人当たり年間10万円
大学院学校教育研究科1年に在籍する学生	<ul style="list-style-type: none"> ● 研究経費の助成(大学院同窓会研究助成金) 大学院で取り組む研究に対して経費を助成します。入学後に申請し、1年次1月から2年次2月まで使用できます。 【助成金額】1人当たり20万円
大学院学校教育研究科(全学年)に在籍する学生	<ul style="list-style-type: none"> ● 奨学金の給付(兵庫教育大学学会発表奨励金) ファーストオーサーとして全国的な学会で行う発表に対して、申請によって奨励金を給付します。
海外に留学する学生	<ul style="list-style-type: none"> ● 海外留学支援授業料免除 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が特に優秀であると認めた学生に支給します。 【免除金額】1年間の授業料全額 ● 海外留学支援特別奨学金 海外の協定大学に派遣留学する、学業成績が優秀な学生に支給します。 【支給金額】米国、ドイツ、スイス、フィンランド、チェコ、ラトビア…1人当たり30万円 中国、韓国、台湾、タイ、ベトナム、カンボジア…1人当たり10万円
本学附属学校教員大学院派遣制度	<ul style="list-style-type: none"> ● 入学科・授業料の免除 教育委員会との人事交流により本学附属学校園に派遣された教員のうち、一定の要件を満たし、校園長の推薦を受け、学長が認めた者について、大学院に入学できる制度を設けています。

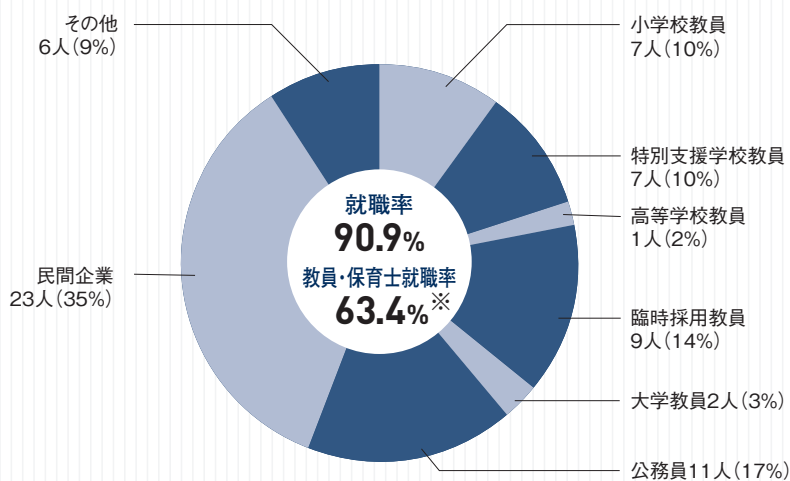
修了後の進路・就職

教職をはじめ、保育士、心理職に従事する人など
多様な分野で活躍しています。

2024年度 大学院学校教育研究科修了者の就職状況

(現職教員・留学生等を除く就職・進学を希望する者) 2025年9月30日現在

修士課程 (66人)



※臨床心理学コースを除いて算出した数値

ほとんどの修了生が
教員や心理専門職に
就職しています

主な就職先

教員 (臨時採用教員含む)

兵庫県6、神戸市4、長崎県2、川崎市1、堺市1、
京都府1、徳島県1、愛媛県1、鳥取県1、国立1、
私立7

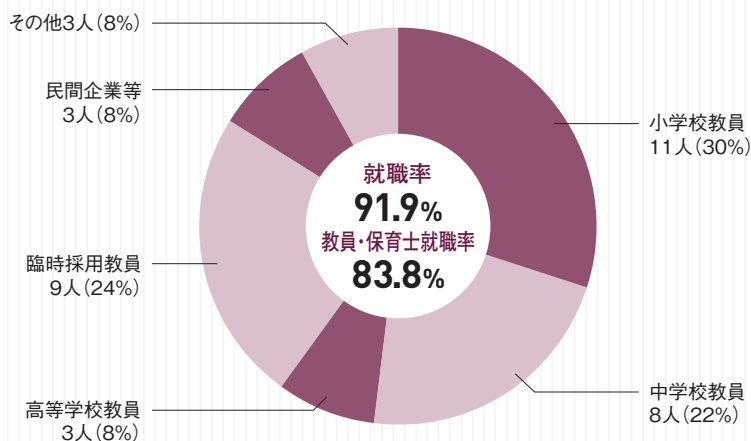
心理職

病院、行政心理職、大学、教育・福祉系施設
他

公務員・民間企業等

国家公務員、都道府県職員、福祉施設、教育系
企業 他

専門職学位課程 (37人)



全国の自治体で
活躍しています

主な就職先

教員 (臨時採用教員含む)

兵庫県16、神戸市2、千葉県2、福岡県2、横浜
市2、滋賀県1、京都府1、大阪府1、鳥取県1、
福岡市1、長崎県1、鹿児島県1

公務員・民間企業等

塾講師 他

キャリア支援

教職キャリア開発センターでは、教員就職支援を中心に学生の多様なニーズに応じた支援を行っています。

就職支援

- ▶ 公立学校校長等経験者による就職相談
- ▶ 教員採用試験対策特別講座、筆記講座 など
- ▶ 教員採用試験対策模擬試験
- ▶ 教員採用試験対策模擬面接
- ▶ 教員採用試験学内説明会
- ▶ 就職に関する書籍の貸出、情報提供 など



集団模擬面接

ちょっと気になるQ&A

Q どのような支援を受けることができますか。

教職キャリア開発センターでは、教員・保育士希望の学生向けに元小学校・中学校・高等学校長等による個別面談を実施しています。面談では、面接・模擬授業対策から小論文添削等に至るまで幅広く対応しています。

Q 兵庫県以外の教員採用試験に対応していますか。

各自治体の面接試験内容に応じた面接練習を行っています。また、全国の教員採用試験の筆記試験の過去問をそろえています。大学院は兵庫県以外の出身者も多く、修了後は全国の自治体で活躍しています。

Q 大学院進学による教員採用試験の優遇措置やメリットはありますか。

大学院進学や在学を理由とした採用候補者名簿登載期間の延長のほか、教職大学院修了見込みの学生を対象とした特別選考（1次試験免除）の実施など特例的な措置がある自治体もあります。受験する自治体によっては大学院在学中に2回教員採用試験にチャレンジできます。

また、教員就職後は、大学院修了や専修免許状取得により給与面でも優遇されます。

大学院連合学校教育学研究科(博士課程)

博士号を取得し研究者の道へ 修了者の6割以上が国公立大学の研究者として活躍しています

連合学校教育学研究科は、兵庫教育大学を基幹大学とし、上越教育大学、岐阜大学、滋賀大学、岡山大学、鳴門教育大学の6大学が連合して構成している後期3年だけの博士課程です。

実践に根差した学校教育学を独自の学問分野として確立し、今日の

教育課題の解決と学校教育の質的改善・改革に貢献することを目的としており、学校教育実践について高度で専門的な研究を行い、学校教育実践学および教科教育実践学の分野において自立して研究・実践できる研究者や専門職教育者を養成しています。

本 学大学院修了後、引き続き大学院連合学校教育学研究科(博士課程)へ進学する場合は、検定料・入学金を免除します。

博士課程進学を希望する学生向けの教育プログラム

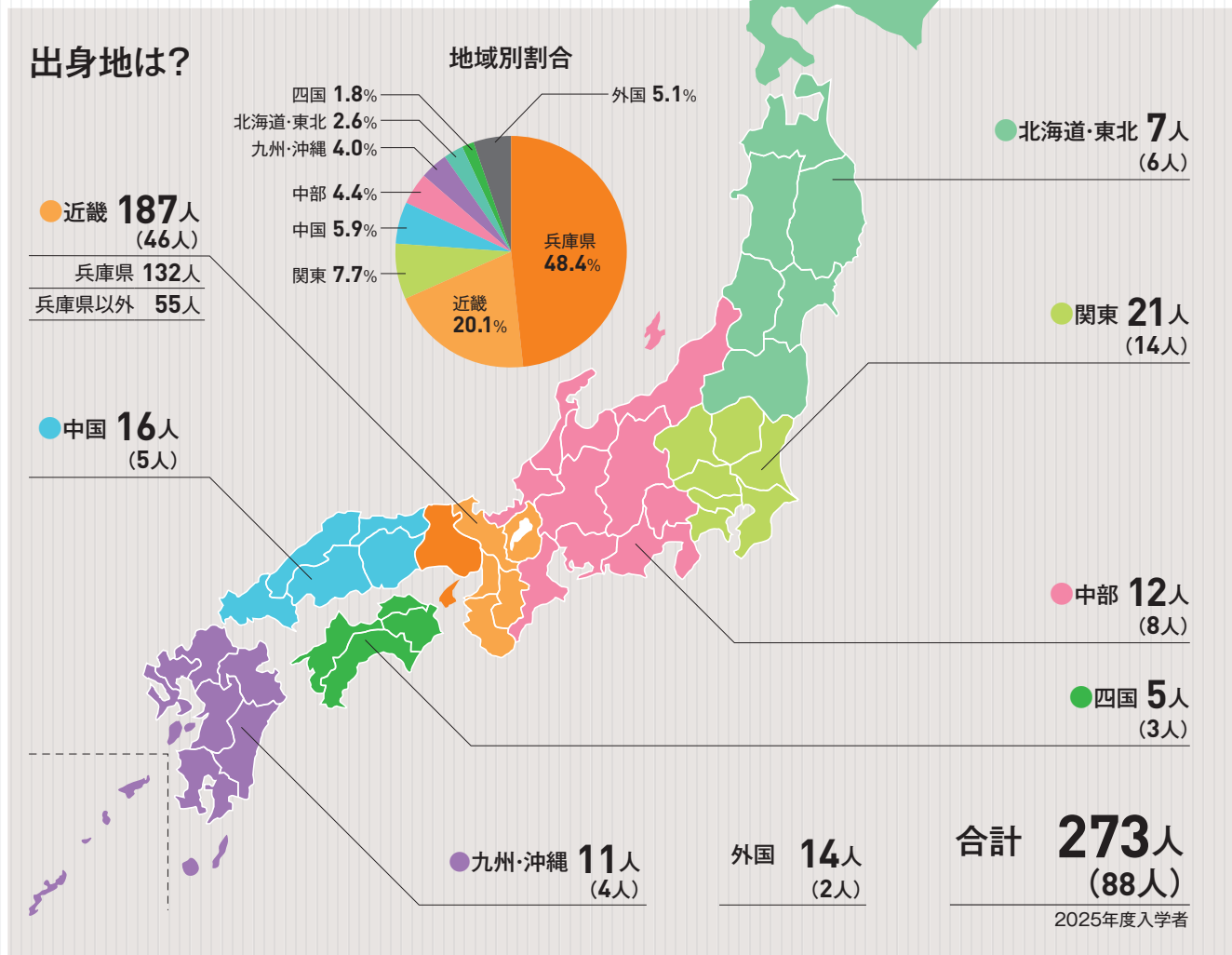
研究力向上特別プログラム

詳しくはp.8を参照

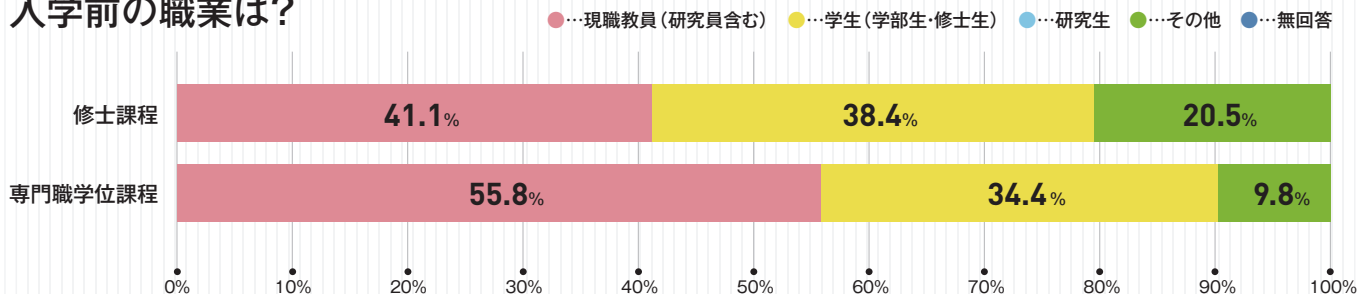
データで見る 大学院生のキャンパスライフ

全国各地から集まった多彩な経歴の学生が在籍。
互いに刺激し、学び合える仲間との出会いが待っています。
また、キャンパス内にある学生寄宿舎は、
移動時間が削減できて非常に便利です！詳しくはp.68へ。

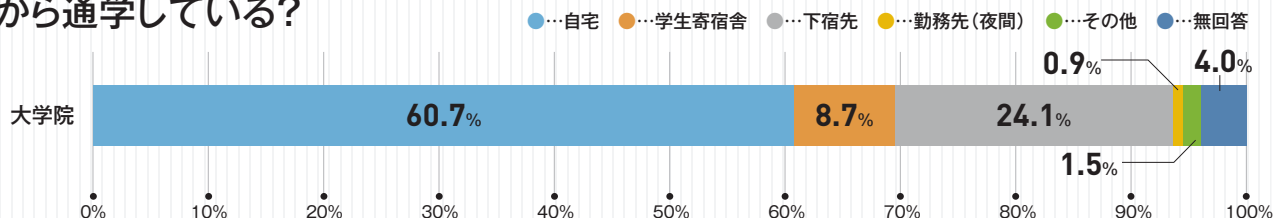
※()内の数字はフレックスクラスの学生



入学前の職業は？



どこから通学している？



学びをサポートする充実の環境

加東キャンパス

院生研究室



各コース・分野等では、大学院生の研究活動や協同的な学びを促進する目的で独自に研究室を設けています。学生同士の交流も活発に行われています。

ラーニングcommons



総合研究棟、附属図書館、大学会館にある、学生たちの自主的な学びのための共有スペース。研究やグループ学習、就職対策などに活用できます。

教育実習総合センター



学校教育学部や教職大学院等における学校や教育施設での実習を円滑に行えるよう支援しています。

イノベーションcommons



ディスプレイやスクリーンなどに投影する短焦点型のプロジェクターを複数台設置し、グループでの発表やディスカッションの際の情報共有など、さまざまな場面に応じた活用を可能としています。

附属図書館



平日は20時、土日祝日は17時まで開館し、蔵書は教育関係資料を中心に約35万冊。大学院生は15冊まで借りることができます。教材文化資料館を附置しています。

大学会館



食堂、売店、ペーカリーカフェ、和室、ボランティアステーション等が設けられ、課外活動での利用や大学内における生活上の利便が図られています。

発達心理臨床研究センター



発達心理臨床に関する高度な知識・技能を有する教員および心理専門職を育成しています。地域の方の心理的な相談に対応しています。神戸キャンパスに分室(臨床心理相談室)を設置しています。

STEAM Lab



STEAM教育を実践するために、グループ学習に適した机や椅子を配置。レーザー加工機、ガジェットプリンター、カッティングマシンなど、ものづくりを体験する環境が整っています。

学生寄宿舍

加東キャンパス東側の「学生寄宿舍エリア」に、学生の勉学に適する環境を提供することを目的として単身用学生寄宿舍5棟(全400室)を設置しています。また、加東市内には学生向けのマンションやアパートなどもあります。

寄宿料等について(2026年度)

1カ月の負担額(目安)	約1万5,000円
寄宿料	4,300円(月額)
光熱水料	電気・ガス・水道料金
共益費	4,500円(月額)

全室に
光インターネット
回線を完備



学生寄宿舍の詳細はこちら!

<https://www.hyogo-u.ac.jp/campuslife/dormitory.php>



※学生寄宿舍は計画的な整備・改修工事を行っています。改修工事の際には、他の棟への転居(引越し)に協力いただく場合があります。

KATO Campus Map

丘陵地に広がる加東キャンパスには多彩な施設がそろうっており、学生寄宿舎も敷地内に並んでいます。加東市の中心地からも比較的近く、周囲の自然に恵まれた立地は学びにも生活にも最高の環境です。

キャンパス
パートナー

兵庫県立美術館
兵庫教育大学の学生は無料(一部有料)で各展覧会を観覧することができます。



- | |
|-------------------------|
| 1 講堂 |
| 2 教育・言語・社会棟 |
| 3 自然、生活・健康棟 |
| 4 体育棟 |
| 5 芸術棟 |
| 6 共通講義棟 |
| 7 附属図書館 |
| 8 情報処理センター |
| 9 事務局 |
| 10 総合研究棟 |
| 11 教育子午線ホール |
| 12 発達心理臨床研究センター |
| 13 大学会館(食堂、ペーカリーカフェ、売店) |
| 14 テニスコート |
| 15 ラグビー・サッカー場 |

- | |
|------------|
| 16 和弓場 |
| 17 野球場 |
| 18 陸上競技場 |
| 19 ソフトボール場 |
| 20 体育館 |
| 21 武道場 |

KOBE Campus Floor Guide

教職等の仕事と両立しながら通えるよう、2駅3路線が利用可能な神戸市長田区の「新長田キャンパスプラザ」に開設。3フロア、延べ床面積約3,700㎡には図書室や学生ラウンジなど充実したキャンパスライフを送るための環境を整えています。

6階

- 臨床心理相談室
- 面接室(4室)
- プレイルーム(4室)
- 観察室、検査室
- 臨床心理相談室(事務室)
- 臨床心理相談準備室
- その他 演習室、プロジェクト室

7階

- 演習室(8室)
- 院生合同研究室
- 図書室
- 学生ラウンジ
- 学生相談・休養室
- 連合大学院室(博士課程)
- 事務室

8階

- 講義室・演習室(9室)
- STEAM Lab
- ICT教室
- 多目的室

加東キャンパス

加東市下久米942-1



アクセス

車の場合

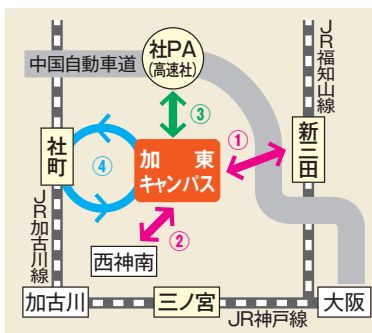
大阪国際空港から中国自動車道経由 約45分
 JR新大阪駅から中国自動車道経由 約60分
 三宮(神戸市)から新神戸トンネル、国道428号経由 約60分

公共交通機関の場合

JR新大阪駅...^{ハイウェイバス}約65分...^{中国自動車道}高速社...^{兵教シャトル便}約5分
 JR三ノ宮駅...^{ハイウェイバス}約55分...^{中国自動車道}高速社...^{兵教シャトル便}約5分
 JR姫路駅.....^{特短バス}約80分...^{社車庫前(案内所)}社バス 約12分

安心して通学できる環境

通学や生活に便利なカレッジバス(無料)



神戸・大阪方面からの学生の通学や、マイカーを持っていない下宿生の生活をサポートするため、加東キャンパスと各地を結ぶカレッジバスを4ルート運行しています。

時刻表など詳細はこちら▶



電車の時刻や授業に合わせて運行

- ①新三田シャトル便 JR新三田駅→加東キャンパス 平日(年末年始等を除く)3往復
- ②西神南シャトル便(試行運行) 神戸市営地下鉄西神南駅→加東キャンパス 平日(年末年始等を除く)3往復

高速バスの時刻や授業に合わせて運行

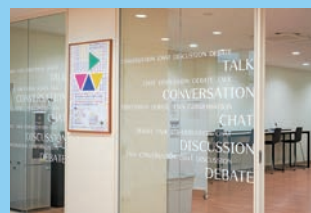
- ③兵教シャトル便 高速社→加東キャンパス 平日(年末年始等を除く)20往復 ※来学者も利用できます

買い物などに便利! 加東市内を循環

- ④加東ループ便 JR社町駅→イオン社店→高速社→加東キャンパス 平日(年末年始等を除く)4往復(1周約70分)

神戸キャンパス

神戸市長田区腕塚町5-2-1 新長田キャンパスプラザ6~8階



アクセス

公共交通機関の場合

JR・神戸市営地下鉄「新長田」駅から 徒歩約7分
 JR「大阪」駅からJR「新長田」駅まで 約30分
 JR「京都」駅からJR「新長田」駅まで 約60分

学びをサポートする充実の環境

兵庫教育大学のビジョン

- 1 教師教育のトップランナー
- 2 学生の持てる力を最大限に引き出す大学
- 3 成長し続ける大学

兵庫教育大学のミッション

- 1 現職教員に対する高度な専門性と実践的指導力の育成
- 2 豊かな人間性と確かな実践力を持った新人教員及び心理専門職の養成
- 3 教育実践学の推進
- 4 教師教育の先導的モデルの構築
- 5 教育研究成果の国内外への発信

問い合わせ先

入試について 入試課 ☎ 0795・44・2067

カリキュラム・教員免許状について 学務課 ☎ 0795・44・2040

国立大学法人
兵庫教育大学

〒673-1494 兵庫県加東市下久米942-1 <https://www.hyogo-u.ac.jp/>
2026年4月発行



本学ウェブサイト